

14  
47

大正七年六月二十日

調查資料

第拾貳號

臨時產業調查局



始





142A-418

調査資料第十二號



帝國銀行圖書係イヨハン、ノツケ編

# 獨逸戰時財政及商事法規

獨逸戰時に於ける銀行、取引所、外國爲替、貨幣、租稅、商法、手形法、小切手法に關する法律命令及告示

(實務及學術研究用、脚註付)

大正 7.7.11 寄贈

第三部資料科翻譯

## 注意

- 1 臨時産業調査局は、戰時及戰後に亘り施設すべき産業上重要な事項を調査するものにして、其の目的とする所は極めて重大なる點に存するも、其の參考資料として調査若くは翻譯したる事物も、一般を裨益する所尠からずと認むるを以て、茲に本誌上に於て便宜編纂したるものなり。
- 2 本誌所載の調査中、意見に亘るものは調査擔當者の意見とす。
- 3 本誌所載の翻譯は、主として鈔譯なり。故に原文の順序を顛倒し、又は説明的記述を加へたるものあり。
- 4 本誌は調査及執務の便宜上、印刷を以て筆寫に代へたるものなり。公刊するの趣旨にあらず

臨時産業調査局

寄贈本



序言

戰時中已に發布せられたる法令はその數夥しきに上れるを以て、一定の事項につき一定の人々のために抜萃を設けること必要となれり。本抜萃は、實務及び速習に供する袖珍參考書の必要なるより、現在戰後財政經濟(廣義)及商法上の問題に携る者の爲に編纂したるものなり。従つて日用品、食料、社會的保護施設、取引問題、(金及金屬を除く)輸出入禁止等に關する多數の規定を除外せり。即ち法律に規定ある範圍中より、只商法、手形法、小切手法に關する規定のみを集めたるなり。帝國、聯邦及地方自治團體管轄廳、商業會議所、圖書館、銀行支配人、銀行家、銀行員、經濟學者、大學高等商業學校その他の學生に對し、本書はその執務研究に際し補助者たり助言者たるべきものなり。材料の排列に方りては、實用の目的に應ずるため、方法學的に分類を整ふるよりは、寧ろ一目瞭然たらしむるに力を注げり。

本書に於ては各法規に註釋を附するを以て目的とせず、蓋し已に多數著名なる此の種の書存すればなり。脚註は問題の起れる際、速に據る所を知らしめんとする實際の見地より爲したるものなり。脚註に於て各法規に附せる詳細なる參考資料は、(草案、帝國議會議事等)研究を容易ならしむる指針となりて讀者の迎する所となるべし。



本書に載する諸規定は殆んど總て帝國法の性質を有するものなり。只特に普魯西國に對してのみ發布せられたる法規にして茲に關係あるものは、脚註に參照する事とせり。  
 完全を期し了解に便ならしむる爲め開戦前に發布せられたる法規も共に載録せり。  
 祖國救護勤務に關する法律及び一般の利益關係ある規定は附録として附加せり。又本書の印刷中發布せられたる法律その他は補遺中に掲ぐることにせり。  
 法令告示の發布年月による序列及び索引は此の書の實用に資せんが爲めなり。

内 容 目 次

一、財政及ビ租税

A、帝國銀行及ビ帝國軍事資金

- 準備金銀 一九一三、七、三、法律
- 帝國軍事資金ノ充用 一九一四、八、二、帝國宰相命令
- 銀行法ノ變更 一九一四、八、四、法律
- 帝國銀行戰時稅 一九一五、一二、二四、法律
- 帝國銀行ノ小切手保證 一九一六、八、三一、告示
- 銀行法第三十二條ニヨル有價證券購買 一九一六、一〇、三〇、
- 郵便金庫ニ於ケル保證付帝國銀行白色小切手受理 一九一六、一一、一三、帝國郵便局指令
- 帝國銀行追加戰時稅 一九一七、三、二七、法律

B、對外支拂取引(外國爲替業)

- 外國支拂資料商業 一九一六、一、二〇、告示(聯邦議會命令)
- 同 一九一六、一、二二、告示(帝國宰相)







同  
金製貨物輸出  
必要ナラサル物件輸入  
鐵製記念章保護  
貨物賣上高印紙免除  
金價格  
金貨ノ取引

D、帝國々庫證券及ビ銀行券

帝國々庫證券及銀行券  
十麻克帝國々庫證券及ビ帝國銀行券

E、貸付金庫

貸付金庫法  
二麻克及一麻克貸付金庫證券  
貸付金庫證券最高額  
毀損等ノ貸付金庫證券兌換

「東部貸付金庫」設立(コヅノ)  
波蘭地方貸付金庫設立

F、其他ノ貨幣制度

貨幣法ノ變更  
五ブエンニツヒ鐵貨鑄造  
十ブエンニツヒ鐵貨鑄造  
銀輸出及通過輸送禁止  
十片及ヒ五片鐵貨鑄造  
一片アルミニウム貨鑄造  
五片同  
留輸入及ヒ通過輸送禁止  
十片亞鉛貨鑄造  
金等ニヨル對停廢支拂  
銀、白銅、銅及ヒアルミニウム貨輸出

G、取引所取引

四  
一九一六、二、二六、  
告示(帝國宰相)  
一九一六、七、二三、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一六、七、二三、  
告示(帝國宰相)  
一九一六、八、三、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一六、一一、二四、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一七、二、八、  
告示(聯邦議會命令)  
(帝國銀行理事局)

一九一四、八、四、  
法律  
一九一五、三、二二、  
法律

一九一四、八、四、  
法律  
一九一四、八、三一、  
告示(聯邦議會議決)  
一九一四、一一、一一、  
告示(同前)  
一九一四、一二、七、  
告示(帝國宰相)

一九一六、四、一七、  
命令  
一九一六、一一、九、  
命令

一九一四、八、四、  
法律  
一九一五、八、二六、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一五、一一、二二、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一六、三、一五、  
告示(帝國宰相)  
一九一六、五、一一、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一六、一一、二三、  
告示(同前)  
一九一七、二、一五、  
告示(同前)  
一九一七、三、一七、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一七、三、二二、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一七、三、二六、  
告示(國境總司官)  
一九一七、四、七、  
告示(帝國宰相)



商品ノ取引定期取引

同

英國ニ於テ捺印シタル有價證券ノ取引

有價證券ノ擔保提供

有價證券ソノ他ノ價格通知禁止

同

同

英國ニ於テ捺印シタル有價證券ノ取引命令補足

公定相場確定等

課稅相場表

外國有價證券印紙義務

獨逸海運會社株式等ノ讓渡

一部債務證書及ヒ優先株發行聯邦認許

### 日、關稅及ビ租稅

猶豫關稅等ノ期日前納付

猶豫セラレタル關稅及帝國々稅

六

一九一四、八、四、  
法律 一〇一

同 同、二四、  
告示(聯邦議會規則) 一〇三

同 九、一九、  
告示(聯邦議會命令) 一〇五

同 一二、二二、  
告示(同前) 一〇六

一九一五、二、二五、  
告示(同前) 一〇七

一九一五、二、二五、  
告示(帝國宰相) 一〇八

同 三、二七、  
告示(同前) 一〇九

同 一、四、  
告示(聯邦議會命令) 一〇九

一九一六、一一、九、  
法律 一一〇

一九一七、一、二、  
告示(帝國宰相) 一一一

一九一六、一二、一四、  
告示(聯邦議會命令) 一一一

一九一六、一二、二三、  
告示(同前) 一一二

一九一七、三、八、  
告示(同前) 一一三

一九一四、一二、三一、  
告示(帝國宰相) 一一四

一九一五、三、一五、  
告示(帝國宰相) 一一四

戰時利益課稅準備處分

帝國銀行戰時稅

戰時稅法

所得稅及ヒ補充稅附加稅引上

戰時稅補充

千九百十六年帝國銀行追加戰時稅

旅客貨物交通課稅

戰時稅保全

戰時稅追加徵收

石炭稅法

### 一、印紙稅

會社等ニ對スル帝國印紙稅免除

抵當證券帝國印紙稅免除

會社等ニ對スル帝國印紙稅免除

帝國印紙稅法施行規定變更

一定ノ無記名債務證書ノ帝國印紙稅免除

一九一四、八、一九、  
告示(聯邦議會決議) 一六

一九一四、九、一八、  
告示(同前) 一六

一九一四、九、二五、  
告示(同前) 一七

一九一四、一一、一二、  
告示(掲載七文) 一七

一九一五、三、一七、  
告示(聯邦議會決議) 一七

一九一五、一二、二四、  
法律 一一五

一九一五、一二、二四、  
法律 一一九

一九一六、六、二一、  
法律 一二九

一九一六、七、八、  
法律 一三八

一九一六、一一、一七、  
法律 一三九

一九一七、三、二七、  
法律 一三九

一九一七、四、八、  
法律 一三九

一九一七、四、九、  
法律 一六七

一九一七、四、九、  
法律 一六四

一九一七、八、四、  
法律 一五四

七



外國有價證券課稅免除消印

家族扶助ノ爲ニスル手形等ノ手形印紙稅免除

帝國印紙法施行規定變更

貨物運送證券印紙法施行

貨物運送證券印紙法

貨物賣上高印紙

未使用小切手印紙賠償及帝國印紙法施行規定變更

貨物賣上高印紙免除

質入證券等ノ帝國印紙稅免除

質入證券(中間證券)等ノ帝國印紙稅免除

帝國印紙法變更

K、帝國公債規則

帝國公債規則補完

L、帝國歲計豫算

千九百十四年度帝國歲計豫算追加

一九一五、一〇、二八

告示(聯邦議會議決)

一九一六、五、六

告示(帝國宰相)

一九一六、六、一三

(掲載セズ)

一九一六、六、一七

勅令

一九一六、六、一七

法律

一九一六、六、二六

法律

一九一六、九、八

告示(聯邦議會議決)

一九一六、一、一四

告示(聯邦議會命令)

一九一六、二、二四

告示(同前)

一九一七、三、二九

告示(同前)

一九一七、三、三〇

法律

一九一七、三、三〇

法律

一九一四、八、四

法律

一九一四、八、四

法律

一九一五、三、二二

法律

一九一五、八、三一

法律

一九一五、一二、二四

法律

一九一六、三、三〇

法律

一九一六、六、九

法律

一九一六、六、九

法律

一九一六、一〇、三〇

法律

一九一七、二、二八

法律

一九一七、三、三一

外國企業監督

對英拂支禁止

對佛支拂禁止

外國企業監督

對露支拂禁止

千九百十七年度帝國歲計豫算假規則

M、外國企業ノ支拂禁止、監督、管理

同 第二追加

同 第三追加

同 第二追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加

同 追加



佛企業強制管理  
 對英佛露支拂禁止  
 內國營業所ノ經營ニ於ケル外國銀行請求權  
 英企業強制管理  
 企業資本關與  
 對露支拂禁止  
 露企業強制管理  
 土地強制管理  
 外國企業監督及ヒ強制管理  
 外國企業強制管理ニ關スル規定補完  
 對露支拂禁止及敵財產閉鎖例外  
 對葡經濟上報復處分  
 英企業清算  
 外國企業監督及強制管理  
 對羅支拂禁止  
 羅企業強制管理  
 對伊報復處分

一九一四、一、二六、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一四、一、二〇、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一四、一、二二、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一四、一、二二、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一五、一、五、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一五、二、四、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一五、三、四、  
 告示(同前)  
 一九一五、三、二六、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一五、六、二四、  
 告示(同前)  
 一九一六、二、一〇、  
 告示(同前)  
 一九一六、四、一九、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一六、五、一四、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一六、七、三一、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一六、八、二四、  
 告示(同前)  
 一九一六、八、二八、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一六、九、二八、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一六、一、二四、  
 告示(同前)

二二五  
 二二七  
 二二七  
 二二八  
 二二九  
 二三〇  
 二三〇  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一  
 二三一

佛國被占領地宛支拂  
 對敵國支拂禁止猶豫規定  
 英企業清算  
 對露支拂禁止猶豫規定  
 佛企業清算  
 敵財產信託管理者

一九一七、一、五、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一七、一、一七、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一七、一、一八、  
 告示(同前)  
 一九一七、二、三、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一七、五、一四、  
 告示(同前)  
 一九一七、四、一九、  
 告示(聯邦議會命令)

二三四  
 二三四  
 二三四  
 二三四  
 二三七  
 二三八  
 二三九

N、支拂期間及ビ支拂合意

裁判所支拂期間許可  
 金錢債權遲滯支拂  
 一定支拂合意無拘束  
 抵當權及ヒ地債支拂期間  
 消滅時效期間  
 千九百十四年八月七日十八日及ヒ十二月二十二日命令變更  
 千九百十五年五月二十日命令ニヨリ變更アリシ命令條文  
 消滅時效期間  
 裁判所支拂期間許可

一九一四、八、七、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一四、八、一八、  
 告示(同前)  
 一九一四、九、二八、  
 告示(同前)  
 一九一四、一、二二、  
 告示(同前)  
 一九一四、一、二二、  
 告示(同前)  
 一九一五、五、二〇、  
 告示(同前)  
 一九一五、五、二〇、  
 告示(帝國宰相)  
 一九一五、一、一四、  
 告示(聯邦議會命令)  
 一九一六、六、八、  
 告示(同前)

二四三  
 二四四  
 二四四  
 二四六  
 二四六  
 二四七  
 二四七  
 二四七  
 二五一  
 二五一  
 二五一  
 二五一  
 二五一



戰爭關與者ニ對スル支拂期間  
抵當其他ノ實行

一一一  
一九一六、六、八、  
告示(聯邦議會命令)  
一九一六、六、八、  
告示(同前) 二五八  
二六〇

O、其他ノ處分

自己ノ權利認諾ヲ妨ケラレタル者ノ保護  
勞銀、俸給及ヒ之ニ類スル請求權差押  
借貸及ヒ用益借貸債權處分  
敵國臣民在內國財產屆出  
敵國臣民在內國財產屆出  
敵財產閉鎖例外  
國家逃亡者財產閉鎖及ヒ屆出  
訴訟費用法變更  
敵國臣民トノ契約  
同前

一九一四、八、四、  
法律 二六七  
一九一五、五、一七、  
告示(聯邦議會命令) 二七二  
一九一五、六、八、  
法律 二七三  
一九一五、一〇、七、  
告示(聯邦議會命令) 二七七  
一九一五、一〇、一〇、  
告示(帝國宰相) 二八〇  
一九一五、一〇、二一、  
告示(同前) 二八四  
一九一六、三、二三、  
告示(聯邦議會命令) 二八五  
一九一六、一、八、  
法律(帝法公報一二六三) 二八六  
一九一六、二、一六、  
告示(聯邦議會命令) 二八八  
一九一六、二、一七、  
告示(帝國宰相) 二九一

二、商法、手形法、及ビ小切手法

A、商法一般

登記セル組合ノ検査  
商法第七十四條第七十五條其他ノ變更  
有限責任會社々員總會呼出  
營利及ヒ經濟組合總會ニ於ケル組合員代理  
商業帳簿登記公開其他  
外國ニ財産ヲ有スル株式會社其他ノ貸借對照表

一九一四、九、八、  
告示(聯邦議會命令) 二九四  
一九一四、九、一〇、  
告示(聯邦議會命令) 二九四  
一九一四、一〇、八、  
告示(同前) 二九五  
一九一四、一、二、一七、  
告示(同前) 二九六  
一九一五、二、一、  
告示(帝國宰相) 二九七  
一九一五、二、二五、  
告示(聯邦議會命令) 二九八

B、强制競賣及ビ强制管理

土地强制管理  
公課ノ物權の順位

一九一五、四、二三、  
告示(同前) 二九九  
一九一五、四、二三、  
告示(同前) 三〇二

C、支拂不能、破産

破産手續防止業務監督  
商法其他ノ諸規定廢止  
破産防止業務監督

一九一四、八、八、  
告示(同前) 三〇二  
一九一四、八、八、  
告示(同前) 三〇六  
一九一六、二、一四、  
告示(同前) 三〇六

D、手形







同 從業者保護

追 加 (印刷中ニ發布セラレタル法律等)

帝國鑄貨ノ工業的加工及ヒ銀及ヒ銀製貨物ニヨル取引

帝國ノ本位ニヨル支拂資料貨幣

帝國鑄貨工業的加工 禁止例外

外國有價證券ノ帝國讓渡

株式等ノ拂込簡易方法

強制競賣ニ於ケル現金支拂申出ノ支拂

貨物賣上高印紙轉嫁

郵便小切手法變更

掲載セル法律命令等ノ發布年月日順一覽表

法律 命令 帝令 帝國宰相 聯邦議會 聯宰 命法

帝國法律公報 法報 告示 帝國官報 帝國中央新聞 官報 中央

一九一七、五、三〇、  
告示(聯邦議會命令) 三九六

告示(聯邦議會命令) 三九八

告示(聯邦議會命令) 三九九

告示(ウガル通信局) 三九九

告示(官報七、五、二四號) 三九九

告示(官報七、五、二六號) 三九九

告示(帝國宰相) 四〇一

告示(帝國宰相) 四〇一

告示(聯邦議會命令) 四〇二

告示(聯邦議會命令) 四〇二

告示(聯邦議會命令) 四〇三

戰 争 前

金及ヒ銀準備

郵便小切手法

郵便小切手規則

千九百十四年

帝國軍資金處分

帝國公債規則補完

貨幣法變更

銀行法變更

聯邦議會ノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限附與等

戰爭ノ結果自己ノ權利認識ヲ妨ケラレタル者ノ保護

商品取引所定期取引完結

貸付金庫法

千九百十四年會計年度帝國歲計豫算追加

帝國々庫證券及ヒ銀行券

一九一三、七、三、法、  
法報五二一、  
一九一四、三、二六、法、  
法報八五、  
一九一四、五、二二、宰、告、  
法報一三一、

一九一四、八、二、宰、命、  
三

同 法報三二五、  
八、四、法、  
一九二

同 同三二六、  
八、四、法、  
九四

同 一九一四、八、四、法、  
三

同 同三二七、  
八、四、法、  
三三五

同 同三二七、  
八、四、法、  
二六七

同 同三二八、  
八、四、法、  
一〇一

同 同三三六、  
八、四、法、  
七五

同 同三四〇、  
八、四、法、  
一九三

同 同三四五、  
八、四、法、  
七三



手形法及ヒ小切手法ノ期間延長  
 裁判所ニヨル支拂期間許可  
 破産手續防止業務監督命令  
 商法其他ノ諸規定一時失效  
 外國振出手形滿期  
 外國手形ニ關スル告示  
 金錢債權遲滯支拂效果  
 業務上ノ信用需要滿足ヲ目的トスル會社ニ對スル帝國印紙稅免除  
 商品取引所定期取引完結  
 手形法及ヒ小切手法期間追加延長  
 二麻克及ビ一麻克ノ金額ノ貸付金庫證券發行  
 外國企業監督  
 登記セル組合ノ検査  
 商法七四條七五條等ノ變更ヲ定ムル一四年六月一〇日法律中一規定ノ期  
 日前施行  
 抵當質入證券帝國印紙稅免除  
 經濟上ノ信用需要滿足ヲ目的トスル會社ニ對スル帝國印紙稅免除  
 一定支拂合意無拘束

一九一四、八、六、告、聯、規則 三三六  
 法報三五七  
 同 八、七、告、聯、命 二四三  
 同 三、五、九  
 同 八、八、告、聯、命 三〇二  
 同 三、六、三  
 同 八、八、告、聯、命 三〇六  
 同 三、六、五  
 同 八、一〇、告、聯、命 三三九  
 同 三、六、八  
 同 八、一、二、告、聯、命 三三〇  
 同 三、六、九  
 同 八、一、八、告、聯、命 二四四  
 同 三、七、七  
 同 八、一、九、告、聯、議決 一六八  
 同 三、八、〇  
 同 八、二、四、告、聯、規則 一〇三  
 同 三、八、一  
 同 八、二、九、告、聯、命 三三九  
 同 三、八、七  
 同 八、三、一、告、聯、議決 八二  
 同 三、九、三  
 同 九、四、告、聯、命 二〇七  
 同 三、九、七  
 同 九、八、告、聯、命 二九四  
 同 四、〇、〇  
 同 九、一〇、告、聯、命 二九四  
 同 四、〇、四  
 同 九、一、八、告、聯、議決 一六九  
 同 四、一、一  
 同 九、二、五、告、聯、議決 一七一  
 同 四、一、五  
 同 九、二、八、告、聯、命 二四六

對英支拂禁止  
 有限責任會社々員總會呼出  
 對佛支拂禁止  
 外國企業監督  
 外國振出手形滿期  
 貸付金庫證券最高額  
 帝國印紙法施行規定變更  
 英國捺印有價證券ニヨル取引禁止  
 對露支拂禁止  
 帝國金貨ノ打歩取引禁止  
 佛企業強制管理  
 千九百十四年會計年度帝國歲計豫算第二追加  
 毀損、使用不能ソノ他ノ貸付金庫證券兌換  
 營利及ヒ經濟組合等ノ總會ニ於ケル組合員代理  
 對英佛及ヒ露支拂禁止  
 有價證券ノ擔保提供  
 內國營業所經營上外國銀行ニ生セル請求權

一九一四、九、三〇、告、聯、命 二〇九  
 法報四二一  
 同 一〇、八、告、聯、命 二九五  
 同 四、二、八  
 同 一〇、二〇、告、聯、命 二二二  
 同 四、四、三  
 同 一〇、二、二、告、聯、命 二二三  
 同 四、四、七  
 同 一〇、二、二、告、聯、命 三三二  
 同 四、四、八  
 同 一〇、一、一、告、聯、議決 八三  
 同 四、七、五  
 同 一〇、一、二、告、聯、命 一七二  
 同 五、八、七  
 同 一〇、一、九、告、聯、命 一〇五  
 同 四、七、七  
 同 一〇、一、九、告、聯、命 二二四  
 同 四、七、九  
 同 一〇、二、三、告、聯、命 二二五  
 同 四、八、一  
 同 一〇、二、六、告、聯、命 二二五  
 同 四、八、七  
 同 一〇、二、三、法 一九四  
 同 四、八、九  
 同 一〇、二、七、告、聯、命 八三  
 中央六一六  
 同 一〇、二、七、告、聯、命 二九六  
 法報五一八  
 同 一〇、二、〇、告、聯、命 二二七  
 同 五、五、〇  
 同 一〇、二、二、告、聯、命 一〇六  
 同 五、四、一  
 同 一〇、二、二、告、聯、命 二二七  
 同 五、四、二  
 同 一〇、二、二、告、聯、命 二二七



消滅時効期間  
 抵當及ヒ地債支拂期間許可  
 英企業強制管理  
 猶豫關稅及ヒ國稅期日前納付ニ對スル利息引下

千九百十五年

企業資本關與ニ關スル變更  
 外國振出手形滿期  
 對露支拂禁止  
 商業登記簿記入等ノ公開  
 有價證券等ノ價額通知禁止  
 同  
 外國ニ財産ヲ所有スル株式會社等ノ貸借對照表  
 エルサス・ロートリンゲン、オスト・プロイセン等ニ對スル手形及小切手法  
 露企業強制管理  
 猶豫關稅及ヒ國稅  
 有價證券價額通知禁止

一九四一、二、三、告、聯、命 二四七  
 法報五四三  
 同 一、二、三、告、聯、命 二四六  
 同 五、四、三 二四三  
 同 一、二、三、告、聯、命 二四二  
 同 五、五、六 二三八  
 同 一、二、三、告、聯、命 二四一  
 同 一九一五年ノ一 二四〇

一九一五、一、五、告、聯、命 二一九  
 法報一三三  
 同 一、八、告、聯、命 二一八  
 同 二、三 二一七  
 同 二、四、告、聯、命 二一六  
 同 六、九 二一五  
 同 七、一、告、聯、命 二一四  
 同 二、二、五、告、聯、命 二一三  
 同 一、一、二、五、告、聯、命 二一二  
 同 二、二、五、告、聯、命 二一一  
 同 一、二、三 二一〇  
 同 二、二、五、告、聯、命 二〇九  
 同 三、四、告、聯、命 二〇八  
 同 一、二、三 二〇七  
 同 三、四、告、聯、命 二〇六  
 同 一、二、三 二〇五  
 同 三、四、告、聯、命 二〇四  
 同 一、二、三 二〇三  
 同 三、四、告、聯、命 二〇二  
 同 一、二、三 二〇一  
 同 三、四、告、聯、命 二〇〇  
 同 一、二、三 一九九  
 同 三、四、告、聯、命 一九八  
 同 一、二、三 一九七  
 同 三、四、告、聯、命 一九六  
 同 一、二、三 一九五  
 同 三、四、告、聯、命 一九四  
 同 一、二、三 一九三  
 同 三、四、告、聯、命 一九二  
 同 一、二、三 一九一  
 同 三、四、告、聯、命 一九〇  
 同 一、二、三 一八九  
 同 三、四、告、聯、命 一八八  
 同 一、二、三 一八七  
 同 三、四、告、聯、命 一八六  
 同 一、二、三 一八五  
 同 三、四、告、聯、命 一八四  
 同 一、二、三 一八三  
 同 三、四、告、聯、命 一八二  
 同 一、二、三 一八一  
 同 三、四、告、聯、命 一八〇  
 同 一、二、三 一七九  
 同 三、四、告、聯、命 一七八  
 同 一、二、三 一七七  
 同 三、四、告、聯、命 一七六  
 同 一、二、三 一七五  
 同 三、四、告、聯、命 一七四  
 同 一、二、三 一七三  
 同 三、四、告、聯、命 一七二  
 同 一、二、三 一七一  
 同 三、四、告、聯、命 一七〇  
 同 一、二、三 一六九  
 同 三、四、告、聯、命 一六八  
 同 一、二、三 一六七  
 同 三、四、告、聯、命 一六六  
 同 一、二、三 一六五  
 同 三、四、告、聯、命 一六四  
 同 一、二、三 一六三  
 同 三、四、告、聯、命 一六二  
 同 一、二、三 一六一  
 同 三、四、告、聯、命 一六〇  
 同 一、二、三 一五九  
 同 三、四、告、聯、命 一五八  
 同 一、二、三 一五七  
 同 三、四、告、聯、命 一五六  
 同 一、二、三 一五五  
 同 三、四、告、聯、命 一五四  
 同 一、二、三 一五三  
 同 三、四、告、聯、命 一五二  
 同 一、二、三 一五一  
 同 三、四、告、聯、命 一五〇  
 同 一、二、三 一四九  
 同 三、四、告、聯、命 一四八  
 同 一、二、三 一四七  
 同 三、四、告、聯、命 一四六  
 同 一、二、三 一四五  
 同 三、四、告、聯、命 一四四  
 同 一、二、三 一四三  
 同 三、四、告、聯、命 一四二  
 同 一、二、三 一四一  
 同 三、四、告、聯、命 一四〇  
 同 一、二、三 一三九  
 同 三、四、告、聯、命 一三八  
 同 一、二、三 一三七  
 同 三、四、告、聯、命 一三六  
 同 一、二、三 一三五  
 同 三、四、告、聯、命 一三四  
 同 一、二、三 一三三  
 同 三、四、告、聯、命 一三二  
 同 一、二、三 一三一  
 同 三、四、告、聯、命 一三〇  
 同 一、二、三 一二九  
 同 三、四、告、聯、命 一二八  
 同 一、二、三 一二七  
 同 三、四、告、聯、命 一二六  
 同 一、二、三 一二五  
 同 三、四、告、聯、命 一二四  
 同 一、二、三 一二三  
 同 三、四、告、聯、命 一二二  
 同 一、二、三 一二一  
 同 三、四、告、聯、命 一二〇  
 同 一、二、三 一一九  
 同 三、四、告、聯、命 一一八  
 同 一、二、三 一一七  
 同 三、四、告、聯、命 一一六  
 同 一、二、三 一一五  
 同 三、四、告、聯、命 一一四  
 同 一、二、三 一一三  
 同 三、四、告、聯、命 一一二  
 同 一、二、三 一一一  
 同 三、四、告、聯、命 一一〇  
 同 一、二、三 一〇九  
 同 三、四、告、聯、命 一〇八  
 同 一、二、三 一〇七  
 同 三、四、告、聯、命 一〇六  
 同 一、二、三 一〇五  
 同 三、四、告、聯、命 一〇四  
 同 一、二、三 一〇三  
 同 三、四、告、聯、命 一〇二  
 同 一、二、三 一〇一  
 同 三、四、告、聯、命 一〇〇  
 同 一、二、三 九十九  
 同 三、四、告、聯、命 九十八  
 同 一、二、三 九十七  
 同 三、四、告、聯、命 九十六  
 同 一、二、三 九十五  
 同 三、四、告、聯、命 九十四  
 同 一、二、三 九十三  
 同 三、四、告、聯、命 九十二  
 同 一、二、三 九十一  
 同 三、四、告、聯、命 九〇  
 同 一、二、三 八十九  
 同 三、四、告、聯、命 八十八  
 同 一、二、三 八十七  
 同 三、四、告、聯、命 八十六  
 同 一、二、三 八十五  
 同 三、四、告、聯、命 八十四  
 同 一、二、三 八十三  
 同 三、四、告、聯、命 八十二  
 同 一、二、三 八十一  
 同 三、四、告、聯、命 八〇  
 同 一、二、三 七十九  
 同 三、四、告、聯、命 七八  
 同 一、二、三 七十七  
 同 三、四、告、聯、命 七十六  
 同 一、二、三 七十五  
 同 三、四、告、聯、命 七十四  
 同 一、二、三 七十三  
 同 三、四、告、聯、命 七十二  
 同 一、二、三 七十一  
 同 三、四、告、聯、命 七〇  
 同 一、二、三 六十九  
 同 三、四、告、聯、命 六十八  
 同 一、二、三 六十七  
 同 三、四、告、聯、命 六十六  
 同 一、二、三 六十五  
 同 三、四、告、聯、命 六十四  
 同 一、二、三 六十三  
 同 三、四、告、聯、命 六十二  
 同 一、二、三 六十一  
 同 三、四、告、聯、命 六〇  
 同 一、二、三 五十九  
 同 三、四、告、聯、命 五十八  
 同 一、二、三 五十七  
 同 三、四、告、聯、命 五十六  
 同 一、二、三 五十五  
 同 三、四、告、聯、命 五十四  
 同 一、二、三 五十三  
 同 三、四、告、聯、命 五十二  
 同 一、二、三 五十一  
 同 三、四、告、聯、命 五〇  
 同 一、二、三 四十九  
 同 三、四、告、聯、命 四十八  
 同 一、二、三 四十七  
 同 三、四、告、聯、命 四十六  
 同 一、二、三 四十五  
 同 三、四、告、聯、命 四十四  
 同 一、二、三 四十三  
 同 三、四、告、聯、命 四十二  
 同 一、二、三 四十一  
 同 三、四、告、聯、命 四〇  
 同 一、二、三 三十九  
 同 三、四、告、聯、命 三十八  
 同 一、二、三 三十七  
 同 三、四、告、聯、命 三六  
 同 一、二、三 三五  
 同 三、四、告、聯、命 三四  
 同 一、二、三 三三  
 同 三、四、告、聯、命 三二  
 同 一、二、三 三一  
 同 三、四、告、聯、命 三〇  
 同 一、二、三 二九  
 同 三、四、告、聯、命 二八  
 同 一、二、三 二七  
 同 三、四、告、聯、命 二六  
 同 一、二、三 二五  
 同 三、四、告、聯、命 二四  
 同 一、二、三 二三  
 同 三、四、告、聯、命 二二  
 同 一、二、三 二一  
 同 三、四、告、聯、命 二〇  
 同 一、二、三 一九  
 同 三、四、告、聯、命 一八  
 同 一、二、三 一七  
 同 三、四、告、聯、命 一六  
 同 一、二、三 一五  
 同 三、四、告、聯、命 一四  
 同 一、二、三 一三  
 同 三、四、告、聯、命 一二  
 同 一、二、三 一一  
 同 三、四、告、聯、命 一〇  
 同 一、二、三 九  
 同 三、四、告、聯、命 八  
 同 一、二、三 七  
 同 三、四、告、聯、命 六  
 同 一、二、三 五  
 同 三、四、告、聯、命 四  
 同 一、二、三 三  
 同 三、四、告、聯、命 二  
 同 一、二、三 一  
 同 三、四、告、聯、命 〇

一定ノ無記名債務證書帝國印紙稅免除  
 千九百十五年會計年度帝國歲計豫算  
 十麻克帝國々庫證券及帝國銀行銀行券發行  
 土地強制管理ノ場合ニ於ケル請求權履行  
 土地強制管理  
 公課物權順位  
 賃銀俸給及ヒ之ニ類スル請求差押制限  
 千九百十四年八月七日、十八日、及ヒ十二月二十二日命令變更  
 千九百十五年五月二十日命令ニヨリ變更アリシ命令條文  
 借貸及ヒ用益借貸債權處分制限  
 外國企業監督及ヒ強制管理  
 五片鐵貨鑄造  
 千九百十五年會計年度帝國歲計豫算追加  
 敵國臣民在內國財產届出  
 同ニ關スル規定  
 敵財産閉鎖例外  
 外國有價證券無稅捺印

一九一五、三、一七、告、聯、議決 一七二  
 法報一五五  
 同 三、二、法 一五七  
 同 一、七、九、法 一四九  
 同 三、二、法 一四八  
 同 一、八、四、告、聯、命 一四七  
 同 三、二、法 一四六  
 同 一、八、四、告、聯、命 一四五  
 同 三、二、法 一四四  
 同 一、八、四、告、聯、命 一四三  
 同 三、二、法 一四二  
 同 一、八、四、告、聯、命 一四一  
 同 三、二、法 一四〇  
 同 一、八、四、告、聯、命 一三九  
 同 三、二、法 一三八  
 同 一、八、四、告、聯、命 一三七  
 同 三、二、法 一三六  
 同 一、八、四、告、聯、命 一三五  
 同 三、二、法 一三三  
 同 一、八、四、告、聯、命 一三二  
 同 三、二、法 一三一  
 同 一、八、四、告、聯、命 一三〇  
 同 三、二、法 一二九  
 同 一、八、四、告、聯、命 一二八  
 同 三、二、法 一二七  
 同 一、八、四、告、聯、命 一二六  
 同 三、二、法 一二五  
 同 一、八、四、告、聯、命 一二四  
 同 三、二、法 一二三  
 同 一、八、四、告、聯、命 一二二  
 同 三、二、法 一二一  
 同 一、八、四、告、聯、命 一二〇  
 同 三、二、法 一一九  
 同 一、八、四、告、聯、命 一一八  
 同 三、二、法 一一七  
 同 一、八、四、告、聯、命 一一六  
 同 三、二、法 一一五  
 同 一、八、四、告、聯、命 一一四  
 同 三、二、法 一一三  
 同 一、八、四、告、聯、命 一一二  
 同 三、二、法 一一一  
 同 一、八、四、告、聯、命 一一〇  
 同 三、二、法 一〇九  
 同 一、八、四、告、聯、命 一〇八  
 同 三、二、法 一〇七  
 同 一、八、四、告、聯、命 一〇六  
 同 三、二、法 一〇五  
 同 一、八、四、告、聯、命 一〇四  
 同 三、二、法 一〇三  
 同 一、八、四、告、聯、命 一〇二  
 同 三、二、法 一〇一  
 同 一、八、四、告、聯、命 一〇〇  
 同 三、二、法 九十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 九十八  
 同 三、二、法 九十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 九十六  
 同 三、二、法 九十五  
 同 一、八、四、告、聯、命 九十四  
 同 三、二、法 九十三  
 同 一、八、四、告、聯、命 九十二  
 同 三、二、法 九十一  
 同 一、八、四、告、聯、命 九〇  
 同 三、二、法 八十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 八十八  
 同 三、二、法 八十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 八十六  
 同 三、二、法 八十五  
 同 一、八、四、告、聯、命 八十四  
 同 三、二、法 八十三  
 同 一、八、四、告、聯、命 八二  
 同 三、二、法 八十一  
 同 一、八、四、告、聯、命 八〇  
 同 三、二、法 七十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 七八  
 同 三、二、法 七十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 七六  
 同 三、二、法 七五  
 同 一、八、四、告、聯、命 七四  
 同 三、二、法 七三  
 同 一、八、四、告、聯、命 七二  
 同 三、二、法 七一  
 同 一、八、四、告、聯、命 七〇  
 同 三、二、法 六十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 六八  
 同 三、二、法 六十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 六六  
 同 三、二、法 六五  
 同 一、八、四、告、聯、命 六四  
 同 三、二、法 六三  
 同 一、八、四、告、聯、命 六二  
 同 三、二、法 六一  
 同 一、八、四、告、聯、命 六〇  
 同 三、二、法 五十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 五十八  
 同 三、二、法 五十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 五六  
 同 三、二、法 五五  
 同 一、八、四、告、聯、命 五四  
 同 三、二、法 五三  
 同 一、八、四、告、聯、命 五二  
 同 三、二、法 五一  
 同 一、八、四、告、聯、命 五〇  
 同 三、二、法 四十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 四八  
 同 三、二、法 四十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 四六  
 同 三、二、法 四五  
 同 一、八、四、告、聯、命 四四  
 同 三、二、法 四三  
 同 一、八、四、告、聯、命 四二  
 同 三、二、法 四一  
 同 一、八、四、告、聯、命 四〇  
 同 三、二、法 三十九  
 同 一、八、四、告、聯、命 三八  
 同 三、二、法 三十七  
 同 一、八、四、告、聯、命 三六  
 同 三、二、法 三五  
 同 一、八、四、告、聯、命 三四  
 同 三、二、法 三三  
 同 一、八、四、告、聯、命 三二  
 同 三、二、法 三一  
 同 一、八、四、告、聯、命 三〇  
 同 三、二、法 二九  
 同 一、八、四、告、聯、命 二八  
 同 三、二、法 二七  
 同 一、八、四、告、聯、命 二六  
 同 三、二、法 二五  
 同 一、八、四、告、聯、命 二四  
 同 三、二、法 二三  
 同 一、八、四、告、聯、命 二二  
 同 三、二、法 二一  
 同 一、八、四、告、聯、命 二〇  
 同 三、二、法 一九  
 同 一、八、四、告、聯、命 一八  
 同 三、二、法 一七  
 同 一、八、四、告、聯、命 一六  
 同 三、二、法 一五  
 同 一、八、四、告、聯、命 一四  
 同 三、二、法 一三  
 同 一、八、四、告、聯、命 一二  
 同 三、二、法 一一  
 同 一、八、四、告、聯、命 一〇  
 同 三、二、法 九  
 同 一、八、四、告、聯、命 八  
 同 三、二、法 七  
 同 一、八、四、告、聯、命 六  
 同 三、二、法 五  
 同 一、八、四、告、聯、命 四  
 同 三、二、法 三  
 同 一、八、四、告、聯、命 二  
 同 三、二、法 一  
 同 一、八、四、告、聯、命 〇















質入證券(中間證券)及地方債々務證書等ノ帝國印紙稅免除  
 帝國印紙法變更  
 千九百十七年會計年度帝國歲計豫算假規則  
 銀、白銅、銅、アルミニウム鑄造貨輸出  
 旅客及貨物交通課稅  
 戰時稅附加徵收  
 戰時稅保全  
 外國債權届出  
 對外支拂取引制限  
 敵財產信託管理者  
 祖國救護勤務従事者保護  
 千九百十七年二月八日命令歷山堡適用  
 石炭稅法

二八  
 一九一七、三、二九、告、聯、命 一九一  
 法報二九二  
 同 三、三〇、法 一九一  
 同 二、九七、法 一九一  
 同 三、三一、法 一九一  
 同 二、八九、法 一九一  
 同 四、七、告、宰 一九一  
 同 四、八、法 一九一  
 同 三、二九、法 一九一  
 同 四、九、法 一九一  
 同 四、九、法 一九一  
 同 四、九、法 一九一  
 同 四、三、告 一九一  
 官報 四、一六、帝國郵便局訓 一九一  
 同 四、一九、告、聯、命 一九一  
 法報三六三  
 同 五、三、告、聯、命 一九一  
 同 三、九二、法 一九一  
 同 五、九、告 一九一  
 同 八、四、法 一九一  
 同 三、四〇、法 一九一

(一) 財政及租稅

A 帝國銀行及帝國軍資金

準備金銀



(財政制度變更ニ關スル法律「一九一三年七月三日」(コヨリ)  
 一九一三年第十三立法期第一會期帝國議會議事録中ノ草案理由書八七二號。一九一三、四、九ヨリ同二二五第一讀  
 會計議(一三五ヨリ一三八開期)。委員會討議、帝國議會議事録一一一號。一九一三、六、二七第二讀會(一七一開期)。一九  
 一三、六、三〇第三讀會(一七三開期)。帝國法律公報五二一。

第六條(三)帝國宰相ハ一億二千萬麻克ノ金額ニ至ルマテ、非常ノ必要ヲ充當スヘキ準備金ヲ銀貨ニ  
 テ調達シ、且之カタメ千九百九年六月一日貨幣法(帝國法律公報五〇七)第八條ニ定メラレタル人口一  
 員ニシテ千九百九年六月一日貨幣法(帝國法律公報五〇七)第八條ニ定メラレタル人口一  
 員ニシテ千九百九年六月一日貨幣法(帝國法律公報五〇七)第八條ニ定メラレタル人口一  
 員ニシテ千九百九年六月一日貨幣法(帝國法律公報五〇七)第八條ニ定メラレタル人口一

此ノ銀準備額ノ設置ニ必要ナル方法ハ、帝國歲計豫算ノ細則ニ從ヒテ爲スコトヲ要ス。鑄造ニヨリ  
 テ貨幣制度上ニ生スル剩餘ハ、此ノ目的ニ使用スルコトヲ得。然レトモ千九百十三年ノ會計年度ニ於  
 テハ千七百七十五萬麻克ヲ超エサル範圍内ニ限ル。

第一項ノ規定セル標準ニ從ヒテ非常ノ必要ニ充當スル爲メ、帝國宰相ガ將來ニ於テ取り又ハ已ニ取



二  
リタル處置ハ、動員ノ際ヲ除キ、帝國議會ニ報告スヘシ。而シテ帝國議會之カ失效ヲ求メタル時ハ之ニ從フ事ヲ要ス。

(一)前數條ハ兵役稅ソノ他ニ關ス。

第七條 帝國宰相ハ、一億二千萬麻克ニ至ルマテ、更ニ帝國國庫證券ヲ五麻克及十麻克ノ分札ニ於テ、製造セシムルノ權限ヲ附與セラル。千八百七十四年四月三十日帝國々庫證券發行ニ關スル法律(帝法公報四〇頁)第一條第二項、第五條乃至第七條ノ適用アル此ノ帝國々庫證券ノ收得金ハ、帝國軍資金(一八七一、一一、一二、帝國軍資金設置ニ關スル法律、帝法公報四〇三)ニ充ツル目的ヲ以テ同額ノ金貨ヲ調達スルニ使用スヘシ。

(二)帝國々庫證券ノ分札、受理、製造、發行。

第八條 第六條及第七條ニ掲ケタル準備額ハ聯邦議會ノ定ムル細則ニ從ヒ、帝國公債委員會(一九〇〇、三、一一、帝國公債規則第十二條。帝法公報一二九)監視ノ下ニ帝國宰相之ヲ管理ス。帝國公債委員會ハ帝國宰相ヨリ毎年此ノ此等ノ準備額ニツキ證明ヲ受ケ、及ヒソノ之ニ關シテ發スル命令及ヒ爲サルル變更ニ關シ成ルヘク速ニ報告ヲ受ク。又何時タリトモ準備額ノ存在及ヒ確實ナル保存ニツキ證明ヲ得ル權限ヲ有ス。

帝國議會各年度通常開會ニ際シ、帝國公債委員會ハ準備額ニツキ、ソノ審理セル證明ヲ提出シテ報

告ヲ爲スヘシ。

### 帝國軍事資金ノ充用

皇帝ノ授權ニヨリ、千八百七十一年十一月十一日帝國軍事資金設置ニ關スル法律(帝法公報四〇三)第一條第二項ノ規定ニ基キ、在すばんだう、ゆりうす塔中ニ保置セル一億二千萬麻克ノ額ノ帝國軍事資金、並ニ千九百十三年七月三日財政制度變更ニ關スル法律(帝法公報五二一)第七條ニ從ヒ獲得セル同額ノ金非常準備金ハ、帝國銀行ニヨリ帝國ノ爲メニ支出セラルヘキ動員費用ノ緊急大ナルニ願ミ、聯邦及ヒ帝國議會ノ事後承諾(一)ヲ留保シ、已ニ同銀行ニ委託セラレタリ。

千九百十四年八月二日(一)伯林ニテ

帝國宰相

(一)一九一四年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄第十號中草案理由書。一九一四、八、四、第一ヨリ第三讀會(第二開期)。帝國法律公報三二七。

(二)一九一四年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄第一號。帝國議會ノ承諾ハ一九一四、四、八、第一、第二、第三讀會(第二開期)ニ於テ行ハレタリ。

### 銀行法變更ニ關スル法律 一九一四、八、四、(一)

(一)本頁ノ脚註(一)ニ同シ。

第一條 銀行法第九條及ヒ第十條(一)ハ帝國銀行ニ對シテハソノ效力ヲ失フ。



第二條 帝國ヲ債務者トシ最長三ヶ月ノ滿期日ヲ有スル手形ハ、帝國以外ノ義務者ガソノ責任ヲ負ハサル時ト雖モ、銀行法第十三條第二號<sup>(三)</sup>及第十七條<sup>(四)</sup>ノ規定ヲ適用スルニ足ルモノトス。

<sup>(三)</sup>銀行券發行稅

<sup>(四)</sup>手形買入

<sup>(五)</sup>兌換準備

第三條 遅クモ三ヶ月後ニ額面價額ヲ以テ履行期ニ到達スル帝國債務證書ハ、銀行法第十七條<sup>(四)</sup>ノ意味ニ於テ同條ニ掲ケタル手形ニ同シ。

第四條 聯邦議會ハ此ノ法律第一條乃至第三條ノ規定ノ失效時期ヲ定ムルノ權限ヲ附與セラル。

第五條 此ノ法律ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ生ス。

### 帝國銀行戰時稅ニ關スル法律 一九一五、一二、二四、<sup>(五)</sup>

#### 第一節

千九百十五年帝國銀行利益中一億麻克ノ額ハ豫メ帝國ニ讓與スヘキモノトス。

<sup>(五)</sup>一九一四—一五年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄第一四八號草案理由書。一九一五、一一、三〇、第一讀會(二一期期)。

一五一五、一二、二〇、第二第三讀會(二四開期)帝法公報八四〇。

#### 第二節

第一條 帝國銀行ハ尙ホ千九百十五年度及ヒ十六年度ノ利益ヨリ、各千四百三十萬麻克ノ額ヲ帝國

ニ支拂フヘシ。

第二條 千九百十五年度及ヒ十六年度總支出控除ノ後ニ生スル純益ガ、千九百十一年、十二年、十三年度ノ平均純益ヲ超過シタルトキハ、ソノ各四分ノ三ハ帝國ニ歸屬ス。

殘餘ノ利益ノ分配ハ千九百九年七月一日ニ發セラレタル銀行法(帝法公報五一五)第二十四條ニ從フ

#### 第三節

千九百十四年、十五年、十六年度ニ對シテ帝國銀行ガ、疑ハシキ債權ニ對スル準備トシテ貸借對照表上差引ケル額ハ、戰爭終結ノ翌年末マテ損失ノ填補ニノミ使用スル事ヲ得。

同日ニ至ルマテ使用セラレサリシ額ニツキ、六百二十五萬麻克ニ達スルマテ、帝國銀行カ疑シキ債權ニ對スル準備トシテ、前記年度ノ貸借對照表ニ載セタル額ヲ控除セル殘額ノ半ヲ帝國ニ納付スヘシ。

他ノ半額ニツキテハ、千九百二十年十二月三十一日ニ至ルマテニ、損失填補ノタメ要求セラレサル限り、銀行法第四十一條ニ從ツテ發セラルヘキ次回ノ法律ニヨリ決定的規定ヲ定ムヘキモノナリ。

#### 第四節

第二節第二條ニ從ヒ帝國ニ納付セラルヘキ額、及ヒ第三節ニ掲ケタル額ハ地方課稅ヲ受ケス。

### 帝國銀行ニヨル小切手保證ニ關スル告示



(一)之ニ關シテハ「帝國銀行トノ取引ニ關スル一般規定」五十二版(一九一六年十二月)五十五頁及ヒ一九一七、三、五「經濟應急處分」ノ他ニ關スル議事録第十追加(帝國議會議事録第六百五十號)參照。此ノ告示ニ附シテ普國鐵道大臣ハ千九百十六年十月十七日訓令ヲ以テ(鐵道規則報第二十三號、一九一六、一一、二)カ、ル小切手ハ法定期間内ハ法定貨幣ト同様ニ鐵道金庫ニヨリ支拂トシテ受理スル旨ヲ告示セリ。

一九一六、八、三一、(帝法公報九八五)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ次ノ命令ヲ發セリ。

第一節

帝國銀行ハ同銀行ニ宛テ振出サレタル小切手ニ保證ノ記載ヲ附スル時ハ、之ニヨリテ所持人ニ對シテ支拂ヲ爲スノ義務ヲ有ス。同行ハ又振出人及ヒ裏書人ニ對シテモ支拂ヲ爲スノ義務ヲ有ス。保證ニ基ク義務ハ、小切手カ呈示期間(一九〇八、三、一一、小切手法第十一條、帝法公報七一)内ニ支拂ノ爲ニ呈示セラレサル時ハ消滅ス。呈示アリタルノ證明ニ關シテハ、小切手法第十六條ヲ適用ス。保證ニ基ク請求權ハ呈示期間經過後二年ヲ以テ時効ニヨリ消滅ス。署名カ偽造セラレシ保證小切手ニハ、同法二十三條ヲ適用ス。保證ニ基ク請求權ノ訴訟上ノ行使ニハ同法二十八條ノ規定ヲ適用ス。帝國銀行ハ豫メ支拂資金ヲ設ケタル時ノミ小切手ニ保證記載ヲ爲スノ權アリ。

第二節

保證ハ手形印紙及ヒ州法ニヨル税金ノ支拂ヲナスノ義務ヲ生セス。

第三節

本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。  
帝國宰相之カ失効ノ時期ヲ定ム。

帝國銀行中央委員會決議 一九一六、一〇、三〇、(一)

(一)一九一六、一一、一、北獨乙アルゲマイネ、ツアイトウンケ紙三〇三號

中央委員會ハ銀行法三十二條dニ基キ、同行ノ資金ヲ自己ノ計算ニ於テ有價證券購入ニ使用シ得ル額ヲ、一億二千萬麻克ニ引上クルコトヲ許可セリ。

郵便金庫ノ保證付白色帝國銀行小切手受理 (三)

(一)一九一六年帝國郵便局々報八五號

帝國銀行ハ千九百十六年八月三十一日聯邦議會命令(帝法公報九八五)ニ基キ、同銀行ニ宛テ振出サレタル白色小切手ニ保證記載ヲ附スルコトヲ得。ソノ記載ニヨリ、同行ハ法定十日間ノ呈示期間(一九〇八、三、一一、小切手法十一條帝法公報七一)内小切手支拂ノ義務ヲ負フ。保證記載ハ次ノ文言ヲ有



ス。

「本銀行ハ此ノ手形……麻克ニツキ……(何月何日)マテ執務時間内支拂可申候

(場所)……(日付)……

此ノ文言ハ小切手ノ裏面ニ記載セラレ、左ニ示ス型(型ハ略ス)ノ浮上リ乾印ヲ押捺シタル下ニ、帝國銀行員二名署名ス。表面ニハ赤色インクニテ「裏面ヲ見ヨ」トノ附記ヲ以テ、「保證附小切手」ト記シテ他ト區別ス。帝國銀行營業所ノ存スル地ノ郵便計算局ハ、帝國銀行營業所ニテ保證セラレタル帝國銀行小切手カ真正ニシテ有效ナルコトニツキ疑ナキ時ハ、現金取引ニ生スル如何ナル支拂ノ際ニモ、出來得ル限り之ヲ受理スヘシ。之ニ關スル審査ハ局長又ハソノ代理人ニ委任ス。審査ハ參酌スヘキ總テノ事項ヲ顧ミ、又疑シキ場合ニハ帝國銀行ニ問合ハスヘキモノトス。帝國銀行營業所ハ小切手ニ附セル保證記載ノ真正ニ關シ、電信又ハ電話ヲ以テ解答ヲ與フヘシ。保證附小切手ニヨル支拂ハ現金支拂ト同様ノ效力ヲ有スルカ故ニ、帝國銀行ニ於テ小切手カ帳簿ニ登録セララルルヲ待タスシテ、特ニ郵便爲替及ヒ支拂證券ヲ送付スヘキモノトス。

保證小切手ハ支拂全額ヨリモ小額ノ記載アル場合ニモ、受理スルヲ要ス。支拂ヲ受ケタル郵便金庫ハ、支拂受取人トシテ小切手中ニ表示セラルルヲ要セス。此ノ小切手ハ帝國銀行ニ赤色帝國銀行小切手ト同様ニ輸送スヘシ。小切手ノ十日ノ呈示期間經過前ニ、振宛テラレタル帝國銀行營業所ニ到達セ

ルヲ確ムル爲メ、郵便局長ハ土地ノ事情ニ鑑ミ、振出日以後如何ナル期間内ニ於テ保證附小切手ヲ支拂ニ收納スヘキカラ定ムヘシ。

大柏林帝國銀行營業所ニテ保證セル帝國銀行小切手ハ、大柏林郵便計算局ニ於テ支拂トシテ收納セラレ。

### 千九百十六年度帝國銀行追加戰時稅ニ關スル法律

一九一七、三、二七、

(一九一四—一七年第十三立法期第二會期帝國議會議事録第六二〇號草案理由書。一九一七、二、二三、(八二開期)第一讀會。一九一七、三、二〇、(八七開期)第二及ヒ第三讀會。帝法公報二八五。

第一條 千九百十六年度帝國銀行利益ヨリ、先ツ一億麻克ノ額ヲ帝國ニ讓與スヘシ。

第二條 千九百十六年度ニ對シ帝國銀行ノ「戰時損失」ノ爲メ貸借對照表上殘シタル準備金ハ、千九百二十年十二月三十一日ニ至ル迄戰時損失ノ填補ニ使用スル事ヲ得。

殘額ニシテ此ノ時期ニ至ルマテ使用セラレサリシモノニツキテハ、銀行法四十條ニヨリ發布セラレヘキ次回ノ法律ヲ以テ決定的規定ヲ爲スヘシ。  
右ノ金額ハ地方課稅ヲ受ケス。

### B 對外支拂取引規則

(外國爲替取引)



外國支拂資料商業ニ關スル告示 一九一六、一、二〇、(帝法公報四九)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分等ヲ爲スノ權限ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ、次ノ命令(一)ヲ發セリ。

(一)此ノ命令ハ外國爲替取引規則改正ノ法律上ノ根據ヲ爲ス。一九一六、一、二八、初メテ外國爲替相場取引所ニ於テ立テラル。コンスタンチノーブル、マドリット、バルセロナ宛支拂證書ノ相場ハ初メテ一九一七、二、二二ニ立テリ。

第一條 外國貨幣、銀行券並ニ外國宛支拂證書、小切手及ヒ短期手形ハ、商業經營ニ際シ帝國宰相ノ指定セル人及ヒ商館ニヨリテノミ購買、交換、或ハ消費貸借ニヨリテ取得セラレ、又之等ノ人及ヒ商館ニノミ賣却、質入、或ハ消費貸借ニヨリ讓渡スルコトヲ得。

在外ノ取引上ノ殘額債權ニツイテハ、商業經營ニ際シ他ノ本位ニテ示サレタル貨幣、銀行券、取引上ノ殘額債權支拂證書、小切手、及ヒ短期手形ヲ取得スルノ目的ヲ以テ、只上記ノ人及ヒ商館ニヨリ取得セラルル場合ニ於テノミ、之ヲ處分スルコトヲ得。

上記ノ人及ヒ商館トノ取引ハ問屋ニヨリ仲介セラルルヲ妨ケス。問屋自身ノ介入ハ之ヲ禁ス。最長二週間ノ期間ヲ有スル歐洲諸國宛手形、及ヒ最長六週間ノ期間ヲ有スル他ノ諸國宛ノ手形ハ、此ノ命令ニイフ短期手形ト認ム。引受ナキ一覽後定期拂手形ニアリテハ期間ハ呈示後ノ期間ニヨル。第二條 第一條第一項及ヒ第二項ニ基キテ指定セラレタル人及ヒ商館ハ官報ニ公告ス。此ノ指定ハ

取消スコトヲ得。取消ハ同様ノ方法ニテ公告ス。

第三條 帝國銀行又ハ宰相ニヨリ指定セラレタル前記ノ人及ヒ商館ノ請求アリシ時ハ、取得者、讓渡者、又ハ質入人(第一條第一項及第二項)ハ帝國銀行ニ取引ノ内容及ヒ目的ニツキ眞實ニ解答ヲ與ヘ、且證明ヲ提出スルノ義務アリ。此ノ義務ハ第一條第三項ノ場合ニハ委託者及ヒ問屋ニツキテ存ス。

第四條 第一條第一項及ヒ第二項ニ掲ケタル人及ヒ商館ノ賣買スル相場ハ、帝國銀行ノ同意ヲ以テ確定ス。

第五條 帝國宰相ハ此ノ命令ノ規定ノ例外ヲ許可スルコトヲ得。(一)  
(二)次ノ一九一六、一、二二、宰相告示(帝法公報五三)參照。

第六條 第一條ノ規定ニ反シテ取得、讓渡、質入、或ハ處分ヲ企ツルモノハ、他ノ刑罰法規ニヨリ更ニ重キ刑罰ヲ課セラレザル限リハ、處罰セラルヘキ行爲ヲナシタル價格ノ二倍額ノ限度ニ於テ罰金ニ處ス。罰金ト共ニ一年以下ノ禁錮ヲ科スルヲ得。獨逸國臣民ハ違法行爲アル時ハ、外國ニ於テ内國取引上之ヲ犯シタル時ト雖モ、訴追スルヲ得。

次ノ者ハ五萬麻克以下ノ罰金及ヒ一年以下ノ禁錮又ハソノ一ニヨリテ處斷セラル。

(一)第一條ニ掲ケタル有價物取得ノ目的ヲ以テ取引ノ内容及ヒ目的ニツキ不實ノ申立ヲナスモノ  
(二)第二條ノ規定ニ反スル行爲ヲ爲スモノ。



第七條 本令ハ千九百十六年一月二十八日ヨリ效力ヲ生ス。帝國宰相之カ失效時期ヲ定ム。

外國支拂資料商業ニ關スル告示

千九百十六年一月二十日外國支拂資料商業ニ關スル命令(帝法公報四九)第一條、及ヒ第二條ニ基キ以下ノ事項ヲ定ム。

同令第一條第一項及ヒ第二項ニ掲ケタル取引ハ、同令第一條第三項ノ規定ヲ除キ、次ノ場合ニ於テノミナスヲ得。

A 帝國銀行トノ取引

B 以下ノ人及ヒ商館トノ取引

(一)伯林ニ於テハ

ケヨトニツヒリツヒエ、ゼトハンドルング(普國々立銀行)

商工銀行

伯林商事會社

エス、プライヒェンター

商業手形割引銀行

デルブリュック、シックラー會社

獨逸銀行

手形割引會社理事局

ドレスデン銀行

ハーデイト有限責任會社

メンデルスゾーン會社

中獨信用銀行

獨逸國民銀行

(二)フランクフルト、アム、マインニ於テハ

獨逸有價證券、手形銀行

獨逸組合銀行

ヨット、ドライフス會社

エト、ラーデンブルヒ

リンコルン、メニト、オツペンハイマー

フアルツ銀行フランクフルト營業所



ラツアルト、スバイエルトエリツスセン  
 エル、ウント、エー、ウエルトハイムバー  
 エルンスト、ウエルトハイムバー會社  
 第一ニ指定セル商館ノフランクフルト營業所

(三) ハムブルヒニ於テハ  
 エル、ペーレンス父子商會  
 ハムブルヒ北獨銀行  
 ハムブルヒ組合銀行  
 エム、エム、ワールブルヒ會社  
 第一ニ指定セル商館ノハムブルヒ營業所

外國支拂資料商業ニ關スル告示 一九一六、一、二二、(帝法公報五三)

千九百十六年一月二十日外國支拂資料商業ニ關スル命令第五條(帝法公報四九)ニ基キ、別段ノ定メアルマテ次ノ例外ヲ許可ス。

第一節 兩替業務ヲ營業トスル凡テノ人及ヒ商館ニ於テ、以下ノ兩替ヲ爲スコトヲ得。

(一) 外國貨幣及ヒ銀行券ヲ引渡シテ獨逸貨幣及ヒ銀行券ヲ得ル事。  
 (二) 同一人ニヨリ同一曆日内ニ最高千麻克ノ額ノ獨逸貨幣及ヒ銀行券ヲ引渡シテ、外國貨幣及ヒ銀行券ヲ得ル事。

第二節 同令第一條第一項ハ獨逸統治ノ下ニアル白耳義、及ヒ露西亞國領域ニ宛テタル支拂證書、小切手、及ヒ短期手形、並ヒニ白耳義貨幣、及ヒ銀行券ニハ適用セス。  
 同令第一條第二項ハ、獨逸支拂資料取得ノ目的ヲ以テスル白耳義ニアル取引上ノ殘額債權ノ處分ニツキテハ適用セス。

第三節 郵便爲替取引、郵便小切手取引、郵便先拂取引、及ヒ取立郵便取引ハ同令ノ規定ヲ適用セス。

有價證券等ノ價格通知禁止ノ例外ニ關スル告示

一九一六、一、二二、(帝法公報五四)

千九百十五年二月二十五日有價證券等ノ價格通知ノ禁止ニ關スル告示(帝法公報一一)第一條第三項ニ基キ以下ノ事項ヲ定ム。

千九百十六年一月二十日外國支拂資料商業ニ關スル命令(帝法公報四九)第四條ニ從ヒ、外國貨幣、及ヒ銀行券、並ヒニ外國宛支拂證書、小切手、及ヒ短期手形ニ對シ確定セラルル相場ニ關スル廣告又



ハ通知ヲ爲スコトハ、別段ノ規定アルマテ之ヲ許ス。

有價證券届出ニ關スル告示 一九一六、八、二三、(帝法公報九五二)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定メタル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ノ發布スヘキ規定ニ從ヒ、次ノ事項ヲ届出ツヘシ。

(一)内國ニ住所ヲ有シ又ハ引續キ滞在スル自然人及ヒ内國ニ事務所ヲ有スル法人ニ屬スル在外有價證券。

(二)外國ニ居住スル債務者カ責任ヲ有シ或ハ外國ニ於ケル企業ニ干與スル旨ヲ證書ニ作製セラレタル在內國有價證券(外國株式會社ニ關與セル旨ノ證明ヲ含ム)。

第二條 帝國宰相ニヨリ届出受理ヲ委託セラレタル事務所ノ要求アリシトキハ、各人ハ届出事務所ノ定ムル期間内ニ、届出義務ノ要件ノ存否ニツキ説明ヲ爲シ、並ヒニ已ニ爲シタル説明或ハ届出ヲ詳細ナル解答ヲ以テ補完スル義務ヲ有ス。

第三條 届出受理又ハソノ事務ニ從事スルモノハ、届出ニヨリテ知ルニ至リタル事情ニ關シ、默秘ヲ守ルノ義務ヲ有ス。

第四條 帝國宰相ハ本令規定ノ例外ヲ許可スルヲ得。

第五條 次ニ掲ケタルモノハ千五百麻克以下ノ罰金或ハ三ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス。

(一)故意ニ第一條ニ從ヒ帝國宰相ノ發スル届出ニ關スル命令又ハ第二條ニ從ヒテ發スル要求ニ從ハス又ハ定メタル期間内ニ從ハサルモノ。

(二)届出ニ際シ又ハ第二條ニ從ヒテ爲スヘキ説明或ハ解答ノ際ニ故意ニ不充分又ハ不實ノ申立ヲナスモノ。

(三)第三條ノ規定ニ反シ默秘ノ義務ヲ守ラサルモノ。第三號ノ場合ニハ訴追ハ告訴ヲ待ツテ之ヲ爲ス。

第六條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

有價證券届出ニ關スル告示 一九一六、八、二三、(帝法公報九五三)

千九百十六年八月二十三日有價證券届出ニ關スル命令(帝法公報九五三)第一條ニ基キ以下ノ事項ヲ定ム。

第一節 命令第一條ニ掲ケタル次ノ事項ヲ届出ツヘシ。

(一)株式、鑛山株、假株券及ヒソノ他ノ有價證券ニシテ或ル企業ニ關與スル旨ヲ證書ニ作製セルモノ(外國株式會社ニ關與スル旨ノ證明ヲ含ム)。



(二)所持人宛ノ名義ヲ有シ或ハ裏書ニヨリ讓渡シ得ル債務證書又ハ讓渡シ得ル有價證券。  
以下ノモノハ届出ノ義務ナシ。更改證書(タロシ)利息及ヒ利益配當證書、銀行券及ヒ紙幣、手形及  
ヒ小切手。

尙ホ千九百十四年八月四日貸付金庫法(帝法公報三四〇)ニ基キ設立セラレタル貸付金庫ニ質入セル  
有價證券ハ届出ヲ要セス。

第二節 有價證券ニシテソノ商業經營ニ際シ内國商人ニ、或ハ内國貯金々庫或ハ信用機關ニ、封緘セ  
スシテ保管又ハ質物トシテ引渡サレタルモノハ、ソノ有價證券ヲ保管シ又ハ保管又ハ質入ノ目的ノ爲  
ニ外國ニ更ニ引渡セルモノ、及ヒソノ他ノ場合ニハ所有者、ソノ差支ヘアル時ハソノ代理人之カ届出  
ヲナスヘシ。

敵國臣民ニアラサル外國人ニ有價證券ノ屬スルコト確實ナル時ハ届出ハ爲スヲ要セス。

第三節 届出ハ附加シ置キタル届出形式ニ從ヒ、ソノ區域内ニ届出義務者カソノ住所ヲ有シ又ハ永  
寓シ或ハ事務所ヲ有スル帝國銀行本店、帝國銀行營業所或ハソノ出張所ニ、伯林ニテハ帝國銀行本店  
有價證券事務所ニ、之ヲ爲スヘシ。

第四節 千九百十六年九月三十日ノ状態ヲ以テ届出ノ標準トス。

第五節 届出ハ千九百十六年十月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ。届出義務者ノ申請ニヨリ届出事務所

ハ此ノ期間ヲ延長スルヲ得。

第六節 本告示ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

### 有價證券其他ノモノ、價格通知禁止例外ニ關スル告示

一九一六、八、二九、(帝法公報九九三)

千九百十五年二月二十五日有價證券ソノ他ノ價格通知ノ禁止ニ關スル告示(帝法公報一一一)第一條  
第三項ニ基キ次ノ事項ヲ定ム。

別段ノ規定ヲナス迄、銀行業ヲ營業トスル人及ヒ機關ハソノ顧客ニ宛テ、外國ニ於テ立テラレタル  
相場ニ基キ國內ニテ得ラルヘキ外國證券ノ賣却價格ニ關スル通知ヲナスコトハ之ヲ許ス。

### 有價證券届出ニ關スル告示 一九一六、一〇、二八、(帝法公報一二〇九)

千九百十六年八月二十三日有價證券届出ニ關スル命令(帝法公報九五二)第一條ニ基キ次ノ事項ヲ定  
ム。

届出ヲ爲スヘキ期間「一九一六、八、二三告示、(帝法公報九五三)第五節」ハ千九百十六年十一月十五  
日マテ延長ス。



此ノ告示ハ公布ノ日ヨリ施行ス。

### 相場差益ノ取得ヲ目的トスル外國宛郵便爲替事務ノ濫用

(一九一六、一二、四發行帝國郵便局報第八九號)

伯林、千九百十六年十一月三十日

近來多數ノ中立國ニ於テ獨逸貨幣ノ爲替相場ハ、之等ノ諸國宛郵便爲替ニ對スル伯林外國爲替相場ノ獨逸支拂相場ヨリ著シク昂騰セルモノアリ(獨逸ノ本位ニトリ不利益ナリ)。例ヘハ和蘭ニ於ケル獨逸貨幣ニ對スル相場ハ、百ぐるてんニツキ二百四十七麻克ナルニ、和蘭宛郵便爲替ノ獨逸支拂相場ハ百ぐるてんニツキ二百三十六麻克ナリ。相場差益ヲ得ンカタメ、現今屢々外國ニ於テ獨逸紙幣ハソノ國ノ支拂資料ヲ以テ購買セラレ、價格表記郵便ニヨリ獨逸ニ送付セラレ、獨逸ニ在ル受取人ヨリソノ到達地ノ本位ニテ支拂ハルル郵便爲替ニテソノ地ニ向ケ再ヒ拂込マル。此ノ郵便爲替事務ノ濫用ヲ防止スル爲メ、取引機關ハ外國ニ五百麻克ヲ普通又ハ電報郵便爲替ヲ以テ拂込ム者ヨリ、ソノ支拂ノ目的タル取引ノ内容及ヒ目的ヲ申立テシメ、及ヒ之ニツキ證明ヲ爲サシムルコトヲ要ス。之ヲ拒絕スルモノニハ郵便爲替ノ受理ヲ拒ムベシ。拒絕シタル時ハ常ニ上級郵便本局ニ通告スルコトヲ要ス。而シテ特別ノ事情存スル時ハ、上級郵便本局ハ帝國郵便局ニ通告セサル可カラス。

取引ノ内容及ヒ目的ノ證明トシテハ、荷送狀、税關ノ通告書等支拂義務ヲ證明スルニ足ル證書ノミ有效トス。疑アル場合ニハ、振出人ニ對シ商業會議所ノ證明ヲ提出スヘキ旨ヲ告クヘシ。證明ノ充分ナリヤ否ヤノ決定ヲ受理員ニ委ヌル能ハサル場合ニハ、局長之カ決定ヲ爲スヘク、或ハ適當ノ吏員ニ之ヲ委任スヘシ。郵便代理事務所ハ凡テノ場合ニ計算郵便機關ニ頼ルヘキモノトス。

充分ナリト認メラレタル證明ヲ、債務額ヲ超過シテ拂込ヲ爲スニ用フルヲ得サラシムル爲ニ、ソノ證書ヲ外見上毀損スルニアラサレハ除クコトヲ得サル場所ニ日附消印ヲ押捺スヘシ。證書ニ載セタル債務額カ全部拂込マレサル時ハ、日附消印ノ傍ニ概略次ノ形式ニヨリソノ旨ヲ記載スヘシ。

二郵便爲替八〇〇ぐるてん——一八七二麻克

ミユラー(受理吏員氏名)

此ノ如キ場合ニハ證書ハ債務殘額拂込ノ際ニ證明トシテ用フルヲ得。上ノ規定ニ從ツテ受理セラレタル五百麻克以上ノ郵便爲替ノ裏面ニハ「裏書スヘキ餘白」ニ「検査済」ノ記載ヲ附スヘシ。

### 外國有價證券印紙義務ニ關スル告示

一九一六、一二、一四(帝法公報一三三七)

聯邦議會ハソノ經濟應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ次ノ命令ヲ發セリ。



第一條 帝國印紙法稅率表番號一〇及ヒ二、Bニ掲ケタル税金納付ノ義務ハ、在外國外國有價證券ニシテ內國所有者ニ屬シ、千九百十七年三月三十一日マテニ內國ニ輸入セラルルモノニ對シテハ、ソノ有價證券ヲ內國ニテ讓渡、質入或ハ生存者間ニテ他ノ取引ノ目的物トナシタル時ニ初メテ發生ス。有價證券カ專ラ保管又ハ管理ノ爲ニ引渡サルル時ハ此ノ告示ニ云フ生存者間ノ取引ト認メス。

第一項ノ規定ニヨル義務ノ猶豫ハ次ノ要件ノ充サレシ時ノミ之ヲ惠與ス。

A 外國有價證券ハソノ所有者ヨリ外國有價證券ニ捺印スルノ權限アル稅務官廳ニ呈示シテ、豫メ届出ツヘシ

B 此ノ豫メ届出ヲ爲スニハ二通ノ書面ヲ以テ爲スヘシ。

記載スヘキ事項ハ次ノ如シ、種類(名稱)、發行者、枚數、記號(順番、文字、番號)有價證券發行ノ場所及ヒ日付、外國ノ本位、場合ニヨリテハ獨逸ノ本位ニヨル各證券ノ額面額、及ヒ之ニツキテ爲サレタル拂込額、届出日付、届出人ノ住所及ヒ署名、

(一)之ニ付キテハ普國大藏大臣ノ一般布告參照(印紙義務ハ外國有價證券ニツキテハ之ヲ內國ニ輸入シ生存者間ニ於テ之ヲ以テ初メテノ取引ヲ爲シタルトキニ發生ス。在外外國證券ニシテ內國債權者ニ已ニ質入セララルルモノハ此ノモノニ質權設定ノママ其地ヨリ命令ニ基キ無稅ニテ內國ニ輸入セラルルコトヲ得)(關稅及ヒ間接稅普國行政廳中央公報一九一七、二、二〇)

第二條 第一條ニ掲ケタル規定ハ、內國委託者ノ計算ヲ以テ內國問屋カ外國ニテ締結セル取引ニヨリ購買セル外國有價證券ニシテ依然保管セラルルモノノ所有者ニモ適用ス。此ノ場合ニハ問屋モ亦届

出(第一條第二項)ノ義務ヲ共ニ負擔ス。問屋ハソノ委託者ノ爲ニ届出ヲ爲スヲ妨ケス。此ノ場合ニハ問屋カ、ソノ届出ヲ問屋トシテ且ツ委託者ノ委任ヲ受ケテ爲ス旨ヲ、届出ニ於テ申立ツル時ハ、委託者ハ届出ノ義務ヲ免ル。

第三條 稅務署ハ届出ヲソノ真正及ヒ完全ニツキ、呈示セララルル有價證券ト引合セテ審査シ、必要アレハ届出ノ補完及ヒ更正ヲ爲サシム。届出ハ控帳(一九一三年七月三日、帝國印紙法施行規定雛形)ノ特別ノ部門中ニ登錄シ、登錄番號ヲ二通ノ届書ニ記載スヘシ。届書ノ一通ニハ已ニ豫メ届出アリシ旨ノ證明ヲ附シテ證券ト共ニ届出人ニ返還スヘシ。届出人ハ證券ノ返還領收ノ旨ヲ他ノ一通ノ届書ニ證スヘシ。

第四條 豫メ届出ヲ爲シタル有價證券ヲ讓渡、質入、或ハ生存者間ノ他ノ取引ノ目的物ト爲スモノハ、之ニ先チ帝國印紙法第十一條ニ從ヒ、有價證券ニツキ課稅ノ届出ヲ爲シ且ツ税金ヲ納付スヘシ。之ニ違反スル行爲ハ帝國印紙法第十一條ノ規定ニ從フ。

税金ヲ納付シタル時、又ハ納稅義務發生前ニ外國ニ再ヒ輸送シタル時ハ、租稅請求權ハ消滅ス。租稅請求權ノ消滅ハ稅務官廳控帳ニヨリ之ヲ監督ス。

外國債權届出ニ關スル告示 一九一六、一二、一六(帝法公報一四〇〇)



聯邦議會ハソノ經濟的應急處分等ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 外國ニアル債務者ニ對スル債權ハ、帝國宰相ノ發スル規定ニ從ヒ届出ヲナスコトヲ要ス。

第二條 各聯邦中央官廳ハ届出ヲ爲スヘキ官廳ヲ指定ス。

此ノ官廳又ハ帝國宰相ノ要求アル時ハ、何人モ確定セラルル期間内ニ、自己ニ届出義務ノ要件ノ存スルヤ否ヤ、及ヒ已ニ爲シタル表示或ハ届出ヲ詳細ナル解答ニヨリ補完スル義務ヲ有ス。

第三條 届出ノ受理又ハ作成ノ事務ニ從事スルモノハ、届出ニヨリテソノ知ルニ至リシ事情ニツキ黙秘ヲ守ル義務ヲ有ス。

第四條 帝國宰相ハ本令規定ノ例外ヲ許スコトヲ得。

第五條 次ニ掲クル者ハ千五百麻克以下ノ罰金又ハ三ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス。

(一)故意ニ第一條ニ從ツテ發セラルル帝國宰相ノ届出ニ關スル命令又ハ第二條第二項ニ從ツテ發セラルル要求ニ從ハス、又ハ規定ノ期間内ニ從ハサルモノ。

(二)届出又ハ第二條第二項ニ從ツテ爲サルル説明或ハ解答ノ際ニ、知リテ不完全又ハ不實ノ申立ヲ爲スモノ。

(三)第三條ノ規定ニ反シ黙秘ノ義務ヲ守ラサルモノ。

第三號ノ場合ニハ訴追ハ告訴ヲ待ツテ之ヲ爲ス。

第六條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

告示 (一九一七、一、一二、(帝國官報))

戒嚴ニ關スル法律第九條Bニ基キ、本官ハ柏林市域、及ヒブランデンブルグ州域ニ對シ、以下ノ事項ヲ定ム。

(一) 帝國ノ麻克ヲ以テ示サレタル貨幣、銀行券、帝國々庫證券及ヒ貸付金庫證券、指圖證券、小切手及ヒ手形ヲ、帝國銀行理事局ノ書面ニヨル許可ナクシテ、外國ニ送付シ又ハ携帯スルコトヲ禁ス。

(二) 內國ニ居住スルモノハ、外國ニ居住スルモノノ爲ニ、只帝國銀行理事局(三)ノ書面ニヨル許可ヲ以テノミ、次ノ事項ヲ爲スコトヲ得。

A 麻克ニヨル帳簿計算上ノ債權ヲ內國人ニ對シ發生セシムルコト。

B 內國ニ存スルト外國ニ存スルトヲ問ハス麻克ニヨル帳簿計算上ノ債權ヲ處分スルコト。

(三) (一)及ヒ(二)ノ規定ハ千麻克以下ノ額ニハ適用ナシ。

(四) (一)及ヒ(二)ノ規定ニ反スル行爲ハ一年以下ノ禁錮、モシ輕減スヘキ事情存スレハ、拘留又



ハ千五百麻克以下ノ罰金ニヨリ處罰セラル。

司令官

陸軍大將

フォン、ケツセル

(三)帝國銀行理事局ハ此ノ告示ニヨリ與ヘラレタル權限ヲ行使シテ麻克ニヨル帳簿計算上ノ債權ノ設定及ヒ處分ノ許可ヲ(二)ノA、B參照「外國爲營業ヲ許サレタル人及ヒ商館ニ與ヘタリ」(獨逸貿易)一九一七、一、二〇。

輸入ノ規律ニ關スル告示 一九一七、一、二六(帝法公報四一)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二

七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 獨逸帝國々境ヲ超エテ各貨物ヲ輸入スルハ、只管轄官廳ノ許可アル場合ニノミ之ヲ爲スコトヲ得。

第二條 第一條ノ規定ニ反スル行爲ニハ、戰時禁制品ニ關スル同盟關稅法ノ處罰規定ヲ適用ス。

帝國宰相ハ同盟關稅法ニヨリテ沒取セラルル貨物ハ一定ノ官廳ニ買取ノ爲メ提供セラルヘキ旨ヲ命スルコトヲ得。

第三條 同盟關稅法第三百三十九條ノ場合ニハ、其貨物ヲ送還スヘキカ又ハ補償ヲ以テ引取ルヘキカハ稅關、關稅ナキ時ハ聯邦中央官廳ノ指定スル官廳之ヲ定ム、送還ハソノ貨物ノ輸出又ハ回運禁止存スル時ト雖モ之ヲ許ス。

第四條 帝國宰相本令ノ施行規定ヲ發ス。又第一條規定ノ例外ヲ許可スルノ權限ヲ付與セラル。

第五條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。帝國宰相之カ失効期日ヲ定ム。

輸入ノ規律ニ關スル千九百十七年一月十六日發布ノ命令(帝法公報四一)ノ施行ニ關スル告示

一九一七、一、二六(帝法公報四二)

千九百十七年一月十六日輸入規則ニ關スル告示(帝法公報四一)第四條ニ基キ以下ノ事項ヲ定ム。

第一條 獨逸國境ヲ超ユル貨物輸入ノ許可ハ、在柏林帝國輸出入許可委員之ヲ與フ。

第二條 稅關、關稅ナキ場合ニハ聯邦中央官廳ノ指定スル官廳ハ、帝國輸出入許可委員ノ許可ナクシテ以下ノ事項ヲ許可スルノ權限ヲ付與セラル。

(一) 千九百二十年十二月二十五日關稅々率法第六條第一號乃至第十號、第十二號及ヒ第十四號ニ基キ關稅ヲ課セラレサル物件ニシテ、寶石又ハ純眞珠並ヒニ寶石又ハ純眞珠ヲ箱入シ或ハソノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ結合セル二百麻克以上ノ價格ヲ有スルモノニ關セサル場合ニ、之等ヲ輸入スル事、裝飾トシテ之等物件カ身體ニ付シテ携帶セラルル時ト雖輸入セラルルモノト看做ス。帝國輸出入許可委員ハ更ニ制限ヲ定ムルコトヲ得。

(二) 隣境小貿易ニ於ケル隣境住民ノ爲ニスル物件ノ輸入。



- (三) 寶石又ハ純眞珠或ハ之等ヲ箆入シ又ハソノ他ノ方法ニテ結合セル物件ニ關セサル限り、並ヒニ他ニ指定セラレタル物件ニシテ帝國輸出入許可委員ヨリ例外トシテ定メラレサル限り、現ニ行ハレツツアル加工輸入並ヒニ修繕及ヒ送戻輸入ノ際ニ物件ヲ輸入スルコト。
  - (四) 直接ニ俘虜收容所ニ引渡サルル限り、戦闘員及ヒ非戦闘員俘虜ニ宛テタル郵便物ノ輸入。
  - (五) 帝國輸出入許可委員カ之ニ異ナル規定ヲ爲ササル限り、獨逸軍隊、有志看護ニ従事スル騎士團、又ハ赤十字社ニ對シ發送セラルル慈善慰問品ヲ輸入スル事。
  - (六) 千八百九十九年一月十八日鐵道軍隊輸送規則(帝法公報一五)第五十條ニ云フ捕獲物、軍需品、軍事計理部ノ私有物ヲ輸入スルコト。
  - (七) 外國政府外交代表者ニ宛テタル事務必要品、及ヒ關稅貨物發送心得第二部第九號及ヒ第二十二號ニ云フ使節所有品ヲ輸入スルコト。
  - (八) 獨逸帝國内ニ於テ執務ヲ許サレタル外國政府ノ任務領事ニ宛テタル日用品及ヒ衣服ヲ輸入スル事。
  - (九) 領事特別取扱證書ニヨル郵便小包ヲ輸入スルコト。
  - (十) 船舶自用ニ充ツル船舶必要品ヲ輸入スルコト。
- 第三條 同盟關稅法第三百三十九條ノ場合ニハ、稅關ハ輸入發送準備ヲ爲シタル貨物カ陸軍又ハ海軍

計理、又ハ戰時財政ニ關スル官廳ノ何レカニ適スルヤ否ヤヲ審査スヘシ。若シソノ貨物カコレニ適合スル時ハ、當該計理部又ハ取得官廳ノ取得ニ提供スヘシ。取得官廳ニシテソノ貨物取得ヲ諾スル時ハ、稅關ハソノ貨物保管者ニソノ貨物カ取得官廳ニ引渡サルル旨表示スヘシ。此ノ表示ト共ニ所有權ハ取得スル官廳ニ移ル。官廳ハ引取價格ヲ確定シ、貨物保管者ニ代價ヲ支拂ヒ之ヲ處分ス。

貨物ニシテ指定セラレタル官廳ニ適合セス又ハ何レノ官廳モ取得ヲ諾セサル時ハ、稅關ハ貨物ノ送還ヲ命ス。

疑アレハ稅關ハ帝國輸出入許可委員ノ決定ヲ求ム。委員ハ如何ナル種類ノ貨物カ取得ニ提供セラレヘキカ、又送還セラレヘキカニツキ一般的规定ヲ發スルコトヲ得。

同盟關稅法百三十七條第二項ノ場合ニハ第三百三十九條ノ場合ニ於ケルト同様ニ處置スヘシ。

關稅無キ場合ニハ聯邦中央官廳ノ指定スル官廳ニ第一項乃至第四項ニ掲ケタル稅關代ル。

第四條 本告示ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。遅クモ命令施行ノ翌日ニ外國ニ於テ發送手續ヲ終エタル郵便物ハ、ソノ輸入カ從來許サレタル貨物ニ關スル時ハ許可ナクシテ之ヲ輸入スルヲ許ス。

爲替相場差益ヲ得ルヲ目的トスル行爲防止ニ關スル郵便管理局ノ追加命令



二三ノ中立國ニ於テハ獨逸宛麻克支拂ノ爲替ニ對スル相場ハ之等ノ國ノ銀行券ニ對スル獨逸ニ於ケル相場ヨリモ高シ(獨逸通貨ニトリ不利益ナリ)。此ノ關係ヲ利用シテ外國銀行券ハ屢々價格表記郵便ヲ以テ外國ニ送付セラレ、受信國ニアル此ノ受取人ハ此ノ外國銀行券ヲ獨逸ニアル發送人ニ宛テタル獨逸通貨ニテ示サルル銀行爲替購買ノ爲ニ使用シタリ。銀行券ノ購買價格ト銀行爲替ノ(更ニ高キ)價格トノ差異ハ、此ノ取引ヲ爲ス當事者ニ相場差益トシテ歸屬セリ。此ノ點ニ鑑ミ帝國郵便局ハ、各郵便局ノ斯カル表記郵便物ノ受理ヲ拒絶スヘキ旨ヲ命セリ。發信者ニハ外國銀行券ノ送付ヲ帝國銀行又ハ外國支拂資料商業ヲ許可セラレタル銀行ニ依頼スヘキ旨ヲ告クヘシ。郵便局ハ又郵送物カ差障ナキ取引等ノ辨濟ニ充テラルルモノナル事ヲ、呈示セラレタル證明ニヨリ確ムルコト能ハサル時モ同様ニ處置スヘシ。

(北獨普通新聞、千九百十七年一月二十四日第二十三號第一版)

對外支拂取引ニ關スル告示(外國爲替規則)

一九一七、二、八、(帝法公報一〇五)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 外國通貨ニテ示サルル支拂資料及ヒ債權ハ、帝國宰相ノ指定スル人及ヒ商館(外國爲替營

業所)ニ於テノミ購買シ、或ハ他ノ通貨ニテ示サルル支拂資料又ハ債權ト交換スルコトヲ許サル。上記ノ種類ノ支拂資料又ハ外國爲替營業所ニ於テノミ消費貸借ニヨリテ取得スルヲ許サル。

外國通貨ニテ示サルル支拂資料、債權、及ヒ信用ハ帝國銀行ノ許可(無キ時ハ、外國爲替營業所ノ爲ニノミ處分スルコトヲ得。第三者ニ支拂ノ爲ニ指圖セラルル時モ亦處分アリタルモノト認ム。取立ハ帝國銀行ノ許可ナキ時ハ唯外國爲替營業所ニヨリテノミ之ヲ爲スコトヲ得。外國爲替營業所ニ於テ取得セラレタル支拂資料及ヒ債權並ヒニ外國爲替營業ニヨリテ調達セラレタル信用ハ、取得又ハ調達ノ行ハルル目的ノ爲ニハ、前記ノ制限ナクシテ使用スルヲ得。

(帝國銀行理事局ノ之ニ關スル他ノ規定參照、四〇頁)

外國爲替營業所トノ取引ハ又問屋ニヨリテ仲介セラルルコトヲ得。問屋自身ノ介入ハ之ヲ禁ス。

第二條 此ノ命令ニイフ支拂資料トハ貨幣、紙幣、銀行券及ヒ之ニ類スルモノノ外、支拂證書、指圖書、小切手、及ヒ手形ヲモ稱ス。此ノ命令ニ云フ債權トハ、支拂資料ニ屬シ、又ハ取引ノ觀念上有價證券ト認メラルル有價證券<sup>ウエルトパシール</sup>トシテ、又ハ利息及ヒ利益配當證券トシテ、斯カル有價證券ニ證書上作成セラレタルモノヲ除ク他ノ金錢債權ヲ稱ス。第一條ニ云フ信用トハ一定ノ金額ニシテ、ソノ金額ニ至ルマテ人又ハ商館ガ、他ノ人ガ人又ハ商館ニ對シテ金錢債權ヲ有スルト否トヲ問ハス、ソノ處分ニ應スルコトヲ諾シ又ハ應シタルモノヲ云フ。



丁抹、諾威、瑞典、其ノ他ラテん貨幣同盟ノ諸國ハ相互ニ通貨ノ異ル國ト看做ス。

第三條 帝國ノ本位ニテ示サルル支拂資料ハ、帝國銀行ノ許可ヲ以テノミ、外國ニ送付シ又ハ搬出スルコトヲ許ス。

帝國ノ本位又ハ外國ノ本位ニテ示サルル債務ハ、外國ニ居住スル人又ハ商館ニ對シ、貨物又ハ有價證券、各種ノ高價品、美術品、奢侈品、土地及ヒ船舶ノ取得ノ目的ニハ、只帝國銀行ノ許可ヲ得ル時ノミ負擔スルヲ許ス。有價證券殊ニ利息證券又ハ利益配當證券トノ交換ノ方法ニヨリ、前記種類ノモノハ、外國ニ居住スル人又ハ商館ニ於テ、只帝國銀行ノ許可ヲ得ル時ノミ、之ヲ取得スルヲ許ス。

外國ニ居住スル人又ハ商館ハ、帝國ノ本位ニテ示サルル信用ヲ、帝國銀行ノ許可ヲ得ル時ノミ讓受クルコトヲ得。本令ノ施行前ニ已ニ讓渡セラレタル信用ノ期間猶豫ハ許可ヲ要セス。

外國ニ居住スル人及ヒ商館ニ對スル帝國ノ本位ニヨル債權ハ、帝國銀行ノ許可ヲ得ル時ノミ處分スルコトヲ許ス。債務者カ第三者ニ對シテ支拂フヘキ旨ヲ指圖セラルル時モ亦處分スルモノト看做ス。取立ニハ帝國銀行ノ許可ヲ要セス。

第二項乃至第四項ニ云フ外國ニ居住スルモノトハ、外國ニ住所事務所ヲ有シ又ハ永寓スルモノヲ云フ。商館ニアリテハ、各個ノ場合ニ取引ノ關スル本店又ハ支店ガ、外國ニ存スルヤ否ヤニヨリテ決ス。

第四條 外國ノ本位ニテ示サルル支拂資料、帝國又ハ外國ノ本位ニヨル同盟國並ヒニ中立國ニ對ス

ル債權、及ヒ外國ニ居住スル人又ハ商館ニ讓渡セラレタル帝國ノ本位ニ於ケル信用ハ、帝國宰相ノ發スル規定ニ從ヒ届出ツルコトヲ要ス。

帝國宰相カ届出受理ヲ委任セル官廳ヨリノ請求アレハ、何人モ届出官廳ノ定ムル期間内ニ届出義務ノ條件ノ存否ニツキ説明ヲ爲シ、且ソノ爲シタル説明ヲ詳細ナル解答ニヨリ補充スルノ義務ヲ有ス。届出ノ受理及ヒ作成ノ事務ニ從事スルモノハ、届出アリシニヨリテ知ルニ至リシ事情ニツキ、默秘ヲ守ルノ義務ヲ有ス。

第五條 帝國宰相ハ帝國銀行ノ要求アレハ、第一條ニ掲ケタル支拂資料及ヒ債權ヲ當日ノ麻克相場ニ於ケル價格ノ賠償ヲ以テ、同銀行ニ讓渡スヘキ旨ヲ規定スルヲ得。此ノ規定ハ帝國法律公報上ニ公告ス。

(一五〇頁參照。

帝國宰相ハ施行規定ヲ發シ、特ニ讓渡カ任意ニ行ハレサル時ハ、如何ニシテ之ヲ爲スヘキカヲ定ムルコトヲ得。

帝國宰相ハ違反行爲ヲ千五百麻克以下ノ罰金又ハ三ヶ月以下ノ禁錮ヲ以テ處罰スル旨ヲ定ムルコトヲ得。

第六條 第一條ニ基キテ定メラルル外國爲替營業所ノ指定ハ帝國官報ニ公告ス。ソノ指定ハ取消ス



コトヲ得、取消ハ同様ノ方法ニヨリ公告ス。

追ツテ規定アルマテ千九百十六年一月二十二日帝國宰相告示(帝國官報十八號、千九百十六年一月二十二日)ヲ準則トス。

第七條 外國爲替營業所ニテ賣買スル相場ハ帝國銀行ノ許可ヲ以テ之ヲ定ム。

第八條 支拂資料又ハ債權ヲ取得シ、又ハ支拂資料、債權、及ヒ信用ヲ處分シタルモノハ(第一條第一項及ヒ第二項)、帝國銀行又ハ外國爲替營業所ノ要求アル時ハ、帝國銀行ニツノ取引ノ内容及ヒ目的ニツキ眞實ニ解答ヲ與ヘ、及ヒ證明ヲ提出スルノ義務ヲ有ス。此ノ義務ハ第一條第三項ノ各場合ニ於テハ委託者及ヒ問屋ニツキテ存ス。

同様ニ帝國銀行ノ要求アル時ハ、第三條ニ掲ケタル行爲ヲ爲シタルモノハ、解答ヲ與ヘ證明ヲ提出スル義務ヲ有ス。

第九條 帝國宰相ハ此ノ命令ノ規定ノ例外ニテ許可ヲ得。

(三) 後掲帝國宰相告示参照。

第十條 次ニ掲クルモノハ他ノ刑罰法規ニヨリ更ニ重キ刑罰ヲ科セラレサル限り、百麻克以上五萬麻克以下ノ罰金及ヒ一年以下ノ禁錮又ハソノ一ニ處ス。

(一) 第一條又ハ第三條ノ規定ニ反スル行爲ヲ企ツルモノ。

(二) 外國爲替營業所ニ於テ支拂資料又ハ債權ヲ得ル爲メ、又ハ第一條及ヒ第三條ニ從ヒテ必要ナル帝國銀行ノ許可ヲ得ル爲メ、取引ノ内容及ヒ目的ニツキ不實ノ申立ヲ爲スモノ。  
此ノ刑罰ト共ニ處罰セララル行爲ニ關聯スル財産價格ハ、判決ニ於テ聯邦國ニ沒收スル旨ヲ宣告スルコトヲ得。

獨逸國臣民ハ違反ノ行爲アリシ時ハ、外國ニ於テ内國取引上犯シタル時ト雖モ訴追セララル。

第十一條 次ニ掲クルモノハ千五百麻克以下ノ罰金又ハ三ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス。

(一) 第四條第一項ニヨリテ發セララル届出ニ關スル帝國宰相ノ命令又ハ第四條第二項ニ從ヒ發セララル要求ニ故意ニ從ハス、又ハ規定セラレタル期間内ニ從ハサルモノ。

(二) 届出ノ際ニ又ハ第四條第二項ニ從ヒテ爲サルル説明又ハ解答ノ際ニ、知リテ不充分又ハ不實ノ申立ヲ爲スモノ。

(三) 第八條ノ規定ニ違反スル行爲ヲ爲スモノ。

(四) 第四條第三項ノ規定ニ反シ默秘ヲ守ラサルモノ。  
第四號ノ場合ニハ告訴ヲ待チテ訴追ス。

第十二條 本令ハ千九百十七年二月九日ヨリ效力ヲ有シ、千九百十六年一月二十日命令(帝法公報四九)ニ代ルモノトス。



帝國宰相之カ失敗ノ期日ヲ定ム。

對外支拂ニ關スル告示 一九一七、二、八、(帝法公報一〇九)

千九百十七年二月八日對外支拂ニ關スル命令(帝法公報一〇五)第九條ニ基キ以下ノ事項ヲ定ム。

第一節

營業トシテ金錢兩替業務ヲ營ム凡テノ人及ヒ商館ニ於テ

(一) 外國貨幣、紙幣、銀行券及ヒ之ニ類スルモノヲ以テ獨逸貨幣、帝國々庫證券、銀行券、及ヒ貸付金庫證券ヲ

(二) 獨逸貨幣、帝國々庫證券、銀行券、及ヒ貸付金庫證券ヲ以テ外國貨幣、紙幣、銀行券及ヒ之ニ類スルモノヲ

引換ヘニテ交換スルコトヲ許ス。同一人又ハ商館ノ計算ニ於テ、一人又ハ數人ノ兩替人ノ下ニ於テ、同一曆日內ニ爲サルル金錢兩替金額ハ千麻克ヲ超ユルコトヲ許サス。

第一條第二號ニ基キ取得セラレタル外國支拂資料ハ、外國ニテ同一曆月內ニ千麻克ノ金額マテハ之ヲ處分スルコトヲ得。

金錢兩替者間ノ取引ニハ第一項ノ適用ナシ。

第二節

帝國銀行ノ許可ナクシテ、同一曆日內ニ最高總額千麻克同一曆月內ニ總額三千麻克ノ額ヲ超ヘサル範圍內ニ於テ、

(一) 獨逸貨幣、帝國々庫證券、及貸付金庫證券ヲ外國ニ持參シ、又ハ持參セシムルコトヲ許ス。

(二) 外國ニ居住スル同一人又ハ商館ノ爲ニ、帝國通貨ニテ示サルル貨幣ヲ送付シ、又ハ送付セシムルコトヲ許ス。

(三) 外國ニ居住スル同一人又ハ商館ニ對シ、貨物取得ノ目的ヲ以テ帝國又ハ外國ノ本位ニヨル債務ヲ負擔シ、或ハ斯カル人又ハ商館ニ於テ貨物ヲ利息又ハ利益配當證券ト交換ニヨリ取得スルコトヲ許ス。

(四) 外國ニ居住スル同一人又ハ商館ニ對スル債權ヲ處分シ、特ニ之ヲ取立ツルコトガ、命令第三條第四項ニテ已ニ許サレザルモノヲ取立ツルコトヲ許ス。

第三節

本告示ニ云フ外國ノ本位ニテ示サルル額ノ價格ノ調査ハ、手形印紙法(一九〇九年帝法公報四〇二)施行規定第二條ニ從ヒテ行ハル。

第四節



帝國官廳及ヒ直接聯邦官廳ハ本令第一條第二項及ヒ第三條第一項ニ規定スル帝國銀行ノ許可ヲ要セス。

第五節

本令第一條第二項、及ヒ第三條第一項、第二項、第四項ノ規定ハ處分、送付、又ハ攜帶輸出、又ハ債務負擔カ專ラ一航海期間ニ對スル船舶自用ノ爲メニ、日用品、燃料、又ハ營業材料ノ取得、及ヒ船舶必要修繕ノ支拂ヲ目的トスル限リハ適用ナシ。

第六節

本令第三條第二項ノ規定ハ獨逸帝國ノ債務證書、公債簿記入債務、及ヒ帝國軍事公債ノ大藏證券ニハ適用ナシ。

第七節

次ノ事項ハ無制限ニ之ヲ許ス。

- (一) 白耳義貨幣、銀行券、並ヒニ白耳義ノ本位ニテ示サルル白耳義宛ノ支拂證書、指圖證券、小切手及ヒ手形、並ヒニ白耳義ニ居住スル人又ハ商館ニ對スル白耳義ノ本位ニヨル債權ヲ獨逸ノ本位ニテ示サルル支拂資料又ハ債權ヲ以テ購入又ハ交換スルコト。
- (二) 白耳義貨幣及ヒ銀行券並ヒニ白耳義ノ本位ニヨル白耳義宛ノ支拂證書、指圖證券、小切手及ヒ

手形、並ヒニ白耳義ノ本位ニヨル白耳義ニ居住スル人又ハ商館ニ對スル債權及ヒ白耳義ノ本位ニヨル信用ヲ、前記ノ人又ハ商館ニ於テ獨逸ノ本位ニテ示サルル支拂資料又ハ債權取得ノ目的ニテ、又ハ内國、白耳義、或ハ歷山堡<sup>ルクセンブルヒ</sup>ニ居住スル人又ハ商館ノ爲ニ處分スルコト。

白耳義及ヒ歷山堡ニ對シテハ本令第三條第一項及ヒ第三項ハ適用セス。第二項ハ貨物ノ取得ニ關スル時ハ適用セス。

白耳義又ハ歷山堡ニ居住スル人又ハ商館ニ對スル帝國通貨ニヨル債權ハ、内國、白耳義又ハ歷山堡ニ居住スル人又ハ商館ノ爲ニ帝國銀行ノ許可ナクシテ處分スルコトヲ許ス。

第一項乃至第三項ニ云フ白耳義トハ獨逸軍ノ占領セル白耳義國領域ヲ意味ス。

第八節

郵便爲替、郵便小切手(代金引換郵便)、及ヒ取立委任郵便取引ニハ本令ノ規定ヲ適用セス。

第九節

本告示ハ千九百十七年二月九日ヨリ効力ヲ生ス。同時ニ千九百十六年一月二十二日外國支拂資料商業ニ關スル告示(帝法公報五三)ハ効力ヲ失フ。

帝國銀行支店ニ許可權限委任ノ件



（一九一七年二月八日命令（外國爲替規則）第一條附加。以下ノ抜萃ハ千九百十七年三月五日「戦争ニヨリ惹起サレタル經濟的緊急處分ニ關スル覺書」追加第十（一四八—一四九頁）ヨリ採リ（帝國議會議事録六五〇號）。

規定ニヨル帝國銀行ノ許可ヲ受クルニ取引上重大ナル障碍遲滞ノ生スルヲ豫防センカ爲メ、帝國銀行理事局ハ帝國銀行ニ附與セラレタル權限ヲ、許ス範圍ニ於テソノ凡テノ支店ニ委讓スル事ヲ決議セリ。此ノ點ニ關シ——將來ニ至リテ支店ノ權限ノ擴張アル事ヲ留保シ——先ツ以下ノ事項ヲ定メタリ。

（一）外國通貨ニテ示サルル（第一條第二項第一段）支拂資料債權及ヒ信用處分ノ許可ハ、外國爲替發行カ已ニ發布セラレタル規定ニヨリテ許可セラルル場合ニハ、支店ヨリ之ヲ與フルコトヲ許ス。

處分カ貨物、有價證券、高價品、美術品、及ヒ奢侈品ノ購買ヨリ生シ、新令（千九百十七年二月九日）施行後ニ負擔セル債務ヲ辨濟スル爲メニ爲サルル場合ニハ、帝國銀行理事局外國課ノ許可ノ表示ガ第三條第二項ニ從ヒ申請人ヨリ提出サルル時ハ、許可ハ支店ニヨリ與フルヲ得。

（二）外國ノ本位ニテ示サルル債權、指圖證券、小切手、及ヒ手形ノ取立（第一條第二項第二段參照）ハ支店ニヨリ許可スルコトヲ得。取立金額ハ外國爲替規則ノ規定ニ反シテ使用スルヲ得サルハ言ヲ俟タス。

（三）支店ハ次ノ事項ヲ爲スコトヲ得。

A、外國ニ居住スル同一人又ハ商館ノ爲ニスル同一曆日内ニ最高總額五千麻克、同一曆月内ニ

總額一萬五千麻克ヲ超エルサ額ノ送付又ハ携帶輸出ニ關スル時ハ、商館等ニ對スル帝國銀行銀行券、帝國々庫證券、及ヒ貸付金庫證券ノ送付又ハ携出ノ許可ヲ與フルコト。

B、外國ニ於テ支拂ハルル帝國ノ本位ニテ示サルル指圖證券、小切手、及ヒ手形取立ノ爲メ送付又ハ携出スルノ許可ヲ與フルコト。

C、内國又ハ外國ニテ支拂ハルヘキ帝國ノ本位ニテ示サルル指圖證券、小切手、及ヒ手形ヲ已ニ發セラレタル規定ニ從ヒテ外國爲替發行カ許可セラルル時、又ハ外國ニ事務所ヲ有スル商館等カ獨逸國內ニテ購入セル麻克割引手形ニ關スル時ハ、取立以外ノ目的ノ爲ニ送付又ハ携出スルノ許可ヲ與フルコト。

許可ノ表示ニシテ銀行營業所ニテ與フルコトヲ許サレサルモノハ、帝國銀行理事局外國課ニ留保セラル。特ニ第三條第二項ニ掲ケタル債務負擔ノ許可ニツキ此ノ適用アルモノトス。

許可ノ申請ハ書面ヲ以テシ、二通ヲ申請人ヨリ差出スヘシ。書面ニハ決定ニ必要ナル凡テノ申立ヲ記載スルヲ要ス。許可ノ記載ヲ附シテ返還セララルル申請書ハ、申請人ヨリ郵便受理局、郵便監督局等ニ送付物ニ付キ異議ヲ述ヘラレサランカ爲メニハ、送付物ト共ニ提出呈示スルヲ要ス。

### 對外支拂取引ノ制限

（一九一七、二、二〇、發行帝國郵便局々報（一九一七）第十二號



伯林、一九一七年二月十六日

(一) 外國通貨ヲ以テ示サルル支拂資料ト、帝國ノ本位ヲ以テ示サルル支拂資料トハ、同一ノ有價物書狀又ハ有價物小包ヲ以テ外國ニ送付スルコトヲ許サス。

(二) 此ノ指令ニ云フ支拂資料トハ貨幣、紙幣、銀行券、及ヒ之ニ類スルモノノ外、指圖證券、小切手、及ヒ手形ヲ稱ス。

(三) 相場差益ヲ得ントスル行爲ヲ防止スル爲メ、五百麻克ヲ超ユル總額アル外國通貨ニヨル支拂資料ヲ封入セル外國宛價格表示附書狀及ヒ小包ハ、只ソノ外國爲替營業所ニテ(Cヲ見ヨ)取得セラルル旨ノ證明アリ、又ハソノ送付ニツキテノ帝國銀行ノ表示カ提出セラルル時ニノミ、受理スヘキモノトス。總額決定ノ際ニハ計算ハ次ニ從フ。

- 英貨一磅 二〇・四〇麻克。一法<sup>フラン</sup>、リラ、ペセタ(金)、リュイ、フィンランド麻克 八〇片<sup>ペニニ</sup>。一塊
- グレン(金) 二麻克。一塊グレン(本位貨) 一・七〇麻克。一塊匈クローネ 八五片。一和蘭
- 通貨グレン 一・七〇麻克。一スカンデナヴィヤクローネ 一・二二五麻克。一古金留<sup>ル</sup> 三・二〇
- 麻克。一留及ヒ一古信用證券留 各二・一六麻克。一土耳其ピアステル 一八片。一ペソ(金) 四麻克。
- 一弗 四・三〇麻克。一日本古金圓 四・二〇麻克。一日本圓 二・一〇麻克。一印度ル
- ピー 一・三五麻克。墨西哥弗 二・一〇麻克。

此ノ制限ハ(A)帝國官廳、直接聯邦官廳、(B)帝國銀行及ヒ外國爲替營業所ヨリ交付セラレタル價格表示付書狀及ヒ小包ニハ之ヲ適用セス。

次ノモノヲ外國爲替營業所ト定ム。

- (一) 伯林ニ於テ。ケョーニツヒリツヒ・ゼーハンドルング(普魯西國立銀行)、商工銀行、伯林商業會議所、エス・ブライヒレヨードル、商業及ヒ手形割引銀行、デルブリュック・シツクライ會社、獨逸銀行、手形割引會社理事局、ドレスデン銀行、ハーディー有限責任會社、メンデルズゾーン會社中央獨逸信用銀行。

- (二) フランクフルト・アム・マインニ於テハ  
獨逸有價證券及手形銀行、獨逸組合銀行、ヨット・ドライフス會社、エト・ラトデンブルグ、リン  
コルン・メニト・オッペンハイマー、ファルツ銀行フランクフルト營業所、ラツアルト・スパイヤ  
ト・エリッスセン、エル・エト・ウエルトハイムムバー、エルンスト・ウエルトハイムムバー會社、及  
(一)ニ掲ケタル商館ノフランクフルト營業所。
- (三) 漢堡ニ於テハ  
エル・ペーレンス父子商會、漢堡北獨銀行、漢堡組合銀行、エム・エム・ワーブルグ會社、及ヒ(一)  
ニ掲ケタル商館ノ漢堡營業所。



千九百十六年十二月二十三日局報 三三一號(局報五二〇頁)ニ掲ケル第二ノ制限ハ之ヲ廢止ス。

(四) 對外支拂取引ニ關スル千九百十七年二月八日聯邦議會命令(帝法公報一〇五)同日帝國宰相告示(帝法公報一〇九)ニ從ヒ、獨逸帝國ノ本位ニテ示サレル支拂資料ヲ封入セル外國宛(歷山堡ヲ除ク)價格表示付書狀及ヒ小包ハ、帝國銀行ノ許可ヲ表示ヲ提出セル時ニノミ、受理セラルルモノトス。

例 外

(A) 第四條ノ規定ハ帝國官廳、直接聯邦官廳、又ハ帝國銀行ノ交付セル價格表示付書狀及ヒ小包ニハ適用セス。

(B) 外國爲替營業所(三ノCヲ見ヨ)ノ交付セル價格表示付書狀及ヒ小包ニツキテハ、帝國銀行ノ許可ヲ表示ハ送付物カ獨逸ノ本位ニテ示サレタル貨幣、銀行券、國庫證券、又ハ貸付金庫證券ヲ封入スル時ニノミ之ヲ要シ、ソノ内容ガ指圖證券、小切手、又ハ手形ヨリ成ル時ニハ之ヲ要セス。

(C) 外國ニ居住スル同一人又ハ同一商館ニ、同一曆日内ニ獨逸帝國ノ本位ヲ以テ示セル、千麻克以下ノ支拂資料ヲ、而モ同一曆月内ニ、總額三千麻克以下ノモノヲ送付スルニハ、帝國銀行ノ許可ヲ得ルヲ要セスシテ一般ニ許サル。

(五) 書狀郵便稅率表及ヒ小包郵便稅率表ニ從ヒ當該官廳ニ於テ必要ナル記載ヲ爲スヘシ。

(三)ニ掲ケタル證明提出ノ爲ニ示サレル證書、(三)及ヒ(四)ノ規定ニ從ヒテ提出セララルル帝國銀

行ノ許可ヲ表示ハ——ソノ示ス額ヲ更ニ送付スル爲ニ使用スルヲ得サラシムル爲メ——書面ノ外觀ヲ毀損スルニ非レハ除去スルヲ得サル位置ニ、日附消印ヲ押捺スヘシ。證書又ハ帝國銀行ノ許可ヲ表示ノ示ス金額全部ヲ送付セサル時ハ、略ボ次ノ形式ニヨリ日附消印ノ傍ニ記載ヲ爲スヘシ。

有價物書狀

一三六〇M(麻克)

(受理員氏名)

此ノ場合ニハ證書及ヒ帝國銀行ノ許可表示ハ殘額送付ノ際證明トシテ使用スルヲ得。

郵便局ハ(三)及ヒ(四)ノ規定——Cヲ除外セス——ニ從ツテ受理セラレタル有價物書狀ノ裏面又ハ有價物小包ノ宛名面ニ、ソノ送付ノ許可ヲ調査セル旨ヲ記載スヘシ。内容ノ種類ヲモ示スヘキモノトス。記載ニハ受理員之ニ署名スヘク、署名ノ傍ニハ日附消印ヲ押捺スヘシ。

記載例示

外國支拂資料

獨逸支拂資料

調査濟

調査濟

(受理員氏名)

(受理員氏名)

(四)ノCノ例外ノ濫用防止ハ、一般ニ外國課ニテ爲スヘキモノトス。然レトモ郵便局ハ能フ限り之ニ協力スヘシ。濫用ノ存スルコト疑ナキ時ハ、適當ノ約定ノ下ニ送付者ニ帝國銀行ノ許可表示ヲ持參スヘキ旨ヲ告クヘシ。濫用ノ疑ヒ存スル時ハ、上級郵便監督廳ノ郵便局ニ與ヘタル指圖ニ從ヒ、外國宛



有價物書狀ノ調査ヲ爲スヘシ。(千九百十六年一月五日上級郵便監督廳ニ對スル指令一G五三三九)四ノCノ有價物書狀ノ裏面又ハ有價物小包ノ宛名面ニ次ノ如ク記載スヘシ。

獨逸支拂資料

帝國銀行許可無キモノ

(受理員氏名)

此ノ傍ニ日附消印ヲ押捺スヘシ。

(六) 郵便爲替ニ對スル制限(一九一六、一一、三〇、局報指令、三〇六號、局報四七九頁) 書留信書ニ  
ヨル代金引換ニ對スル制限、及ヒ取立委任郵便ニ對スル制限(一九一六、一二、二三、局報指令、三三一  
號、局報五二〇頁) ハ、(A)帝國官廳或ハ直接聯邦官廳ヨリ、又ハ(B)帝國銀行ヨリ交付セラレタル送  
付物ニ對シテハ適用セス。ソノ他ノ場合ニハ依然效力ヲ有ス。

(七) 國境出路郵便局ハ相場差益ヲ得ントスル行爲ノ防止ニ關シテモ協力シ、且又獨逸帝國ノ本位  
ニテ示サル支拂資料ノ許スヘカラサル送付ヲ防止スルノ任務ヲ有ス。カカル行爲ニシテ顯著ナリト  
認め得ル時ハ、直チニ上級郵便監督廳ニ通告スヘク、而シテ同廳ハ之ヲ帝國郵便局ニ通告スルヲ要ス。

外國債權届出ニ關スル告示(一) 一九一七、二、二三、(帝法公報一八三)

(一) 他ノ之ニ關スル規定及準則ニツキテハ一九一七、三、二日、一〇日、二七日普國商務大臣訓令參照、商工務省報八五頁以下及一  
二二頁。

千九百十六年十二月十六日外國債權届出ニ關スル命令第一條(帝法公報一四〇〇)ニ基キ次ノ事項ヲ  
定ム。

第一節

戰爭開始ニ際シ外國ニ住所ヲ有セシカ又ハ永寓ヲ爲セシニ非ル限リハ、帝國領域内ニ住所ヲ有シ又  
ハ永寓スル自然人、及ヒ帝國領域内ニ事務所ヲ有スル法人及ヒ商事會社ハ届出ノ義務ヲ有ス。

帝國行政廳、聯邦行政廳、及ヒ自治行政廳ハ届出ノ義務ヲ有セス。

第二節

敵國ニ居住スル債務者ニ對スル、ソノ國トノ戰爭開始前已ニ金錢債權トシテ存立セル金錢債權ハ届  
出ツルヲ要ス。

此ノ規定ニ云フ敵國ニ居住スル債務者トハ、戰爭開始ノ際ニソノ地ニ住所ヲ有シ、又ハ永續シテ滯  
在ヲナセル自然人、及ヒ戰爭開始ノ際ニソノ地ニ事務所ヲ有セル法人及ヒ商事會社並ヒニ特ニ敵國國  
家ヲ稱ス。

第一項ニ從ヒテ届出ツヘキ主タル債權ニ從タル債權ニシテ戰爭中發生セルモノ、ソノ從タル債權カ



費用及ヒ支出ヨリ成ルトキハ、主タル債權ト共ニ届出ツルヲ要ス。利息ハ從タル債權トシテ届出ツ可キモノニアラストス。

第三節

届出ヲ要セサルモノ次ノ如シ。

- (一) 届出義務者カ契約上ソノ負擔スル反對給付ヲ履行セサルカ、或ハ一部履行セサル際ノ契約上ノ債權。一部履行ノ際ニハ届出ハソノ給付ニ相當スル反對債權ノ範圍ニ制限ス。
- (二) 在外債務者ノ内國支店ノ營業上生シタル債權。
- (三) 債權者ノ在敵國本支店ノ營業上生シタル債權。
- (四) 商業取引上有價證券ニ屬スル有價證券上ノ債權、並ヒニ利息證券及ヒ利益配當證券上ノ債權。
- (五) 請求權發生事由ノ未タ發生セサル保證債權、及ヒ償還請求權ソノ他尙ホ未タ拒絕セラレサル手形及ヒ小切手上ノ償還請求權ハ届出ヲ要セス。
- (六) 同一契約ニ對シ年額千麻克ヲ超過セサル保險料請求權。
- (七) 期限未到來ノ保險金給付請求權、但シ生命保險契約上ノ請求權ハ履行期到來セサルモ届出ツヘシ。同時ニ保險金額モ届出ツルヲ要ス。

第四節

届出ハ千九百十七年四月十六日ニ至ルマテ附示セル届出形式ニ從ヒ、千九百十六年十二月十六日命令第二條ニ基キ、聯邦中央官廳(一)ノ指定スル事務所ニ之ヲ爲スヘシ。届出事務所ハ届出義務者ノ申請ニヨリ期日ヲ延期スルヲ得。

(一)一九一七、三、二(商工務省報八五頁)普國商工務大臣ハ此ノ權限アル届出事務所トシ商業代表機關ヲ指定ス。

第五節

獨逸會社又ハ外國或ハ獨逸保護領域内ニ事務所ヲ有シ、或ハ開戦ノ際ニ有シタル獨逸會社ハ、敵國ニ居住スル債務者ニ對スル債權ヲ「在敵國獨逸非戰國員ニ對スル暴行帝國討議委員」(現時柏林西區三五、ポツダム街三十八)ニ已ニ書面ヲ以テ届出ヲ爲ササリシ時ハ、之ニ届出ヲ爲スヘシ。

敵國ニ於ケル企業ニ現在關與シ、又ハ戰爭開始ニ至ルマテ關與シタル帝國領域内ニ居住スル獨逸臣民ニ對シ、ソノ企業及ヒ支店ノ經營ニ方リテ生シタル債權ニツキテモ亦同シ。

第六節

本告示ノ規定ハ帝國賠償委員會ニ爲スヘキ債權ノ届出、及ヒ同委員會ノ債權調査ニハ影響ヲ及ボササルモノトス。

第七節

本告示ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。



外國有價證券ニ關スル告示 一九一七、三、二二、(帝法公報二六〇)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キ、次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ハ外國ニ居住スル債務者ノ責任ヲ負擔スル有價證券、又ハ在外企業ニ干與スル旨ヲ證書ニ作成セル有價證券、並ヒニ在外株式會社ニ干與スル旨ノ證明ニシテ、命令ニ定ムル期間内ニ外國ニ居住スル人及ヒ商館ニ讓渡セラレサルモノハ、相當ノ賠償ヲ以テ之ヲ帝國(一)ニ引渡スコトヲ要スル旨ヲ命スルヲ得。

(一)「貨貨」ノ爲メニスル有價證券ノ帝國ヘノ引渡「一九一七、三、二四、」ボスト新紙參照。

帝國宰相ハ引渡ノ行ハルヘキ賠償及ヒソノ他ノ條件ヲ定メ、又ソノ他ノ施行規定、殊ニソノ引渡ノ任意ニ行ハレサル時ハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ執行スヘキカヲ定ムルヲ得。

帝國宰相ハ尙ホ違反行爲ヲ一萬麻克以下ノ罰金又ハ六ヶ月以下ノ禁錮ニ處スル旨ヲ定ムルヲ得。

第二條 第一條ニ掲クル種類ノ有價證券ハ、帝國銀行又ハ銀行取引ヲ營業トシテ行フ内國ニ居住スル人又ハ商館ノ仲介ニヨリテノミ、之ヲ外國ニ送付シ又ハ提出スルコトヲ許ス。

内國ニ居住スル人及ヒ商館ハ、第一條ニ掲クル種類ノ有價證券ヲ、ソノ已ニ外國ニ存在スル時ト雖

モ、只第一項ニ掲クル營業所ノ仲介ニヨリテノミ、之ヲ外國ニ居住スル人及ヒ商館ニ讓渡シ又ハ質入スルヲ許ス。何人モ要求アリシ時ハ、帝國宰相ノ定ムル事務所ニソノ定ムル期間内ニ、自己ニ屬シ又ハソノ占有ニアル第一條ニ掲ケタル有價證券ニ關シ、詳細ナル解答ヲ與フル義務ヲ有ス。

第三條 本令ニ云フ有價證券ニハ利息證券、利益配當證券、及ヒ更改證書、並ヒニ手形小切手及ヒソノ他ノ支拂資料(千九百十七年二月八日對外支拂取引ニ關スル告示第二條、帝法公報一〇五)ヲ除外ス。

第四條 購買及ヒ有價取得行爲ニシテ、之ニヨリ第一條ニ掲クル種類ノ有價證券カ帝國ニ引渡セラレ或ハ斯クノ如クシテ引渡セラレタル有價證券カ引渡人ニ返還セラルルモノハ、帝國印紙法稅率表四Aニヨル稅金ヲ免セラル。同様ニ有價證券ノ引渡ニ關係ヲ有スル諸行爲、並ヒニカカル行爲ニ關セル證書モ、亦各聯邦ニ於テ諸種ノ印紙稅(租稅、訴訟費用等)ヲ免セラル。

第五條 第一條ニ掲クル種類ノ有價證券ノ帝國ニ對スル引渡アルモ、千九百十六年十二月十四日帝國宰相告示ニヨリテ生スル帝國印紙法稅率表一C及ヒ二Bニヨル帝國印紙納付ノ義務ヲ生セス。

第六條 外國支拂資料、又ハ在外債權、或ハ在外信用(千九百十七年二月八日告示、帝法公報一〇五)調達ノ目的ノ爲メニ、各種ノ財團管理人ハソノ管理スル第一條ニ掲クル有價證券ヲ讓渡シ、又ハソノ權限ニシテ財產管理ノ標準トナル規定ニヨリ制限セラレ又ハ除外セララルル時ハ、他ノ方法ニヨリテ之ヲ處分スルノ權限ヲ有ス。



藩主家産、家族世襲財産、封、或ハ世襲地ノ所持人又ハソノ他上記財産中ノ一ノ管理權限アル人或ハ事務所ハ財團管理人ト同様トス。

第七條 帝國宰相ハ本令規定ノ例外ヲ許可スルヲ得。

第八條 第二條ニ違反シテ有價證券ヲ外國ニ送付、提出、又ハ外國ニ居住スル人或ハ商館ニ讓渡質入ヲ企ツル者ハ、他ノ刑罰法規ニヨリ更ニ重キ刑ヲ科セラレサル限リハ、一萬麻克以下ノ罰金ニ處ス。罰金ト共ニ六ヶ月以下ノ禁錮ヲ言渡スヲ妨ケス。處罰セラレル行為ノ關係セル有價證券ハ、判決ニヨリ之ヲ聯邦ニ沒收スルコトヲ得。

違反行為ニ基キテ獨逸臣民ハソノ行為ヲ外國ニ於テ犯セル時ト雖モ處罰スルヲ得可シ。

第九條 故意ニ第二條第三項ニ從ヒテ爲サル要求ニ從ハス、或ハ規定ノ期間内ニ從ハサル者、及ヒ解答ニ際シ知リテ不實又ハ不充分ノ申立ヲ爲ス者ハ、之ヲ千五百麻克以下ノ罰金又ハ三ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス。

第十條 本令ハ千九百十七年四月二十四日ヨリ效力ヲ生ス。  
帝國宰相之方失効期日ヲ定ム。

### 外國債權届出

(帝國官報千九百十七年四月十三日第八十八號)

最近千九百十七年三月八日北獨普通新聞紙第六十六號ニ公告シ、又日刊物ニ述ヘタル外國債權届出

ニ關スル規則ニ附シテ、尙ホ千九百十六年十二月十六日外國債權届出ニ關スル告示(帝法公報一四〇

〇)ニ對スル千九百十七年二月二十三日施行規定(帝法公報一八三)第五節ニ從ヒテ、次ニ掲クルモノハ現時柏林ポツタム街三十八ニ在ル帝國在敵國獨逸非戰鬥員ニ對スル暴行討議委員ノ下ニモ、ソノ債權ヲ届出ツルヲ得ル旨ヲ規定ス。

(A) 獨逸會社又ハ外國或ハ獨逸保護領域内ニ存シ或ハ開戰當時ニ存シタル獨逸會社。

(B) 敵國ニ於ケル企業ニ干與シ又ハ戰爭開始マテ干與セル帝國領域内ニ居住スル獨逸臣民ハ此ノ企業ノ經營上又ハ支店經營上生シタル債權ニ關シテ、

此ノ届出ハ任意ニシテ無期間ノモノトス。然レトモ内國獨逸人ノ外國債權ハ(B)ニ掲クル例外ヲ除キ)届出ノ義務アリ。而シテ千九百十七年四月十五日マテニ聯邦中央官廳ノ告示セル届出事務所(普魯西ニテハ公ノ商業代表機關)ニ届出ツルヲ要ス。

帝國委員ノ下ニ爲スヘキ旨ヲ定メラレタル届出ニ對シテハ、特別ノ届出(用紙)ヲ發行セリ。此ノ用紙ハ帝國委員ノ事務所並ヒニ亡命者委員會及ヒ逃走在外獨逸人救濟所ヨリ無償ニテ取得スル事ヲ得。

此ノ届出(用紙)ハ、只敵國ニ對スル金錢債權ニシテ、ソノ國トノ開戰前ニ已ニ發生セルモノニ充ツヘキモノトス。



此ノ他從來ノ如ク在敵國獨逸非戰鬥員カ、人民又ハ官廳ノ暴行ニヨリ、ソノ財産身體及ヒ生命ニ被リタル損害、並ヒニ敵國ニ於テ獨逸臣民カ敵國政府ノ立法上ノ規定、例ヘハ沒收、保爭物保管處分、強制清算ソノ他ニヨリテ加ヘラレタル損害モ亦帝國委員ノ下ニ届出ツルコトヲ得。斯カル損害ノ届出ニ對シテハ、ソノ場合ノ複雑ナルニ願ミテ、届出用紙ヲ發行セス。故ニ上述ノ届出ハ専ラ外國債權ノ届出ニ對シテ用キラルルモノナル事ヲ注意スヘキナリ。

### 外國宛支拂取引ノ制限

一九一七年第二十六號(帝國郵便局々報)伯林一九一七年四月十六日

- 一 外國有價證券ニ關スル千九百十七年三月二十二日聯邦議會命令(帝法公報二六〇)ニ從ヒ、以下ノ有價證券ヲ封入スル外國宛價格表示付書狀及ヒ小包ハ、只帝國銀行或ハ營業トシテ銀行業務ヲ爲ス内國ニ居住スル人又ハ商館ヨリ送付スル場合ニノミ之ヲ受理ス。
- 外國居住ノ債務者カ責任ヲ負擔シ又ハ外國ニ於ケル企業ニ干與スル旨證書ニ作成セラレ並ヒニ外國株式會社ニ干與セル證明ヲ有スル有價證券。
- 二 利息證券、利益配當證券、更改證書並ヒニ手形、小切手、及ヒソノ他ノ支拂資料(二月十六日局報指令第四十三號、局報第五十九頁)ハ此ノ規定ノ意義ニ於テハ有價證券ト認メス。

三 書狀郵便稅率表及ヒ小包郵便稅率表ニヨリ當該事務所ニ於テ必要ナル記載ヲナスヘシ。

郵便局ハ第一ノ規定ニ從ヒテ受理セラレタル有價物書狀ノ裏面又ハ有價物小包ノ名宛面ニ、送付ノ許否ヲ調査セル旨ノ記載ヲ爲スヘシ。又内容ヲモ表示スルヲ要ス。記載ニハ受理吏員之ニ署名シ、署名ノ傍ニハ日附消印ヲ押捺スヘシ。

例

#### 外國有價證券

調査濟

(受理吏員氏名、日附消印)

四 送付物カーニ掲クル有價證券ノ外、尙外國ノ本位ニ於ケル支拂資料、或ハ獨逸帝國ノ本位ニテ示サル支拂資料ヲ封入セル時ハ、一ノ規定ノ他ニ、二月十六日局報指令第四十三號(局報五十九頁)ノ規定ヲ適用ス。送付物ノ許否ソノ他ノ事項ニ關スル記載ハ斯カル場合ニハ合一シテ共ニ爲スヘシ。

例

#### 外國有價證券

獨逸支拂資料

調査濟

(受理吏員氏名、日附消印)



告 示 一九一七、三、一一、(帝國官報第百十二號)

千九百十七年二月八日對外支拂ニ關スル命令(帝法公報一〇五)第九條ニ基キ、同日發布ノ同令ニ關スル告示(帝法公報一〇九)第七節第二項ノ補足トシテ次ノ事項ヲ定ム。

歷山堡ニ對シテハ千九百十七年二月八日對外支拂ニ關スル命令(帝法公報一〇五)第三條第二項ハ有價證券取得ニ關スル場合ニハ之ヲ適用セス。

千九百十七年五月九日 伯林ニ於テ

帝國宰相

(奧太利外國爲替法)

外國支拂資料其ノ他ノ商業及取引ニ關スル千九百十六年十二月十九日關係諸大臣ノ合意ヲ得タル大藏大臣命令

(帝國法律公報第四百二十一號、千八百八十一頁)

千九百十四年十月十日勅令(帝法公報二七四號)及ヒ千九百十四年九月二十四日勅令(帝法公報二五一號)ニ基キ、匈牙利王國政府トノ合意ヲ以テ次ノ如キ命令ヲ發ス。

第一條 外國支拂資料(外國爲替及ヒ對價)ノ商業取引及ヒ外國トノ取引ハ、戰爭ニヨリテ生シタル特別ノ事情ノ繼續中ハ、本令中ニ定メタル制限ニ從フヘキモノトス。

第二條 外國貨幣(鑄貨及ヒ銀行券)、及ヒ內國商業上ノ鑄貨、並ヒニ外國宛支拂證書、小切手、及ヒ手形ハ外國支拂資料ノ取引ノ中央營業所(外國爲替中央營業所)ニ屬スル商館ニ於テノミ購買、交換、或ハ消費貸借ニヨリテ取得シ、又ハ同商館ニノミ賣却、質入、或ハ消費貸借ニヨリテ讓渡スルコトヲ得。

外國ニ存スル帳簿計算上ノ債權ハ、ソノ示サル本位ト異ナル本位ニテ示サル貨幣(鑄造貨幣及ヒ銀行券)、帳簿計算上ノ債權支拂證書、小切手、及ヒ手形、或ハ內國商業上ノ貨幣ノ取得ノ目的ノ爲ニノミ、ソノ取得カ外國爲替中央營業所ニ屬スル商館ノ一ニ於テ行ハルル場合ニ限り、之ヲ處分スルコトヲ得。

第三條 外國爲替中央營業所ニ屬スル商館トノ取引ハ、又問屋ニヨリテ仲介セラルルヲ妨ケス。然レトモ問屋ハ此ノ種ノ行爲ノ際ニ——普通ニハ商法第三百七十六節ニ定メラルル前提條件存スル場合ト雖モ——自ラソノ行爲ニ介入スルヲ得ス。

第四條 第二條第一項ニ掲ケタル種類ノ行爲ヲ締結スルモノハ、外國爲替中央營業所ノ指揮ヲ奧太



利、匈牙利銀行ヨリ委託セラレタル機關ニ、ソノ要求アリシ時ハ、ソノ行爲ノ内容及ヒ目的ニツキ眞實ニ解答ヲ爲シ、且證書ヲ提出スルノ義務ヲ有ス。此ノ義務ハ第三條ノ場合ニハ委託者及ヒ問屋ニツキテ存ス。

第五條 外國爲替中央營業所ニ屬スル商館及ヒ更ニソノ所屬員名簿中ニ變更アリシ時ハ「ウィーン及びブダペスト維那新聞」紙上ニ公告ス。

第六條 外國爲替中央營業所ニ屬スル商館ハ、ソノ任意ニ引受ケタル義務ヲ維持スルニ方リ、ソノ事務ヲ外國爲替營業所ニ對スル執務規則(一)中ニ定メラレタル原則ニ反セサル如ク處理スヘシ。特ニ、

(一) 外國爲替中央營業所及ヒ其部員ニ對スル執務規則ハ一九一六年十二月二十八日ヲ以テ從來效力アリシ協定ニ代レリ。現在ウィーン及ヒブダペストニ各一ノ中央營業所存ス。

一 ソノ業務經營中ニ現在スル、執務規則ニ云フ自由ニ處分スルコトヲ得ル現在額並ヒニ外國爲替及ヒ特價ニツキテ生スル入金ハ、外國爲替中央營業所ニ對スル執務規則中ノ細則ニ從ヒテ外國爲替中央營業所ノ處分ニ供シ、又ソノ外國支拂資料ノ全需要ヲ外國爲替中央營業所ニ要求スヘシ。

二 ソノ業務經營ニ方リテハ、埃太利匈牙利銀行ノ同意ヲ以テ確定セララルル外國支拂資料ノ受理及ヒ交付ニ對スル條件ヲ執務規則中ノ細則ニ從ヒテ遵守スヘシ。

第七條 大藏大臣ハ、本令第三條ニヨリテ外國爲替取引及ヒ對價取引ノ問屋業經營ヲ爲スノ權ヲ與ヘラレタル商館及ヒ人ノ業務狀況監督ノ爲メ緊急處分ヲ爲スコトヲ得。又公益上ノ理由ニヨリ各商館



ノ外國爲替取引及ヒ對價取引ノ問屋業經營ノ權限ヲ剝奪スルコトヲ得。

第八條 奧太利匈牙利銀行銀行券、戰時貸付金庫國庫證券並ヒ「くろいね」ノ本位ヲ以テ示サレタル小切手及ヒ手形ハ之ヲ外國ニ輸出スルヲ禁止ス。

奧太利或ハ匈牙利外國爲替中央營業所ノ書面ニヨル許可ヲ以テ爲サルル外國宛送付及ヒ携出ハ此ノ禁止ノ例外トス。

尙ホ旅行者及國境通過者ハ交通ニ際シテ五百「くろいね」以下ノ金額ノ銀行券ヲ持參スルヲ許ス。  
「くろいね」本位鑄貨ノ對外取引ニ關シテハ千九百十六年三月十日（帝法公報第六十六號第一條第九十及ヒ九十一頁）省令ノ規定ヲ適用ス。

第九條 「くろいね」本位ニヨル金額ヲ外國ニ爲替等ニヨリ轉付シ、又ハ外國人或ハ外國商館ノ内國ニテ行ハルル計算（帳簿計算）ニ對シ又「くろいね」本位ニヨル金額ヲ拂込ミ及ヒ轉付スルニハ、外國爲替中央營業所カ書面ニヨリ許可ヲ與ヘタル時ニノミ之ヲ許ス。又前記ノ委任ハ同様ノ場合ニノミ之ヲ執行スルコトヲ得。以下ノ場合ハ例外トス。

- 一 外國ニ住所ヲ有シ或ハ永寓スル外國人カ處分（拂込又ハ自己ノ帳簿計算上債様ノ處分）ヲ爲ス場合、又ハ計算上ノ處分ニシテ且ツ之等ノ者ハ自己ノ帳簿計算上ノ債權ノ處分ニ關スル場合、
- 二 拂込及ヒ轉付ノ金額カ二百くろいねニ達セサル場合。



外國商館ノ内國營業所ハ内國人ト同様ニ取扱フ。

第十條 第八條及ヒ第九條ニ定メタル許可ノ表示ヲ得ントスル時ハ、外國爲替中央營業所ニ目的トスル處分ノ原因タル取引關係ニ關スル證書ヲ提出スヘク、又外國爲替中央營業所ノ要求スル取引ノ内容及ヒ目的ニ關スル解答ヲ爲スヘシ。許可ハ公益ニ反セサル場合ニ於テノミ之ヲ與フ。

外國爲替中央營業所ノ許可ヲ以テ引受ラレタル債權ノ履行ニ關スル時ハ、前數條ニ定メタル許可ノ表示ハ拒絕セラルル事ナシ。尙ホ本令施行前ニ生セル債權ニシテ且ツ引受タル債務ヲ侵害スルコトナクシテ取消スコトヲ得ス。又「くろいね」通貨ノ支拂ニヨル以外ノ方法ニテハ完済スルヲ得サルモノノ履行ニ關スル時ハ、許可ヲ與ヘラル。

第十一條 三百「くろいね」以上ノ價格アル貨物ヲ外國ニ輸出スル者ハ、奧太利匈牙利銀行ヨリ例外トシテ特ニ重要ナル理由ニヨリテソノ義務ヲ免除セラレタルニ非ル時ハ、輸出送付ノ目的國ノ本位ニ於ケル對價ヲ到達後直チニ外國爲替中央營業所ニ屬スル何レカノ商館ニ交付スル義務ヲ負フ。稅關ノ輸出貨物ノ出荷認許ヲ得ル爲ニ、奧太利匈牙利銀行ノ發セル、又ハ外國爲替中央營業所ニ屬スル何レカノ商館ト對價ノ交付ニ關シ合意アリシ旨ヲ證明スル共同作成ノ表示ヲ提出スヘシ。

第十二條 大藏大臣ハ本令規定ノ例外ヲ許可スルヲ得。

如何ナル範圍マテ金錢兩替行爲ニヨリテ生スル利得ヲ本令制限規定ノ適用外ニ置クヘキカハ、大藏



大臣ノ指令ニ從ヒ、埃太利匈牙利銀行各商館ニ對シテ之ヲ定ム。

郵便爲替取引、代金引換郵便取引、取立委任郵便取引ニハ本令ヲ適用セス。

第十三條 本令第八條ニ掲ケタル輸出禁止ニ違反セル行爲ヲ爲ス者ハ、當該刑法規定ニ從ツテ處罰ス。

法定刑ト共ニ、常ニ處罰セララル行爲ノ對象物ヲ成ス價格ノ沒收ヲ言渡スヘシ。沒收ヲ言渡サレタル物ノ價格ノ半ハ、當該事件ノ告發又ハ通告ヲ爲シテ報酬ヲ受クル功アルモノニ之ヲ與フ。

ソノ他ノ本令規定ニ違背スル時ハ、他ノ規定ニヨリ更ニ重キ刑ヲ科セラレサル限リハ、警察官廳ニ於テ五千「くろいね」以下ノ罰金又ハ六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス。又警察官廳ニヨリ處罰セララル本令ノ違反行爲ノ未遂者、教唆者、及ヒ協力者ニハ同一ノ刑罰ヲ科ス。故意ニ違反セル場合ハ常ニ禁錮刑ニ處ス。

埃太利國領臣民ハ本令ノ違反行爲アル時ハ、假令匈牙利神聖王領域内、ボスニヤ、ヘルゼゴヴィナ、又ハ外國ニ於テ内國商業取引經營上違反セル時ト離モ亦訴追セララル。

第十四條 匈牙利神聖王領域、ボスニヤ領域、及ヒヘルゼゴヴィナハ本令ニ云フ外國ト看做サス。

第十五條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。但シ第十一條ノ規定ハ千九百十七年一月一日ヨリ效力ヲ生ス。



C 金貨及ビ金取引

帝國金貨ノ打歩取引禁止ニ關スル告示

一九一四、一一、二三、(帝法公報四八一)

聯邦議會ハ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ノ許可ヲ得スシテ帝國金貨ヲ、ソノ名價ヲ超ユル價格ヲ以テ取得、讓渡、又ハ斯カル行爲ヲ金貨ニツキテ仲介スルコトヲ企ツル者、或ハ他人ニ之ヲ要求シ又ハ申出ツル者ハ、他ノ規定ニヨリ更ニ重キ刑ヲ科セラレサル限り、一年以内ノ禁錮ト共ニ五千麻克以下ノ罰金ニ處ス。輕減スヘキ事情アル時ハ、罰金刑ノミヲ宣告スルヲ得。

第二條 判決ニ於テ、第一條ニヨリテ處罰セラレル行爲ニ使用セラレ或ハソノ目的ニ定メラレタル帝國金貨ニシテ行爲者及ヒ之ニ干與スル者ニ屬スルモノハ之ヲ沒收ス。

刑法第四十二條ハ之ヲ適用ス。

第三條 本令ハ千九百十四年十一月二十六日ヨリ效力ヲ生ス。失效ノ期日ハ帝國宰相之ヲ定ム。

金輸出及ビ通過輸送禁止ニ關スル告示

一九一五、一一、二三、(帝法公報七六三)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 內國及ヒ外國ノ金貨、純金、諸種ノ成分ヲ含ム金合金、特ニ棒金、粒金、金線、板金、帶金、金箔ニシテ更ニ加工セラレタルモノニアラサルモノ、及ヒ諸種形狀ノ屑金ノ輸出及ヒ通過輸送ヲ禁止ス。

此ノ禁止ハ帝國銀行ニハ適用ナシ。

(一)ソノ他ノ輸出及通過輸送禁止ニツキテハ帝國統計局發行「輸出入禁止等ニ關スル帝國法令類集(伯林、ビー、エム、ウエーメル出版)」並ビニ柏林商業會議所(フエルケールス、ビュロー)發行「獨逸輸出通過輸送禁止表」參照。

第二條 第一條ノ禁止ニ反シテ帝國領域ヨリ金ヲ輸出シ、又ハ帝國領域内ヲ通シテ金ヲ輸送セント企ツル者ハ、他ノ刑罰法規ニヨリ更ニ重キ刑ヲ科セラレサル限り、三年以下ノ禁錮及ヒ處罰セララル行爲ノ遂行セララル物ノ價格ノ二倍額ニシテ少クモ三十麻克以上ノ罰金ニ處ス。輕減スヘキ事情ノ存ズル時ハ、罰金刑ノミヲ宣告スル事ヲ得。

判決ニ於テ處罰セララル行爲ノ行ハレタル物ハ、行爲者又ハ干與セル者ニ屬スル時ハ之ヲ沒收ス。



刑法第四十二條及ヒ同盟關稅法第一百五十五條ハ之ヲ適用ス。

第三條 帝國宰相ハ第一條ニ掲タル禁止ノ例外ヲ許可スル權限ヲ有ス。

第四條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。第二條ノ規定ハ千九百十五年十一月十五日ヨリ效力ヲ生ス。帝國宰相ハ本令失効ノ期日ヲ定ム。

手打合金金箔及ビ裝飾用金輸出ニ關スル告示

一九一六、二、五、(帝國官報第三十一號)

千九百十五年十一月十三日金輸出及ヒ通過輸送禁止ニ關スル命令(帝法公報七六三)第三條ニ基キ次ノ事項ヲ定ム。

書物裝禎用手打合金々箔(所謂ブッフゴルト)及ヒ液態金箔ノ輸出ヲ許可ス。

伯林ニ於テ千九百十六年二月一日 帝國宰相

必要ナラザル物件ノ輸入禁止ニ關スル命令

一九一六、二、二五、(帝法公報一一一)

第一條 帝國宰相ハ必要ナラサル物件ヲ獨逸國境ヲ超エテ輸入スル事ヲ、追ツテ規定スルマテ禁止

シ、且ツ禁止施行ニ必要ナル處置ヲ取ルノ權限ヲ附與セラル。

第二條 帝國宰相ハ第一條ニヨリテ輸入ヲ禁止セラレタル物件ノ目錄(一)ヲ公告スヘシ。

帝國宰相ハ第一條ノ規定ノ例外ヲ許スノ權限ヲ附與セラル。

(一)次ノ命令參照

第三條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

必要ナラサル物件輸入禁止ニ關スル告示

一九一六、二、二六、(帝國官報一九一六、二、二六、)

千九百十六年二月二十五日必要ナラサル物件ノ輸入禁止ニ關スル命令(帝法公報一一一)ニ基キテ以下ノ事項ヲ定ム。

第一條 同令附録中ニ掲載セル物件(一)ヲ獨逸國境ヲ超エテ輸入スルコトハ追ツテ規定スルマテ之ヲ禁止ス。

第二條 稅關ハ、現ニ行ハレツツアル加工輸入ニ際シ、並ヒニ修繕輸入、送戻輸入ニ於テ、當該取引許可ニツキ管轄權アル範圍内ニ於テ、第一條禁止ノ例外ヲ許可スルノ權限ヲ有ス。

第三條 輸入セラルル送付物ノ價格五十麻克ヲ超エサル場合ニハ、稅關主廳又ハ主廳ヨリ指定セラ



レタル税關、ソノ送付品ノ價格五百麻克ヲ超エサル場合ニハ税關監督官廳ハ、考慮スル必要ナキ時ハ輸入禁止ノ例外ヲ許スノ權限ヲ有ス。

第四條 本告示ハ直チニ效力ヲ生ス。

税關主廳ハ附録ニ掲載セル種類ノ物件ノ輸入ヲ、ソノモノカ本告示ノ施行當時已ニ支拂濟トナレル旨ノ證明アリシ場合ニ、許可スルノ權限ヲ附與セラル。

(三)ソノ中ニ記載セラル、モノハ、金及銀製貨物(一九〇二、一二、二五、關稅々率表第七七一、及ヒ七七六號)寶石(稅率表第六七八號)、附録ハ此ノ書ニ掲載セズ。

### 金製貨物輸出禁止ニ關スル告示

一九一六、七、一三、(帝法公報六九五)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 全部又ハ一部金ヨリ作製セラレ、或ハ物理的方法ヲ以テ金ヲ蔽籍セル貨物ノ輸出ヲ禁止ス。單ニ鍍金シタル貨物ハ此ノ禁止ノ限リニ在ラス。

第二條 第一條ノ禁止ニ反シ金製貨物ヲ帝國領域ヨリ輸出セント企ツルモノハ、他ノ刑罰法規ニヨリ更ニ重キ刑ヲ科セラレサル限リ、處罰セラルル行爲ノ行ハレタル物件ノ二倍額ニシテ最低三十麻克

ノ限度ノ罰金ニ處ス。

判決ニ於テ、處罰行爲ノ行ハレタル物件ソノ物カ、行爲者又ハ干與セル者ニ屬スル時ハ、之ヲ沒收ス。刑法第四十二條及ヒ同盟關稅法第一百五十五條ハ之ヲ適用ス。

第三條 帝國宰相ハ第一條ニ掲クル禁止ノ例外ヲ許可スルノ權限ヲ附與セラル。

第四條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。但シ第二條ノ規定ハ千九百十六年七月二十日ヨリ效力ヲ生ス。帝國宰相ハ本令ノ失効期日ヲ定ム。

### 必要ナラザル物件ノ輸入禁止施行ニ關スル告示

一九一六、七、二二、(帝法公報一九五)

千九百十六年二月二十五日必要ナラサル物件輸入禁止ニ關スル命令(帝法公報一一一)第一條ニ基キ次ノ事項ヲ定ム。

千九百十六年二月二十五日前記命令ニ基キテ、獨逸帝國國境ヲ超エテ輸入スルコトヲ禁セラレタル物件ヲ、獨逸帝國國境ヲ超エテ關稅ヲ同フスル地方へ通過輸送スルコトハ、カ、ル物件ノ輸入ト同様ニ取扱フモノトス。

帝國宰相



帝國銀行發行鐵製記念章保護告示

一九一六、八、三(帝法公報八八三)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國銀行ノ委託ニヨリ金製品(一)交附者ニ記念章トシテ貸與スル爲ニ作製セラレタル鐵製物件ハ、之ヲ増加シ又ハ模造スルコトヲ許サス。之等ノ物件又ハ模造品ハ法律行爲ヲ以テ處分スルコトヲ許サス。又取引ニ供シ或ハ販賣スルコトヲ許サス。強制執行又ハ假差押手續ニヨリテ行ハル、處分ハ法律行爲ニヨル處分ニ同シ。家族ノ爲メニスル無償ノ處分並ヒニ死因處分ハ之ヲ許ス。

記念章ノ形狀模型及ヒ記載事項ハ帝國銀行理事局ヨリ帝國官報ニ公告ス。

第二條 増加及ヒ模造ハ次ノ場合ニモ之ヲ禁ス。

(一) 自由ノ爲メ又ハ只一箇ニツキテノミ行ハル、時。

(二) 鐵以外ノ材料ヲ用ユル時。

(三) 原品カ作製セラレタルト異ナル方法ヲ用ユル時。然レトモ模寫ニヨリテ原品ヲ表スコトハ之ヲ許ス。

(四) 面積又ハ色彩カ原品ト異ナル時。

(五) 原品ノ模造品カ手本トシテ用ヒラル、時。

(一) 裁判所執達吏ハ金製物件ノ競賣ニ附スルモノアル時ハ、最近ノ金購買事務所ニ通告スヘク、評價人ニ審査及ヒ評價ノ機會ヲ與フヘシ。(司法省々報千九百十六年第三百十六頁)

第三條 記念章ノ模寫並ヒニソノ面ニ記セル格言ハ貨物標章ニ用ユルヲ許サス。

第四條 第一條ニ掲ケタル記念章ヲ表ハシ又ハソノ面ニ記セル格言ヲ用ヒタル貨物標章ハ、帝國銀行理事局ノ許可ナクシテ商標登錄簿ニ登記スルヲ許サス。

第五條 本令規定ノ適用ハ差異アルモ、尙ホ混同セラル、虞アル場合ニハ、ソノ差異アルカ爲メニ除外セラル、コト無シ。

第六條 第一條第二項ニ掲ケタル公告以前、明ニ製造セラレタルコトヲ證明シ得ル物件ヲ處分シ、取引ニ供シ、或ハ販賣スル權能ハ本令規定ニヨリ妨ケラル、コト無シ。

第七條 第一條乃至第三條ノ規定ニ故意ニ違反スル行爲ヲ爲スモノハ、三ヶ月以下ノ禁錮及ヒ三千麻克以下ノ罰金又ハソノ一ニヨリテ處罰ス。

第一條乃至第三條ノ規定ニ過失ニヨリ違反スル行爲ヲ爲スモノハ千五百麻克以下ノ罰金ニ處ス。刑ノ訴追ハ帝國銀行理事局ノ告訴ニヨリテノミ之ヲ爲ス。告訴ハ取下ヲ許ス。

刑罰ト共ニ處罰セラル、行爲ニ關係アル物件ハ、行爲者ニ屬スルト否トノ別ナク、之ヲ沒收スル旨



ヲ言渡スコトヲ得。

第八條 工業鑑定人會(千八百七十六年一月十一日意匠及ヒ新案雜形發明權ニ關スル法律(帝法公報一一)第十四條ハ、裁判所及ヒ檢事局ノ要求アレハ、ソノ問合ハサレタル問題ニツキ、意見ヲ陳述スルノ義務ヲ負フ。

第九條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

### 貨物賣上高印紙免除ニ關スル告示(一)

一九一六、一一、一四(帝法公報一二七四)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 貨物賣上高印紙ハ戰時財政期間中聯邦諸國、地方自治團體、又ハソノ聯合同盟ヨリ住民ニ糧食補給ノ爲ニ爲サル、貨物供給ノ際ニハ、ソノ貨物カ聯邦諸國、地方自治團體又ハソノ同盟ノ自己ノ經營上產出セラレサリシモノナル時ハ、之ヲ課セス。

帝國宰相ノ許可アル時ハ、聯邦最高財政官廳ハ地方自治團體又ハソノ同盟之ニ關與シテ、ソノ住民ニ糧食給與ノ爲ニ設立セラレタル糧食給與會社(各縣中央廳)ヲ、地方自治團體同盟ト同様ノ地位ニ置

クヲ得。

第二條 帝國印紙法第八十三條Aニヨル税金ハ、帝國銀行ノ金準備ヲ強固ナラシムル爲メニ設ケラレタル金購入所ニヨル金製品及ヒ貴重品支拂ノ際ニハ、之ヲ徵收セス。行ハレタル支拂ノ領收證書ノ提出ヲ必要トセス。

(一)貨物賣上高印紙ニ關スル法律ハ後ニ載セタリ。

### 金價格ニ關スル告示 一九一七、二、八(帝法公報一一七)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 粗金、金滓、屑金(破碎、截斷、又ハソノ他不用ニ歸セル金製品、金製品ノ一部、破片)ノ價格ハ、純金一疋ニ對シ二千七百九十麻克ヲ超ユルコトヲ許サス。

第二條 帝國宰相ハ全部又ハ一部金ヨリ作製セラレ、或ハ物理的方法ニヨリ金ヲ蔽箱セル貨物ニ對シ、ソノモノカソノ性質上更ニ營業上ノ製作ニ使用スルヲ得ル時ハ(半製品)、最高價格ヲ定ムルノ權限ヲ與ヘラル。

帝國宰相ハ又他ノ方法ニヨリ半製品ノ價格ニ關スル規定ヲ定メ、且ツ違反行爲ヲ一年以下ノ禁錮又



ハ一萬麻克以下ノ罰金ニ處スル旨ヲ定ムルコトヲ得。

第三條 第一條ニ掲ケタル價格及ヒ第二條第一項ニ基キテ定メラル、價格ハ、最高價格ニ關スル千九百十四年八月四日法律ノ千九百十四年十二月十七日ノ文體ニ於ケル法律、及ヒ千九百十五年一月二十一日及ヒ千九百十六年三月二十三日及ヒ七月三十一日ノ命令(帝法公報三三九、五一六、千九百十四年。二五、千九百十五年。一八三、八六五、千九百十六年。)ニ云フ最高價格トス。

第四條 全部又ハ一部金ニテ製作セラレ、又ハ物理的方法ヲ以テ金ヲ蔽符セル未使用又ハ已ニ使用セラレタル已製物件、並ヒニ鑄貨、及メタルヲ、此ノ命令施行後純金一町ニ對シ二千七百九十麻克ヨリ高キ價格ヲ以テ取得、溶解、或ハ變造シ又ハ溶解、變造セシムルモノハ、一年以下ノ禁錮及ヒ五萬麻克以下ノ罰金又ハソノ一ニ處ス。此ノ未遂モ亦罰ス。些少ナル改善ハ變造ト認メス。

千九百十四年十一月二十三日帝國金貨ノ打歩取引禁止ニ關スル告示(帝法公報四八一)ノ規定ニツキテハ帝國金貨ノミニ適用アルニ止ル。

第五條 單ニ鍍金サレタル物件ハ此ノ命令規定ノ適用ヲ受ケス。

第六條 帝國宰相ハ本令規定ノ例外ヲ許スコトヲ得。

第七條 帝國宰相ハ在伯林金屬製作品價格決定事務所(千九百十六年七月三十一日金屬製作品價格制限ニ關スル告示帝法公報八六八)ニ、此ノ命令又ハ第二條ニ基キテ發セラレシ規定ニ從ヒテ許サルル

價格ヲ確定シ、又決定價格ヲ超エテ合意セラレシ金額ヲ帝國ニ沒收スル權限ヲ委任スルコトヲ得。

第八條 本令ハ千九百十七年二月十二日ヨリ效力ヲ生ス。帝國宰相之カ失効期日ヲ定ム。

金貨ノ取引 (一九一七、三、一一、(フランクフルト新聞))

金ニテ製作セル未使用又ハ已ニ使用セラレシ已製物件、並ヒニ鑄造貨幣、及ヒメタルヲ、純金一町ニツキ二千七百九十馬克ヨリ高キ價格ニテ取得、溶解、變造スル者ハ處罰セラルヘキ旨ノ金貨ノ取引ニ關スル最近發布ノ聯邦議會命令ハ、又單ニ金貨ニヨル取引ニモ及フヘキモノナリヤ否ヤニツキ銀行界ニ疑ヲ惹起セリ。今ヤ之ニ關シテハ伯林帝國銀行理事局ハ、外國金貨ノ單純ナル取引ハ聯邦議會命令ノ觸ルル所ニアラサル旨ヲ表明セリ。

D. 帝國々庫證券及ビ銀行券

帝國々庫證券及ビ銀行券ニ關スル法律 一九一四、八、四(三)

(一九一四年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第八號。一九一四、八、四、第一乃至第三讀會(第二開期)帝法公報三四七。

第一條 帝國々庫證券ハ追ツテ規定ヲ爲スマテ法定支拂資料トス。(三)

(三)帝國銀行ノ銀行券ヲ金ヲ以テ兌換スル義務免除ハ廢止ス。ソノ結果ノ一ハ「金款項」ノ廢止ナリ。



第二條 追ツテ規定ヲ爲スマテ、帝國本金庫ハ帝國々庫庫證券ノ兌換、又帝國銀行ハ帝國銀行券兌換ノ義務ナシ。

第三條 追ツテ規定ヲ爲スマテ、私設發行銀行ハソノ銀行券ノ兌換ニ帝國銀行券ヲ使用スルノ權ヲ有ス。

第四條 聯邦議會ハ此ノ法律第一條乃至第三條ノ規定ノ失效期日ヲ定ムルノ權限ヲ有ス。

第五條 此ノ法律中第二條第三條ハ千九百十四年七月三十一日ヨリ效力アルモノトシ、ソノ他ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

### 帝國々庫證券及ビ帝國銀行十麻克券發行ニ關スル法律

一九一五、三、二二、二

（一九一四年—一五年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第四十六號。一九一五年三、一〇、第一讀會（第五開期）。一九一五年三、二〇、第二讀會（第八開期）。一九一五年三、二〇、第三讀會（第九開期）。帝法公報一七九。

第一條 帝國宰相ハ一億二千萬麻克ノ金額ニ至ルマテ、更ニ十麻克ノ帝國々庫證券ヲ製造發行セシムルノ權限ヲ與ヘラル。

二億四千萬麻克ノ金額ヲ超ユル帝國々庫證券ハ、ソノ發行セラルル毎ニ、已ニ發行セラレタル貸付金庫證券ノ供託（千九百十四年八月四日貸付金庫法第二條—帝法公報三四〇—）又ハソノ證券ニシテ處

分スルヲ得サル時ハ、鑄造獨逸貨幣ヲ供託シテ償還資金ニ充ツルヲ要ス。之ニツキ必要ナル規則ハ帝國宰相之ヲ定ム。

ソノ他ニツキテハ帝國々庫證券ニ適用アル規定ハ、又新ニ製造セラルヘキ帝國々庫證券ニモ準用アルモノトス。

第二條 聯邦議會ハ、第一條ニ基キテ發行セラレタル帝國々庫證券ヲ、ソノ償還資金トシテ供託セル金額ヲ支拂ヒテ回收スル爲ニ、必要ナル規定ヲ發スルノ權限ヲ付與セラル。

第三條 聯邦議會ハ十麻克帝國々庫證券ヲ取立テ、ソノ取立額ニ比例シテ五麻克帝國々庫證券ノ全額ヲ二億四千萬麻克ニ引上クル權限ヲ付與セラル。之ニ關シテ必要ナル規定ハ遅クトモ講和締結後一年內ニ發布セラルヘキモノトス。

第四條 帝國宰相ハ十麻克ノ金額ヲ示ス銀行券ヲ製造發行セシムルノ權限ヲ有ス。  
第五條 此ノ法律ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

### E 貸付金庫

#### 貸付金庫法 一九一四、八、四、二〇

（一九一四年第十三立法期第二會期、帝國議會議事錄草案理由書第九號、一九一四年八、四、第一乃至第三讀會（第二開期）。帝法公報三四〇。



第一條 伯林及ヒ帝國領域内ノ帝國銀行本店又ハソノ營業所アル地ニ、必要アル時ハ、帝國宰相ノ命令ニヨリ聯邦議會商業取引委員會ノ意見ヲ聞キテ、信用補助殊ニ商工業經營促進ノ爲メ、擔保ヲ提供セシメテ消費貸付ヲナスノ目的ヲ以テ、貸付金庫<sup>(一)</sup>ヲ設立スヘキモノトス。

貸付行爲ノ仲介及ヒ寄託預金所設立ノ爲メニ、貸付金庫ハ此ノ他ニ適當ノ地ニ補助事務所<sup>(二)</sup>ヲ設クルコトヲ得。

第二條 同意ヲ得タル消費貸付ノ金額ニ對シ、「貸付金庫證券」ナル名稱ヲ以テ、特種ノ證券貨幣ヲ發行スヘシ。此ノ證券ハ總テ帝國金庫並ヒニ各聯邦ノ何レノ公ノ金庫ニ於テモ、ソノ全名價ニ從ヒテ支拂トシテ受理セラル。私取引ニ於テハソノ受理ノ強制ナシ。

<sup>(一)</sup>千九百十四年八月六日帝國宰相告示ニ於テ直チニ設立セラレタル貸付金庫ノ記載、帝國法律公報四四九。現在九十九箇ノ貸付金庫(伯林主銀行ヲ含ム獨立ノ帝國銀行營業所ノ數ニ等シ)及ヒ百二十九補助事務所。

千八百七十五年三月十四日銀行法第九條第十七條及ヒ第四十四條(帝法公報一七七)<sup>(二)</sup>ノ意義ニ於テハ貸付金庫證券ハ帝國國庫證券ト同様トス。

貸付金庫證券ノ全額ハ十五億麻克ヲ超過スヘカラス。聯邦議會ハ必要ノ場合ニハ發行セラルヘキ貸付金庫證券ノ額ヲ引上クル權限ヲ付與セラル。<sup>(三)</sup>

<sup>(二)</sup>千九百十四年十一月十一日(本書八十二頁參照)三十億麻克ニ引上グ。  
貸付金庫主務管理廳(第十三條)ハ第四條及ヒ第六條ノ規定ニヨル充分ナル擔保ヲ供セラレサル貸付

金庫證券ヲ發行スルヲ許サス。

貸付金庫主務管理廳ハ發行前ニ貸付金庫ノ證券詳細ナル記事ヲ公告スヘキモノトス。

第三條 貸付ハ少クモ百麻克ヲ下ラサル金額ニ於テノミ、通則トシテ三ヶ月ヨリ長期ナラス、只例外トシテ六ヶ月マテノ期間ヲ以テ、之ヲ爲スコトヲ得。

<sup>(一)</sup>銀行券發行稅ノ確定及ヒ銀行券償還資金ニ付キ

第四條 擔保ハ次ノ場合ニ有效ナルモノトス。

A 帝國領域内ニ存スル腐敗ノ處ナキ貨物、土地、鑛山、及ヒ工業上ノ產出物<sup>(一)</sup>ノ通常ソノ評價ノ半額マテ、例外トシテソノ物件ノ差異及ヒ賣却ノ難易ニヨリ三分ノ二マテノ質入。

B 帝國或ハ聯邦政府ヨリ、又ハ社團、株式會社、株式合資會社ニシテ帝國領域内ニ事務所ヲ有スルモノヨリ發行サレタル有價證券<sup>(二)</sup>ノ公定相場又ハ市價ヲ以テ割引ヲ爲セル額ニヨル質入。無記名ナラサル證券ハ貸付金庫ニ讓渡セラレサル可カラス。

C 主務管理廳(第十三條)ノ許可スル他ノ有價證券ノ質入。

<sup>(一)</sup>ウォルフ電信局ノ報告ニ從ヘハ銀塊ニ對スル貸付限度ハ市價ノ三分ノ二追ツテ規定スルマテ一担ニ對シ百五十麻克ニ定メラル(帝國官報一九一七、二、一七)。

<sup>(二)</sup>土地組合資金ノ貸付ニツキテハ一九一六年九月十八日命令(普國法令集一二九)參照、一九一七年一月八日告示(普國法令集一〇)ニヨリ認可セラル。

第一項Aニ掲ケタル物ニ質權ヲ設定スルニハ、ソノ設定カ表札等ヲ附スルカ如キ外見上ノ表象ニヨ



リ認識シ得ルニ足ラシムル時ハ、ソノ物ヲ引渡スヲ要セス。

第五條 著シク價格ニ變動アル物ハ、同時ニ確實ナル第三者ガ消費貸借契約ノ履行ニ對シ保證スル時ニノミ、擔保トシテ受理セララル。

第六條 消費貸付ハ帝國債務簿又ハ獨逸聯邦債務簿ニ登記セラレタル債權ノ質入ニ對シテモ、名價及利率ニ付キ質入セラレタル帳簿債權ニ相當スル債務證書ノ公定相場價格ニヨル割引ヲ以テ、之ヲ爲スコトヲ得。

貸付金庫ノ爲メ第一項ニ掲ケタル種類ノ債權ニツキテノ質權カ債務簿ニ記入スヘキモノナル時ハ、ソノ申請ニハ理事二人ノ證明ニテ足ル。

此ノ證明ニハ非訟事件手續法第百八十三條ノ規定ヲ準用ス。

第七條 貸付金庫ノ爲メニ質權カ債務簿中ニ登記セラレシ時ハ、(第六條)貸付金庫ハソノ債權カ第三者ニ屬スル時モ亦質權ヲ取得シ、而シテ此ノ質權ハ己ニソノ設定前ニ設定セラレタル他ノ債權ニ對スル第三者ノ權利ニ優先ス。但シソノ第三者ノ權利カ質權登記ノ當時債務簿ニ登記セラレタルモノナルカ、又ハ當時貸付金庫ニ知ラレ或ハ重大ナル過失ニヨリテ知ラレサリシ時ハ此ノ限ニアラス。

債務者カ質權ニヨリ擔保セラレシ債務ノ履行遲滞ニ陥レル時ハ、債務簿管理廳ハ貸付金庫ノ書面ニヨル要求アリシ時ハ、貸付金庫ニ對シ遲滞ノ證明ナキ時モ、登記セラレタル債權又ハ債權ノ相當部分

ヲ消滅セシメテ無記名債務證書ヲ交付スルノ權利義務ヲ有ス。但シ貸付金庫ニ對スル交付ヲ禁スル裁判所ノ命令存スル時、又ハ貸付金庫ノ質權ヨリ以前ニ登記セラレタル第三者ノ斯カル權利、或ハ第三者ノ爲メニスル處分制限カ、債務簿中ニ記載アル時ハ此ノ限リニアラス。質物ハ又交付ニヨリテ生スル費用ヲモ擔保ス。

債務簿管理廳ハ其ノ後ニナサレタル登記ヲ、債務證書交付ノ際貸付金庫ニ通知スヘシ。

債務簿管理廳ノ交付セル債務證書ニヨリ貸付金庫ノ受クル辨濟ニハ、第十條及ヒ第十一條ノ規定ヲ準用ス。

第八條 貸付許可ノ際ノ利率ハ帝國銀行カ手形ヲ買入ルル場合(一)ノ公告セラレシ利率ヨリ高キヲ原則トスヘシ。

(一)凡テノ軍事公債貸付ニ對スル特別利率ハ戰爭ノ今後繼續スル期間ニ對シテハ五分、二五 $\frac{51}{8}$ %ヨリ五分、一二五 $\frac{51}{8}$ %ニ引下ケラル。(千九百十七年三月十七日帝國官報)

第九條 質物ハ元本、利息、及ヒ費用ヲ擔保ス。後二ツノ從屬債權ハ貸付金額ヨリ直チニ差引クコトヲ得。

第十條 履行期ニ辨濟ナキ時ハ、貸付金庫ハソノ吏員又ハ仲買人ノ手ニヨリ質物ヲ賣却セシメ、ソノ賣上額ヲ辨濟ニ充當スルコトヲ得。貸付金庫ハ公賣ノ際最高價申込ノ方法ニヨリテノミ自ラ質物ヲ取得スルコトヲ得。



第十一條 債務者破産ニ陥ル時モ、貸付金庫ハ質物ヲ裁判所ニヨラスシテ賣却スルノ權ヲ失ハス。  
千八百九十八年五月二十日破産法(帝法公報六一二)第二百二十七條第二項ノ制限規定ハ適用ナシ。

第十二條 貸付金庫ハ法人ノ性質及ヒ權利ヲ有スル獨立ノ施設タリ。ソノ行爲ハ印紙及ヒ手數料義務ノ免除ヲ享ク。

第十三條 貸付金庫ノ管理ハ帝國ノ費用ヲ以テ、帝國宰相ノ最高指揮ノ下ニ、帝國銀行之ヲ爲ス。但シソノ他ノ事務ト之ヲ分離ス。一般管理ハ伯林ニ於テ「貸付金庫主務管理廳」ニナル名稱ヲ有スル銀行ノ特別部門ニヨリ、帝國宰相ノ詳細ナル規定ニ從ツテ行ハル。此ノ他各貸付金庫ニ對シテハ、主務管理廳ニ從屬スル理事ヲ任命ス。此ノ理事ニハ、帝國宰相ノ指名スル一名ノ帝國代表者及ヒ商業又ハ工業者階級ヨリノ部員(複數)屬スヘキモノトス。貸付金庫ニ對スル事務ノ指令ハ帝國宰相之ヲ發ス。

第十四條 貸付金庫開始ハ帝國代表者及ヒ理事部員ノ氏名ト共ニ、官ノ公告ヲ爲スベク定メラレタル新聞紙上ニ掲載シテ一般ニ了知セシム。

第十五條 商業又ハ工業者階級ヨリノ理事部員中、二名ハ每週交替ニ貸付金庫ノ事務ニ從事シ、且ツ此ノ法律規定ノ遵守ヲ監視スヘシ。

(一) 貸付金庫ノ施設及發達ニ關シテハ「貸付金庫主務管理廳」ニテ作成セラレシ年度報告ヲ參照スヘシ。

第十六條 帝國代表者ハ全事務ニ關シテソノ狀況ヲ知ルヲ要シ、又貸付許可ノ凡テノ申請ニ際シ之

ヲ拒絕スルノ權利ヲ有ス。事務指令ニヨリ定メラレタル範圍内ニ於テ、質入セラレタル有價證券ノ公定相場又ハ市價ニヨル割引ハ、理事ノ意見ヲ聽キ帝國代表者之ヲ定ムルノ權限ヲ有ス。

第十七條 貸付金庫ノ利息收益ハ管理費用ヲ控除セル後、總テ缺損ノ填補及ヒ貸付金庫證券償還ニ使用スヘシ。剩餘ハ總テ帝國金庫ニ歸ス。

第十八條 貸付金庫證券ハ五麻克、十麻克、二十麻克、及ヒ五十麻克ノ額ニテ發行ス。之ヨリ高キ額ノ貸付金庫證券ノ發行並ヒニ如何ナル額ノモノヲ使用スヘキカノ事情ニツキテハ帝國宰相之ヲ規定ス。

貸付金庫證券ハ帝國公債管理廳之ヲ發行シ、且ツ最高額ノ範圍内ニ於テ(第二條第三項)帝國宰相ノ命令ニ從ヒ、發行ニ對シ責任ヲ負擔スル貸付金庫主務管理廳ニ交付ス。貸付金庫證券ノ製造(一)及ヒ發行ニ關スル指揮監督ハ帝國公債委員會之ヲ爲ス。

(一) 毀損セル貸付金庫證券等ノ償還ニ關スル規定ハ本書八二頁參照。

(二) 帝國宰相ハ貸付金庫證券ノ流通額ヲ毎月一般ニ告知ス。

(三) 毎月官報ニヨル

第十九條 貸付金庫ヲ繼續スルノ必要ヲ見サルニ至リシ時、(一)帝國宰相ハ直チニソノ閉鎖ヲ命ジ、且ツ之ヲ公告ス。

平和克復後ハ此ノ法律ニ基キ發行セラレタル貸付金庫證券ハ、聯邦議會ノ定ムル細則ニヨリテ回收ス。



(三)戰後何年間繼續スヘキカノ見込ニツキ、帝國議會ニ於テ大藏大臣リヨウテルン氏ハ一九一七、二、二三、三「戰後數年」ト云ヒ、帝銀總裁ハーフェンスタイン氏ハ一九一七、三、二〇、伯林商業會議所ニ於テ「私ノ考テハ察スル所未ダ何年カ、少クトモ四年カ五年ハ」伯林商業會議所報告一九一七、度第三號七一頁以下ト云ヘリ。

第二十條 獨逸帝國刑法百四十六條乃至第四百九條、第五百一十一條、第五百五十二條、及ヒ第三百六十條第四號乃至第六號ノ規定ハ貸付金庫證券ニ付キ準用ス。

第二十一條 帝國銀行カ千九百十四年八月三日ヨリ貸付金庫設立ニ至ルマテノ期間中ニ許可シタル銀行法第十三條第三號ニ掲ケタルモノト異ル證券ニ對スル動産貸付ハ、追加シテ許可セラル。

第二十二條 本法ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

一二麻克及ビ一麻克ノ額ニ於ケル貸付金庫證券發行ニ關スル告示 一九一四、八、三一、(帝法公報三九三)

聯邦議會ハソノ經濟上應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ如ク議決セリ。

帝國公債管理廳ハ帝國宰相ノ定ムル規定ニ從ヒ、千九百十四年八月四日貸付金庫法(帝法公報三四〇)第十八條第一項ニ規定セラレタル貸付金庫證券ノ外、又二麻克及ヒ一麻克ノ金額ノ貸付金庫證券

發行ノ權限ヲ附與セラル。

貸付金庫證券ノ最高額ニ關スル告示

一九一四、一一、一一、(帝法公報四七五)

聯邦議會ハ千九百十四年八月四日貸付金庫法(帝法公報三四〇)第二條第三項ニヨリ附與セラレタル權限ニ基キ、以下ノ事項ヲ議決セリ。

發行セラル可キ貸付金庫證券發行最高額ヲ三十億麻克ニ定ム。

毀損又ハ使用ニ耐ヘサルニ至レル貸付金庫證券ノ兌換並ヒニ流通不能トナレル貸付金庫證券ノ棄却及ビ偽造

變造貸付金庫證券處分ニ關スル規定

一九一四、一二、三、聯邦議會議決(獨逸中央新聞六一六頁)

一 貸付金庫主務管理廳ハ、毀損又ハ使用ニ耐ヘサルニ至リシ貸付金庫證券ニ對シ、ソノ呈示セラレタル證券カ眞正ナルモノニ屬シ且ツ紙片ノ半以上存スル時ハ、帝國ノ計算ヲ以テ賠償ヲ爲スヘシ。他ノ場合ニ於テ、例外トシテ賠償ヲ給スルヲ得ルヤ否ヤハ、主務管理廳ノ義務上ノ裁量ニ委ヌ。

凡テノ帝國及聯邦金庫ハ、支拂ノ際提出セラレタル毀損又ハ使用ニ耐ヘサルニ至レル(貼附又ハ汚損セルモノヲ含ム)貸付金庫證券ハ、ソノ交換能力ニシテ前項ニ從ヒ疑ナキ時ハ之ヲ受理シ、更ニ再ヒ拂出ヲ爲ス可カラヌ。



此ノ如キ貸付金庫證券ハ、帝國本金庫ノ外帝國上級郵便金庫、普魯西王國一般國庫、普魯西王國政府又ハ縣本金庫、及ヒ他ノ聯邦中央金庫ニヨリ法定支拂資料又ハ貸付金庫證券ト交換セラル。貸付金庫證券ノ交換能力ニ關シ第一項ニ從ヒ疑アル時ハ、交付者ヲ貸付金庫主務管理廳ニ赴カシム。第三項ニ掲クル金庫ハソノ手ニ歸セル回收スヘキ證券ヲ、適當金額ニ於ケル交換能力審査ノ後、貸付金庫主務管理廳(伯林西南區一九)ニ送付スヘク、同廳ハ交換能力アル證券ニ對シ賠償ヲ給ス。

二 流通能力ヲ已ニ失ヘル貸付金庫證券ハ、帝國公債委員會ノ指揮監督ノ下ニ、帝國ノ費用ヲ以テ帝國銀行ニヨリ棄却セラル。

三 凡テノ帝國及ヒ聯邦金庫ハ、ソノ手ニ歸セル偽造又ハ變造セル貸付金庫證券(刑法第四百四十六條乃至百四十八條)ヲ留置スヘシ。ソノ手ニ歸セル真正ナル證券カ、金庫吏員ニヨリ直チニ認メラルル時ハ、金庫長ハ速ニ管轄裁判所又ハ警察官廳ニ申告シ、且ツ留置セル不真正證券ヲソノ手ニ歸セル添附書類貼紙等又ハ拂込ニ關シ爲サル可キ簡單ナル答辯ヲ附シテ提出スヘシ。

證券ノ不真正ナル事ニツキ疑アル時ハ、從來ノ所持人ニソノ事情ニ關スル證明ヲ與ヘタル後、貸付金庫主務管理廳(伯林西南區一九)ニ送付スヘシ。同廳ハソノ證券ヲ審査シ、且ツ

A 真正ナル場合ニハ、帝國ノ計算ニ於テ價格ヲ拂込人ニ交付スル爲メソノ送付金庫ニ送り、而シテソノ證券流通ニ適セサルモノナル時ハ之ヲ回收セシムヘシ。

B 不真正ナル場合ニハ、ソノ不真正證券ヲ送付金庫ニ返還シ、ソノ金庫ヲシテ三ノ第二項ノ規定ニ從ツテ處置ヲ取ラシム。

偽造及ヒ變造ノ爲メニ審査手續或ハ捜査手續ヲ開始スル毎ニ、直チニ貸付金庫主務管理廳ニ報告ヲ爲スヘシ。而シテソノ手續ニ何等ノ利益及ホササルニ至リシ時ハ不真正證券ヲ提出スヘシ。貸付金庫主務管理廳ハ手續ノ進行ニツキテモ亦了知シ、且ツソノ最後ノ結果ニツキテハ、訴訟記録及ヒ不真正證券ノ提示ト共ニ報告ヲ受ク可キモノトス。不真正證券ハ貸付金庫主務管理廳之ヲ保存ス。

四 聯邦官廳及ヒ聯邦金庫ト貸付金庫主務管理廳又ハ帝國銀行支店間ノ此ノ規定執行ノ爲ニスル郵送物ハ、帝國公務物トシテ郵税ナクシテ遞送ス。

『東部貸付金庫』設立ニ關スル命令 (コッノ)

(一)東部總司令官軍令及命令公報一九一六、八、五、第四十二號三六九頁。

第一條 設立目的及ヒ事務範圍。在ポーゼン「東部商工銀行」ハ東部商工銀行、東部貸付金庫ノ名稱ノ下ニ、事務所ヲコッノニ置キテ貸付金庫ヲ設立經營スルノ權限ヲ附與セラル。

ソノ目的ハ、ソノ業務區域内ニ於ケル信用ノ必要ヲ満足セシムルニアリ。貸付金庫證券ヲ留本位ニヨリソノ定款ニ從ツテ發行スルノ權利ヲ有ス。



ソノ業務區域ハ露西亞領スワルキ、コゾノ、ウイルナ、グロドノ、及ヒクルランド縣ノ占領部分ニシテ、ワルサウ府ニ屬セサル地方ニ及フ。必要ニ基ク支店ノ設置ハ之ヲ留保ス。

第二條 定款。前記區域内ニ於ケル東部貸付金庫ノ法律關係、及ヒソノ業務ノ種類、及ヒ範圍ニ對シテハ、千九百十六年四月十七日ニ認可セラレタル定款ヲ準據トス。

定款ノ變更ニハ東部總司令官ノ許可ヲ必要トス。

第三條 執務規則及ヒ業務約款。定款ハ後ニ變更セララルモ、均シク東部總司令官ノ許可ヲ必要トスル執務規則並ヒニ業務約款ニヨリ補充セララル。

業務約款ハ行爲ノ締結ニ先チ、各利害關係人ニ定款ト共ニ送達スヘキモノトス。

第四條 公告。定款、ソノ附款、又ハ變更並ヒニソノ他定款ニ從ヒ必要トセララル廣告ハ、東部總司令官軍令、及ヒ命令公報、コゾノ新聞、及ヒ獨逸帝國官報ニ公告スルヲ要ス。定款及ヒソノ變更規定ハ、命令中ニ他ノ期間カ特ニ定メラレサル限りハ、軍令及命令公報ニ公告シタル日ヨリ十四日後ニ効力ヲ生ス。此ノ命令及定款ノ公告ハ、又東部貸付金庫ノ費用ヲ以テ、東部總司令官ノ行政區域内ニ發行セララル。少クモ各一ノ獨逸、レツタイ、リタウ、波蘭、イツヂイ語ノ新聞紙上ニ掲載セララル範圍内ニ於テ之ヲ行フヲ要ス。

第五條 業務監督。貸付金庫ハソノ施設及ヒ業務經營ニツキ東部總司令官ノ監督ニ服ス。東部總司

令官ヨリ一般ニ或ハ各個ノ場合ニ、不都合ナル旨示サレタル行爲ハ之ヲ締結スルヲ許サス。

第六條 受理強制。東部貸付金庫ヨリ發行セラレ、ソノ留本位ニヨル將來ノ償還カ銀行ニヨリ保證セラルル貸付金庫證券(第九條)ハ、露國ノ本位ニヨル留ニ同價ニシテ、市金庫ヲ含ム凡テノ公ノ金庫並ヒニ私人ヨリ支拂トシテ受理セララルヘキモノナリ。

麻克債權ノ辨濟ニ際シテハ、貸付金庫證券ハ又露國ノ本位ニヨル留ト同様ニ支拂トシテ受理セララルヘキモノナリ。

第七條 手形業務。貸付金庫證券ヲ以テナス露國ノ本位ニヨル留ニ對スル有價手形業務、並ヒニ露國ノ本位ニヨル留ニ對スルソノ時ノ相場ト異ナル相場ニテ貸付金庫證券ヲ以テナス麻克ニ對スル手形業務ハ之ヲ禁ス。

違反行爲ハ千九百十五年十一月十一日命令——六、第五十二號——違反行爲ト同様ニ之ヲ罰ス。

第八條 貸付利息ノ支拂並ヒニ貸付ノ償還ハ留本位ニテ爲サルモノトス。之ニハ千九百十五年十一月十一日命令——六、第五十二號——ノ適用ナシ。

第九條 償還。定款第十一條ニ定メタル貸付金庫證券ノ償還ハ露國ノ本位留ニテ行ハル。

千九百十六年四月十七日 東部大本營東部總司令官 フォン、ヒンデンブルヒ



波蘭地方貸付金庫設立ニ關スル命令

(一九一六、一二、九、命令。「ワルソウ府命令公報」一九一六、一二、一三、第五十七號九五頁ニ掲載セラル。

第一條 ワルソウ府區域ニ對シ信用ノ必要ヲ満足セシムル目的ヲ以テ、「波蘭地方貸付金庫」(ポルスカ、クラヨワ、カサボチクスコワ)ノ名稱ヲ有シ、法人ノ性質アル事務所ヲワルソウニ置ク貸付金庫ヲ設立ス。ソノ事務ハワルソウ府行政長官ノ監督指導ノ下ニ、ワルソウ府ノ費用ヲ以テ經營セラル。貸付金庫ハソノ區域内ニ派出營業所ヲ設クルノ權利ヲ有ス。

貸付金庫ヲ埃太利匈牙利占領區域ニ擴張スルニハ、埃太利匈牙利國政府トノ協定ヲ必要トス。

第二條 地方貸付金庫ハ波蘭麻克ヲ以テ示サル貸付金庫證券ヲ、以下ノ規定ニ從ヒテ發行スルノ權限ヲ有ス。

第三條 地方貸付金庫證券ハワルソウ府ノ本位ニ關スル千九百十六年十二月九日命令ニ從ヒ、帝國一麻克ニ等シキ波蘭一麻克ノ價格アル法定支拂資料ナリ。特ニ一般及ヒ軍事行政ノ公ノ金庫ニヨリ、ソノ名價ヲ以テ支拂トシテ受理セラル。ソノ全額ハ十億波蘭麻克ヲ超過スヘカラス。

地方貸付金庫證券ノ分札ハ行政長官之ヲ確定ス。

第四條 地方貸付金庫ハ第六條及ヒ第八條ノ規定ニ從ヒ、充分ナル擔保ヲ供セラレサル貸付金庫證券ヲ發行スルヲ得ス。流通スル地方貸付金庫證券ノ全額ハ、常ニ斯カル擔保、又ハ一軒純分二千七百

八十四麻克ニ計算セラルル金、又ハ獨逸帝國鑄貨、帝國々庫證券、帝國銀行銀行券、或ハ獨逸貸付金庫證券ニヨリ、償還準備ヲナサルヲ要ス。發行ニ先立テ地方貸付金庫理事ハ、地方貸付金庫證券ノ詳細ナル記事ヲ公告スヘシ。

第五條 獨逸帝國ハ、地方貸付金庫證券ノ回收ニ際シ、(第十六條)ソノ名價ニ於テ、帝國麻克ヲ以テ償還セラルル旨ノ保證ヲ引受ク。

第六條 地方貸付金庫ハ次ノ行爲ヲ爲スノ權限ヲ有ス。

- 一 利息付消費貸借ヲ擔保ヲ取リテ爲スコト。
- 二 通常三人、少クトモ二人ノ支拂能力アリト知ラルル義務者カ、債務者トシテ責任ヲ負擔シ、且ツ行政長官ヨリ指定セラレタル銀行ヨリ割引ニ差出サレタル手形ノ割引ヲ爲スコト。業務指令ニ從ヒテ更ニ擔保ノ設定セラレタル場合ニハ、第三番者ノ署名ノ存スルヲ特ニ必要トセス。
- 三 帝國銀行又ハ他ノ行政長官ヨリ指定セラレシ銀行ニ對スル帳簿計算上ノ債權ヲ貸與スルコト。
- 四 波蘭麻克及ヒ帝國麻克ノ利息ヲ附スル又ハ利息ヲ附セサル貨幣ヲ預金業務ニテ受理スルコト、及ヒ處分スルヲ得ル貨幣ヲ獨逸大藏證券ニテ、或ハ帝國銀行、ソノ他行政長官ヨリ指定セラレタル波蘭及ヒ獨逸ノ銀行ニ据置クコト。
- 五 同金庫ニ行政長官又ハ軍隊監督ヨリ委任セラレタル範圍ニ於テ、ワルソウ府内ニ於ケル普通及



軍事行政ノ金庫事務ヲ取扱フコト。

第七條 貸付ハ最低百波蘭麻克ノ額ニ於テ普通六ヶ月ヲ超エサル期間ヲ以テノミ爲サル可キモノトス。

貸付ハ波蘭麻克ヲ以テ爲サル。ソノ償還ハ波蘭麻克又ハ獨逸帝國ノ本位ニテ行ハルヘキモノナリ。

第八條 擔保(第六條第一號)ハ左ノ場合ニ有效トス。

A 地方貸付金庫區域内ニ存スル腐敗ノ虞ナキ貨物、土地、鑛山、工業上ノ產出物ノ普通ハ評價ノ半額、例外トシテソノ三分ノ二マテノ額ノ質入。

B 行政長官カ有效ナル旨ヲ宣言セル有價證券ノ公定相場又ハ市價ニヨル割引ヲ以テスル質入。

C 露國々立銀行銀行券ノ公定相場又ハ市價ニヨル割引ヲ以テスル質入。

地方貸付金庫ハ之等ノ擔保ト共ニ他ノ擔保殊ニ保證ヲ要求スルコトヲ得。

第九條 質入ハ民事法典第二千七十三條以下ノ規定ニ從ヒ、同規定中ニ云フ「適當ノ私署證書」ニ代リ地方貸付金庫ノ特別ノ登記簿中ニ登記ヲ爲ス事ニヨリテ行ハル。

第十條 貸付ニシテソノ履行期ニ於テ辨濟セラレサル時ハ、地方貸付金庫ハソノ吏員又ハ宣誓セル取引所仲買人ノ手ニヨリ質物ヲ賣却シ、ソノ賣得金ヨリ辨濟ヲ得ルコトヲ得。地方貸付金庫ハ只公賣ニ方リ、最高價申込ノ方法ニヨリテノミ、自ラ質物ヲ取得スルコトヲ得。

此等ノ規定ハ債權ガ破産ニヨリテ履行期ニ到達スル時ニモ適用アリ。

第十一條 地方貸付金庫ノ業務經營ハ理事之ヲ爲ス。理事ハ一人ノ理事長及ヒ必要數ノ部員ヨル成ル。理事長、部員、及ヒ理事長又ハ部員ニ支障アリシ際ニ、各、加入スル必要數ノ代理人ハ、行政長官之ヲ指名ス。行政長官ハ又理事長ノ支障ニ際シ之ニ代ルヘキモノヲ定ム。理事長ノ傍ニ帝國宰相ヨリ指名セララルル一名ノ帝國代表者アリ。

地方貸付金庫ノ業務指令ハ行政長官帝國代表者トノ合意ヲ以テ之ヲ發ス。派出營業所ノ設立及ヒソノ業務指導並ヒニソノ理事ノ合同會合ニ關スル規定ハ業務指令ニ保留ス。

第十二條 帝國代表者ハ全業務ニツキ報告ヲ受クルコトヲ得。又貸付許可及ヒ手形割引ノ各申立ニツキ拒絶權ヲ有ス。擔保有價證券及ヒ銀行券(第八條第一項A及ヒB)ノ公定相場又ハ市價ニヨル割引ヲ業務指令ニテ定メラレタル範圍内ニテ定ムルノ權ハ、理事ノ意見ヲ聽キ帝國代表者之ヲ行フ。

帝國代表者ハ地方貸付金庫證券ノ發行ヲ管理ス。

第十三條 地方貸付金庫ノ信用授與ニ於ケル利率ハ、帝國代表者ノ許可ヲ得テ地方貸付金庫理事之ヲ確定シ、且ツ公告ス。

第十四條 授信ニ關シ根本問題起リシ時意見ヲ參酌スル爲メ、商工階級或ハ農業者ノ部員中ヨリ理事カ特別會ノ際ニ召集スルヲ得ル顧問會ハ、行政長官ニヨリ組織セララル。



第十五條 地方貸付金庫年度決算ニ生スル業務利得ノ九割ハ、積立ラルヘキ準備資金ニソノ額ガ一億波蘭麻克ニ達スルマテ繰込マル。

第十六條 地方貸付金庫ハ帝國宰相ノ指令ニ基キ、波蘭王國形式上設立ノ後遅クモ二年後ニ清算ス。清算ノ命令及ヒ地方貸付金庫證券ノ回收ヲ含ム施行ハ帝國代表者ニヨリテ行ハル。

ワルソウ府ニ於ケル民事行政ノ廢止ト共ニ、本令ニ從ヒテ行政長官ニ屬スル權限ハ帝國代表者ニ移ル。

清算終了並ニ地方貸付金庫證券回收ニ際シ生スル剰余ハ波蘭國ニ移讓ス。損失填補ニ供セラレサリシ準備資金ニツキテモ亦同シ。

第十七條 千九百三年三月二十二日刑法第四百二十七條乃至四百三十一條、第四百三十六條、第三百四十六條ノ規定ハ地方貸付金庫證券ニ對シ準用ス。

第十八條 本令ハ直チニ效力ヲ生ス。  
行政長官ハ波蘭地方貸付金庫ノ業務開始時期ヲ定ム。

### F 其ノ他ノ貨幣制度

貨幣法變更ニ關スル法律 一九一四、八、四、二

第一條 追ツテ規定ヲ爲スマテ、千九百九年六月一日貨幣法(帝法公報五〇七)第九條第二項第二段

及ヒ第三段ノ規定(三)ハ、金庫ニ代リ帝國大藏證券及ヒ帝國銀行銀行券ヲ交付スルヲ得ルモノト變更ス。

第二條 聯邦議會ハ本法第一條ニ掲クル規定ノ再ヒ效力ヲ生スル期日ヲ定ムル權限ヲ附與セラル。

第三條 本法ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

(一九一四、第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第七號、第一―第三讀會一九一四、八、四、(第二開期)帝法公

報三二六、

(二)補助貨幣金貨トノ兌換ハ停止セラル。

### 鐵製五片貨鑄造ニ關スル告示 一九一五、八、二六、(帝法公報五四一)

聯邦議會ハソノ經濟應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)

第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ハ千九百九年六月一日貨幣法(帝法公報五〇七)第八條ニ於テ白銅及銅貨鑄造ニツキ定メラレシ制限外(一)ニテ、鐵製五片貨ヲ五百萬麻克ノ額ニ達スルマテ製造セシムルノ權限ヲ附與セラル。ソノ他ニ於テハ此ノ貨幣ニ白銅五片貨ニ適用アル規定ヲ次ノ準則ヲ以テ準用ス。

A 鐵製五片貨ハ周圍ニ波凹ヲ附シタル輪形ニ鑄造ス。







十片及び五片鐵貨鑄造ニ關スル告示

一九一六、五、一一、(帝法公報三七九)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日(法律帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ハ千九百九年六月一日貨幣法(帝法公報五〇七)第八條ニ於テ白銅又ヒ銅貨鑄造ニ定ラレタル(一)制限外ニ於テ、鐵製十片及ヒ五片貨ヲ各五百萬麻克ノ額ニ達スルマテ更ニ製造セシムルノ權限ヲ附與セラル。

(二)人口一員ニ對シニ麻克半

第二條 此ノ鑄造ニ對シ千九百十五年十二月二十二日命令(帝法公報八四四)及ヒ千九百十五年八月二十六日命令(五四一)ノ規定ヲ、鑄造手數料ヲ十片鐵貨ニ對シテハ鑄造名價ノ三分五厘、五片鐵貨ニ對シテハ七分ニ定ムルノ準則ヲ以テ準用ス。此ノ鑄造手數料ハ前掲命令ニ基キテ製造セラルル貨幣ニ對シテモ適用アリ。

アルミニウム製一片貨鑄造ニ關スル告示

一九一六、一一、一三、(帝法公報一三〇一)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二二

七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ハ千九百九年六月一日貨幣法(帝法公報七〇七)第八條ニ於テ白銅及ヒ銅貨鑄造ニ定メラレシ制限(一)外ニ於テ、アルミニウム製一片貨ヲ二百萬麻克ノ額ニ達スルマテ製造セシムルノ權限ヲ附與セラル。ソノ他ニ於テハ此ノ貨幣ニ一片銅貨ニ適用アル規定ヲ、直徑十六耗ヲ有シ一軒ヨリ千二百五十枚ヲ鑄出スルノ準則ヲ以テ準用ス。

第二條 アルミニウム製一片貨、平和克復後二年ノ後ニ流通ヲ停止スヘキモノトス。之ニ關シテ必要ナル規定ハ聯邦議會之ヲ發ス。

(二)人口一員ニ對シニ麻克半

アルミニウム製五片貨鑄造ニ關スル告示

一九一七、一一、一五、(帝法公報一五六)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ハ千九百九年六月一日貨幣法(帝法公報五〇七)第八條ニ於テ白銅及ヒ銅貨鑄造ニ定メラレタル制限(一)外ニ於テ、回收セラル、五片白銅貨ノ填補トシテ、アルミニウム製五片貨ヲ二千萬麻克ノ額ニ達スルマテ鑄造セシムルノ權限ヲ附與セラル。ソノ他ニツキテハ此ノ貨幣ニ五片白銅貨



ニ適用アル規定ヲ次ノ準則ヲ以テ準用ス。

(一)人口一員ニツキ二麻克半

A アルミニウム一疋ヨリ五片貨千枚ヲ鑄出ス。

B 表面ニハ數字5ノ上ニ「獨逸國」ナル圈狀銘ヲ、數字ノ下ニハ水平ノ地位ニ「片」ナル語ヲ、ソノ下ニ年號ヲ有ス。

C 貨幣記號無シ。

D 各造幣廠ニ對スル鑄造ノ分配ハ、千八百八十八年十二月二十一日聯邦議會決議——議事録第六百七十四條——ニ定メラレタル分配標準ニ異リ、私設鑄造所ヲ加ヘテ行ハル。

第二條 五片アルミニウム貨ハ平和克復後流通ヲ停止ス。

之ニ關シテ必要ナル詳細規定ハ聯邦議會之ヲ發ス。

### 留<sup>ルツル</sup>ノ輸入及ビ通過輸送禁止ニ關スル告示

一九一七、三、一七、(帝法公報二三五)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 留<sup>ルツル</sup>ニテ示サル、貨幣(鑄貨、銀行券、信用證券)ノ輸入及通過輸送ヲ禁止ス。

第二條 第一條ノ規定ニ違反スル行爲ヲ企ツル者ハ一年以下ノ禁錮及ヒ處罰セラル、行爲ノ行ハレ

タル貨幣ノ二倍額以下ノ罰金ニ處ス。輕減スヘキ事情ノ存スル時ハ罰金刑ノミヲ宣告スルコトヲ得。換算ハ一留ヲ二、一六麻克ニ計算ス。

處罰セラル、行爲ノ行ハレタル貨幣ハ、ソノ貨幣カ行爲者又ハ干與者ニ屬スル時ハ、判決ニ於テ之ヲ沒取スヘシ。

第三條 第一條ノ禁止ハ占領シタル露國領土ヨリノ留<sup>ルツル</sup>ノ輸入及ヒ金留<sup>ルツル</sup>ノ輸入ニハ適用ナシ。帝國宰相ハ第一條ノ命令ニツキ更ニ例外ヲ許可スルノ權限ヲ附與セラル。

第四條 本令ハ千九百十七年三月十九日ヨリ效力ヲ生ス。帝國宰相之カ失效期日ヲ定ム。

### 十片亞鉛貨鑄造ニ關スル告示 一九一七、三、二二、(帝法公報二八二)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 帝國宰相ハ千九百九年六月一日貨幣法(帝法公報五〇七)第八條ニ於テ白銅及ヒ銅貨鑄造ニ定メラレタル制限(一)外ニ於テ、回收セラル、十片白銅貨ノ填補トシテ、十片亞鉛貨ヲ一十萬麻克ノ額ニ達スルマテ製造セシムルノ權限ヲ附與セラル。ソノ他ニツキテハ本貨幣ニ十片白銅貨ニ適用アル規定ヲ以下ノ準則ヲ以テ準用ス。

(二)人口一員ニツキ二麻克半



A 亞鉛一疋ヨリ三百十枚ノ十片貨ヲ鑄出ス。

B 表面ニハ數字10ノ上ニ「獨逸國」ナル圈狀銘ヲ、數字ノ下ニハ水平ノ地位ニ「片」ナル語ヲ、ソノ下ニ年號ヲ有ス。

C 貨幣記號無シ。

D 各造幣廠ニ對スル鑄造ノ分配ハ、千八百八十八年十二月二十一日聯邦議會決議——議事録第六百七十四條ニ定メラレタル分配標準ニ異リテ、私設鑄造所ヲ加ヘテ行ハル。

第二條 十片亞鉛貨ハ平和克復後流通ヲ停止スヘキモノトス。  
之ニ關シテ必要ナル詳細規定ハ聯邦議會之ヲ發ス。

告 示 一九一七、三、二六、(帝國官報第七三號)

千八百五十一年六月四日戒嚴ニ關スル法律ニ基キ、國境總司令官陸軍大將フォン・ケッセルハ、公安ノ爲ニ伯林市域及ヒブランデンブルグ州域ニ對シ以下ノ事項ヲ定ム。  
俘虜及ヒ波蘭勞働者ニ對シ金又ハ五、三或ハ二麻克貨幣ヲ以テ各種ノ支拂ヲ爲スコトヲ禁ス。之等ノ者ニ他ノ鑄貨ヲ以テ各種ノ支拂ヲ爲スコトハ、支拂カ紙幣ヲ以テ爲ス能ハサル場合ニノミ之ヲ許ス  
違反行爲ハ戒嚴ニ關スル法律第九條ニヨリ一年以下ノ禁錮、輕減スヘキ事情ノ存スル時ハ拘留又ハ千五百麻克以下ノ罰金ニ處ス。本令ハ直チニ效力ヲ生ス。

### 銀、白銅、銅、アルミニウム鑄貨輸出ニ關スル告示

一九一七、四、七、(帝國官報第八三號)

一、千九百十四年七月三十一日(一)武器、彈藥、火藥等ノ輸出通過輸送(二)戰時必要物件ノ製造及ヒ運輸ニ際シ使用ニ充テラレシ原料ノ輸出通過輸送禁止ニ關スル勅令(帝法公報二六五、二六七)第二條ニ基キテ次ノ事項ヲ公ニス。

白銅貨銅貨及ヒアルミニウム貨ノ輸出通過輸送ヲ禁止ス。

一人ニツキ合セテ二麻克ニ達スルマテ白銅、銅、アルミニウム貨ヲ外國ニ攜帶スルコトハ本禁止ノ例外トス。

二、千九百十六年三月十五日銀輸出通過輸送禁止ニ關スル告示(一九一六、三、一五、帝國官報第六四號)ハ一人ニツキ三麻克ノ額ニ達スルマテ外國ニ銀貨ヲ攜帶スルコトハ禁止ノ例外ナルモノト變更ス。

一九一七年四月五日 伯林ニテ 帝國宰相

### G 取引所取引

商品ノ取引所定期取引完結ニ關スル法律 一九一四、八、四、(一)

(一)一九一四年第十三立法期第二會期帝國議會議事録草案理由書第十二號、第一—第三讀會一九一四、八、四、(第二開期)、帝法公報三三六。



第一條、聯邦議會ハ取引所法(帝法公報一九〇八年二一五)第五十條第一項ニヨリ定期取引ヲ許サレタル商品ノ取引所定期取引、及ヒ取引所法第六十七條ニ掲ケタル種類ノ取引カ、獨逸取引所ノ取引條件ニ從ヒ、千九百十四年八月一日前ニ締結セラレ本法施行後ニ履行セラルヘキモノナル時ハ、命令ノ施行ト共ニ、契約當事者ノ一方カ自己ニ存スル權利ニヨリ解除シタルモノト看做ス旨ヲ命令スルコトヲ得。

第二條、ソノ取引所ノ取引條件ニ從ヒ(取引所法第五十條第二項第六十七條第一項)、取引カ締結セラレタル取引所ノ聯邦中央官廳ハ清算價格ヲ確定ス。

清算價格確定前ニ取引所理事ノ意見ヲ聞クヘシ<sup>(1)</sup>。

戰爭危險緊急狀態宣言前ノ市場狀況ハ清算價格確定ニ際シテ斟酌スヘシ。

第三條、合意セル價格カ清算價格ヨリ低キ時ハ、買主ハ賣主ヨリ、モシ高キ時ハ賣主ハ買主ヨリ、差額ヲ請求スルコトヲ得。聯邦議會命令ヲ以テソノ債權ノ履行期ヲ定ムヘシ。

第四條、取引所定期取引ニシテ、取引所理事カ取引所法第五十一條第一項第三段ニ從ヒ之ヲ取引所施設ノ利用ヨリ排除スル命令ヲ發布ヲ延期セルモノニハ、前掲規定ヲ準用ス。

(1)清算價格ハ伯林ニ於テハ千九百十四年八月二十七日ニ確定セラタリ、(伯林商業會議所報告)第十號三〇八頁參照)

第五條、聯邦議會ハ第一條ニ掲ケタル命令ヲ、一般ニ或ハ各個貨物種類ニツキ、又ハ各箇ノ取引所ニ對シ、發スルコトヲ得。

第六條、本法ハ公布ト共ニ效力ヲ生ス。

### 商品ノ取引所定期取引完結ニ關スル告示

一九一四、八、二四、(帝法公報三八一)

千九百十四年八月四日取引所行爲ニヨル商品定期取引完結ニ關スル法律(帝法公報三三六)第一條、第三條、第四條、及ヒ第五條ニ基キ聯邦議會ハ次ノ規則ヲ定メタリ。

第一條、銅、錫、砂糖、木綿、珈琲ノ取引所定期取引並ヒニ取引所法(帝法公報二一五、千九百八年)第六十七條ニ掲ケタル種類ノ穀類及ヒ穀粉ノ取引カ、獨逸取引所ノ取引條件ニ從ヒ、千九百十四年八月一日前ニ締結セラレ同年八月四日後ニ至リ履行セラルヘキモノナル時ハ、本令施行ト共ニ契約當事者ノ一方カ自己ニ屬スル權利ニヨリテ解除シタルモノト看做スヘキモノトス。漢堡取引所理事カソノ取引所施設利用ヨリ排除スル命令ヲ發布ヲ取引所法第五十一條第一項第三段ニヨリテ延期セル合疏護謨ノ取引所定期取引ニ關シテモ同様トス。

本令施行マテニ契約當事者ニヨリ適法ニ履行セラレタル取引ハ、本令ニヨリ影響ヲ受クルコトナシ。

第二條、千九百十四年八月四日法律(帝法公報三三六)第三條ニ從ツテ生スル債權ノ履行期ハ以下ノ如クニ定ム。

一、銅及ヒ錫ノ取引所定期取引ニシテ、ソノ引渡時期ノ合意カ



A 千九百十四年八月ナル時ハ千九百十四年九月一日ニ

千九百十四年九月ナル時ハ同年九月三十一日ニ

同 十月ナル時ハ同 十月三十日ニ

B 凡テソノ後ノ月ナル時ハ千九百十四年十一月三十日ニ。

B ニツキテハ千九百十四年十月三十日ヨリ引渡ノ合意アリタル月ノ最終日ニ至ルマテノ期間

ニ對シテハ、六分ノ年利率ヲ以テ中間利息ヲ控除スルノ準則ニヨル。

二、砂糖ノ取引所定期取引ニシテ、ソノ引渡時期ノ合意カ

A 千九百十四年八月及ヒ九月ナル時ハ千九百十四年九月一日ニ

千九百十四年十月ナル時ハ同年十月一日ニ

千九百十四年十一月ナル時ハ同月一日ニ

B 凡テソノ後ノ月ナル時ハ千九百十四年十一月十五日ニ

B ニツキテハ千九百十四年十一月十五日ヨリ引渡ノ合意アリタル月ノ朔日ニ至ルマテノ期間

ニ對シテハ六分ノ年利率ヲ以テ中間利息ヲ控除スルノ準則ニヨル。

三、珈琲及ヒ合硫護謨ノ取引所定期取引ニ關スル時ハ引渡ノ合意アリタル月ノ朔日ニ。

四、木綿及ヒ取引所法第六十七條ニ掲ケタル種類ノ穀物及ヒ穀粉ノ取引所定期取引ニ關スル時ハ、

九月三十日以後ニ履行セララルヘキ取引ニツキ、千九百十四年九月十五日ヨリ引渡ノ合意アリタル月ノ朔日ニ至ルマテノ期間ニ對シ、六分ノ年利率ヲ以テ中間利息ヲ控除スルノ準則ニヨリ千九百十四年九月十五日ニ定ム。

第三條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ生ス。

### 英國ニ於テ捺印セル有價證券ノ取引禁止ニ關スル告示

一九一四、九、一九、(帝法公法四七七)

聯邦議會ハソノ經濟的應急施設處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日(法律帝法公報

三二七) 第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 英國ノ印ヲ附セラレタル帝國又ハ聯邦ノ債務證書ノ賣買契約ハ之ヲ禁止ス。カ、ル契約ノ仲介ニツキテモ同様ナリ。

償還又ハ利息支拂カ帝國又ハ聯邦ニヨリ擔保セララル、債務證書ハ、帝國又ハ聯邦ノ債務證書ト同様トス。

第二條 有價證券カ第一條ニ掲クルモノニ屬スルモノナルコトヲ知り、又ハソノ事情ニ從ヘハ斯ク想像セサル可カラサル有價證券ヲ、賣却、購入或ハソノ賣買契約ヲ仲介セント企ツルモノ、又ハ買入、賣却ヲ求メ或ハ申出ツルモノハ、一年以下ノ禁錮ト共ニ五千麻克以下ノ罰金ニ處ス。輕減スヘキ事情



ノ存スル時ハ單ニ罰金刑ノミヲ宣告スルコトヲ得。

有價證券カ第一條ニ掲クルモノニ屬スルモノナルコトヲ知り、又ハソノ事情ニ從ヘハ斯ク想像セサル可カラサル有價證券ヲ、賣買契約ノ履行又ハ問屋行爲ノ完結ニ際シ引渡シ受取ル者モ亦同様ニ之ヲ罰ス。

第三條 本令ハ第一條ニ掲クル債務證書ニシテ千九百十四年七月三十一日以來繼續シテ内國ニ在リシモノニハ適用セス。

帝國宰相ハ本令規定ヲ更ニ他ノ有價證券ニモ適用スル旨宣言スルヲ得。

第四條、本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。第二條ノミハ千九百十四年十一月二十五日ヨリ效力ヲ生ス。失効ノ期日ハ帝國宰相之ヲ定ム。

### 有價證券ノ擔保提供ニ關スル告示

一九一四、一二、二二、(帝法公報五四一)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 民法第二百三十四條、第二百三十六條、又ハ強制競賣及ヒ強制管理ニ關スル法律第六十九條ノ規定ノ適用アル擔保提供ニ對シテハ、戰爭開始前ニ公定相場價格ヲ有セル有價證券ハ現今モ相場

價格アル有價證券ト看做ス。

民法第二百三十四條第二百三十六條ノ規定ニ從フ可キ時ハ、擔保ハ千九百十四年七月二十五日ノ公定相場價格ノ四分ノ三ノ額ヲ以テ提供スルコトヲ得。

強制競賣及ヒ強制管理ニ關スル法律第六十九條ノ規定ニ從フヘキ時ハ、擔保ハ千九百十四年七月二十五日ノ相場價格金額ヲ以テ提供スルコトヲ得。裁判所ハ申立ニヨリ自由裁量ヲ以テ、擔保提供ヲ只ソレヨリ低キ額ニ於テノミ許スヘキモノト宣言スルコトヲ得。

千九百十四年七月二十五日ニ或ル有價證券ニ對シテ取引所ニ於テ相場表ニ値段附ケセラレサリシ時ハ、ソノ前最近ニ附ケラレタル相場之ニ代フ。

第二條 第一條ノ規定ハ帝國カ戰爭ノ爲メニ發行スルニ至リシ債務證書ニモ準用ス。發行價額ヲ以テ千九百十四年七月二十五日ノ相場ニ代フ。

第三條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

### 有價證券ソノ他ノ價額通知禁止ニ關スル告示

一九一五、二、二五、(帝法公報一一一)

聯邦議會ハソノ經濟的應急處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報三二七)第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。



第一條 獨逸取引所ニ於テ取引所行爲ヲ爲スコトヲ許サレタル有價證券ニ對シ、現戰役ノ爲ニ取引所價額ノ公的確定ノ行ハレサル間ニハ、公ノ廣告又ハ多數人ノ社會ニ向ツテ爲サル、通知ニ於テ、有價證券賣上ハ如何ナル價額ニテ行ハル、ヤニ關スル數字の報告、殊ニ有價證券カ最近如何ナル價額ニテ取引サレタルカニツキテ標準タリ得ル數字の報告ヲ爲スコトヲ許サス。尙ホ價額變更ニ關スル數字的報告ニツキテモ同様トス。

又公ノ廣告又ハ多數人ノ社會ニ對シテ爲サル、通知ニ於テ、第一項ニ掲ケタル種類ノ報告ヲ發表スル事ヲ禁ス。帝國宰相ハ例外ヲ許可スルコトヲ得。

第二條 第一條ノ規定ハ外國貨幣、外國銀行券並ヒニ外國宛手形、小切手及ヒ支拂證書ニモ適用ス。

第三條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ違反スル行爲ヲ爲ス者ハ千麻克以下ノ罰金又ハ拘留又ハ六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス。

第四條 本令ハ千九百十五年三月一日ヨリ效力ヲ生ス。帝國宰相之カ失効期日ヲ定ム。

### 有價證券ソノ他ノ價額通知禁止ニ關スル告示

一九一五、二、二五、(帝法公報一一二)

千九百十五年二月二十五日有價證券其他ノ價格通知禁止ニ關スル告示第一條第三項ニ基キ、(帝法公報一一一)次ノ事項ヲ定ム。

有價證券、貨幣銀行券、手形、小切手、及ヒ支拂證券ニ對スル外國取引所相場ニ關スル廣告又ハ通知ハ追ツテ規定ヲ爲スマテ之ヲ許可ス。

帝國宰相代理

(一) 柏林取引所ニ於テハ一九一四年七、三一、取引所理事決議ニヨリ相場ノ確定中止セラレ。取引所職權ニヨリ再開ハ今日マデニナシ。(外國爲替取引ニ關スル例外、本書一〇頁參照)。

(二) 一九一六年一、二二、告示(帝法公報五四)參照、本書一五頁。

### 有價證券ソノ他ノ價額通知禁止ニ關スル告示

一九一五、三、一九、(帝法公報一五四)

千九百十五年二月二十五日有價證券其他ノ價額通知禁止ニ關スル告示(帝法公報一一一)第一條第三項ニ基キ次ノ事項ヲ定ム。

同告示第一條第一項ニ掲ケタル種類ノ外國貨幣、銀行券、並ヒニ外國宛手形、小切手、支拂證書ニ關スル數字上ノ報告ハ銀行業及ヒ金錢兩替業ヲ營業トシテ行フ者ノ間ニ於テハ、追ツテ規定スルマテ之ヲ許可ス。

帝國宰相代理

### 英國捺印ノ有價證券ノ取引禁止ニ關スル命令補足ニ關

スル告示 一九一五、一、四、(帝法公報七三一)

聯邦議會ハソノ經濟的應急施設處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律(帝法公報



三二七) 第三條ニ基キ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 千九百十四年十一月十九日英國ニテ捺印セラレタル有價證券ノ取引禁止ニ關スル命令(帝法公報四七七) 第三條ニ次ノ第三項ヲ加フ。

帝國宰相ハ本令規定ノ例外ヲ許可スルヲ得。

第二條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

取引所取引ヲ許サレタル有價證券ノ相場確定ニ關スル

法律 一九一六、一一、九、(一)

(一) 一九一四—一六年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第四三三號。一九一六、一〇、二七、第一讀會(六八開期) 委員會報告第四百七十號。一六、一一、三、第二及第三讀會(七三開期)。帝法公報一二六九。

第一條 聯邦議會ハ財産稅及ヒ戰時稅ノ稅率算定ノ爲メ、取引所取引ヲ許可セラレタル有價證券ノ相場ヲ千九百十六年十二月三十一日ニ定ムルコトヲ得。此ノ相場ハ取引所相場ニ代ル(財産稅法第三十四條)。

第二條 帝國宰相ハ豫メ假ニ(一)取引所理事ノ意見ヲ聽キテ相場ヲ定メ、此ノ假相場ヲ公告スルノ權限ヲ有ス。聯邦議會ノ定ムル決定の確定力假定ト相異アレハ、ソノ相異ヲ遅クモ千九百十七年一月十五日迄ニ公告スヘキモノトス。  
(二) 次ノ告示參照

課稅相場表ニ關スル告示(一) 一九一七、一、四、(帝國官報第三號)

千九百十六年十一月九日取引所行爲ヲ許可セラレタル有價證券ノ相場確定ニ關スル法律(帝法公報一二六九) 第二條ニ從ヒ、取引所理事ノ意見ヲ聽取シテ財産稅戰時稅率算定ノ爲メ、假ニ(一)千九百十六年十二月三十一日ニ定メタル獨逸取引所(二)ニ於テ取引ヲ許サレタル有價證券ノ相場ヲ公布スルコト下ノ如シ。(三)

千九百十七年一月二日柏林ニ於テ 帝國宰相

(三) 前記帝國官報第三號ノ第五課稅相場附款中ニアリ。

(四) 決定の相場並ヒニ外國ノ本位ニヨル有價證券換算率ハ一九一七、一、一五聯邦議會決議ニヨリ確定セラレタリ(帝國官報一九一七、一一、一五第十二號)。

(五) 全國十八ヶ所ノ取引所ニ於テ、即チ、柏林、アウクスブルヒ、フレイメン、プレスラウ、ケルン、ドレイス、デン、デニッセル、ドルフ、エッセン、フランクフルト、アム、マイン、漢堡、ハノーウエル、ケヨーニッヒスベルヒ、ライプツヒ、マンハイム、ミンヘン、ステツチン、ストウットガルト、ツウツクカウ。

外國有價證券印紙義務ニ關スル告示

一九一六、一二、一四、(帝法公報一三八七)

本書二二頁參照

獨逸海運會社株式又ハ其他ノ營業持分對外讓渡ニ關スル告示 一九一六、一二、二三、(帝法公報一四二九)



聯邦議會ハソノ經濟的應急施設處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律（帝法公報三二七）第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 獨逸海運會社ノ株式又ハソノ他ノ營業持分ヲ、全部或ハ一部獨逸臣民ヨリ外國人ニ、又ハ獨逸帝國內ニ住所ヲ有セス或ハ永寓セサル獨逸臣民ニ讓渡スル法律行爲ハ之ヲ禁止ス。

獨逸臣民ノ所有スル前記種類ノ株式又ハ營業持分ヲ、外國人又ハ獨逸帝國內ニ住所ヲ有セス或ハ永寓セサル獨逸臣民ノ計算ニ於テ取得スル法律行爲ニ關シテモ、亦同様ナリ。

事務所ヲ外國ニ有スル會社又ハ資本ノ大部分カ外國人ニ屬スル會社ハ前規定ニ云フ外國人ニ同シ。

第二條 此ノ命令ニ違反スル行爲ハ、他ノ刑罰法規ニヨリ更ニ重キ刑ヲ科セラレサル限り、三年以下ノ禁錮及ヒ五萬麻克以下ノ罰金又ハソノ一ニ處ス。違反行爲アレハ獨逸臣民ハ外國ニ於テ之ヲ犯セル時ト雖モ亦訴追ス。

未遂ハ之ヲ罰ス。

第三條 帝國宰相ハ第一條禁止ノ例外ヲ許可スルヲ得。

第四條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。帝國宰相失効期日及ヒソノ範圍ヲ定ム。

分割債務證書及ヒ優先株發行ニ對スル聯邦認許ニ關スル告示 一九一七、三、八（帝法公報二二〇）

聯邦議會ハソノ經濟的應急施設處分ヲ爲スノ權限等ヲ定ムル千九百十四年八月四日法律（帝法公報三二七）第三條ニ基キテ次ノ命令ヲ發セリ。

第一條 ソノ額面價格カ、引受タル債務ノ全額ニ對スル關係ニ從ヒ債權者ニ本質上同等ノ權利ヲ與フル、內國ニテ發行セラレ金錢ニテ示サル、一定ノ額面價格アル分割債務證書ハ、追ッテ規定ヲ爲スマテ聯邦ノ許可ヲ以テノミ之ヲ發行スルコトヲ得。無記名式債務證書ニ關シテハ現行法規定ニ留ム內國會社ハ追ッテ規定ヲ爲スマテ、他ノ株ニ優先シテ豫メ定マレル最高限ノ確定セル利益配當請求權ヲ附與スル如キ株式ヲ發行スルニハ、聯邦ノ許可ヲ以テノミ爲スコトヲ得。

第二條 許可ハ債務證書ノ發行者カ住所ヲ有シ、又ハソノ營業所ヲ有シ、或ハソノ會社ノ事務所ヲ有スル聯邦ノ中央官廳之ヲ與フ。

債務證書又ハ株式ノ效力ハ許可ノ欠缺ニヨリテ妨ケラル、コト無シ。

第三條 第一條ノ規定ニ違反シテ債務證書或ハ株式ヲ聯邦ノ許可ヲ得スシテ發行シ、又ハ許可ノ際ニ賦課セラルル負擔ニ違反スルモノハ、聯邦ノ許可ナクシテ發行セラレ又ハ負擔ニ違反セル行爲アリシ債務證書又ハ株式ノ額面價格ノ五分ノ一ニ等シキ罰金ニ處ス。罰金ハ少クトモ千麻克トス。

第四條 本令ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。帝國宰相之カ失効期日ヲ定ム。

## 五 關稅及ビ租稅



### 猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ノ期日前納付ニ對スル割引率引下ニ關スル告示

一九一四、一二、三一、(帝法公報一、千九百十五年)

猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ノ即時納付ニ關スル千九百十四年八月一日告示ニ從ヒ、今日マテ與ヘラレタル六分二厘五毛ノ割引ニ代ヘテ、千九百十五年一月十日以後追ツテ規定ヲ爲スマテ、猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ノ即時現金納付ノ際ニハ、相續稅、土地增價稅、國防分擔金及ヒ一年以上猶豫セラレタル利益配當證書及ヒ利札ノ帝國印紙稅ヲ除キ、納付日ヨリ猶豫期日ノ經過ニ至ルマテノ期間ニ對シ、五分二厘五毛ノ割引ヲ與フ。又即時現金支拂ニ代ヘテ戰時手形ヲ交付セラレ、而シテ此ノ手形カ帝國大藏省(帝國本金庫)ヨリ更ニ裏書交付セラレサル以前ニ、稅關又ハ稅務署ニテ償還セララル場合ニハ、同様ノ額ニテ割引ヲ與フ。

### 猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ニ關スル告示

一九一五、三、一五、(帝法公報一五五)

千九百十四年八月一日猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ノ即時納付ニ關スル告示ノ規定、及ヒ千九百十四年十二月三十一日猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ノ即時納付ニ對スル割引率引下ニ關スル告示ノ規定ハ之ヲ廢ス。

猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ヲ即時納付無キ時ハ、所謂戰時手形ノ發行及ヒ引渡ノ請求權ハ直チニ消滅ス。猶豫セラレタル關稅及ヒ國稅ノ期限前納付ニ對スル割引(五分二厘五毛)ハ、千九百十五年三月三十一日ニ至ルマテハ之ヲ附與ス。此ノ期日以後ハ再ヒ未タ履行期ニ到達セサル火酒稅戻稅證券、火酒稅計算債權證券、及砂糖稅戻稅額ハ、猶豫セラレタル稅額ニ對シ相殺計算ヲ行フコトヲ得。

### 戰時利得課稅準備處分ニ關スル法律 一九一五、一二、二四、(一)

(一九一四—一五年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第四百九號、所謂「擔保法」一九一五、一一、三〇、第一讀會(二二期開期)、一九一五、一二、二〇、第三讀會(二四開期)帝法公報八三七。一施行規定ハ一九一六年帝國官報第二七頁。

第一條 獨逸帝國內ニ事務所ヲ有スル株式會社、株式合資會社、法人ノ權利ヲ有スル鑛山組合、及ヒ其他ノ鑛業經營ヲ爲ス合同、有限責任會社、登記セル組合ハ、戰時營業年度ニ於テ得タル増益(第四條)ノ五割ヲ、設置セラルヘキ特別積立金ニ繰入ルル義務ヲ有ス。

此ノ法律施行ノ際、已ニ經過セル營業年度ノ利益ヲ分配セル時ハ、此ノ年ノ任意ノ繰越金ヲ、増益ノ五割ノ額ニ至ルマテ、特別積立金ニ繰入ル可シ。任意繰越ヲ爲サス或ハソガ此ノ金額ニ達セサル時ハ、増益ノ五割ノ金額或ハソノ不足額ヲ、將來ノ戰時營業年度増益中ヨリ各々豫メ之ヲ取リテ特別積立金ニ繰入ル可ク、尙ホ之ト共ニ殘額増益金ノ半額ハ之ヲ特別積立金ニ繰入ル可キモノトス。福利ノ爲ニスル積立金ハ此ノ規定ニ云フ任意ノ繰越金ト看做サス。



第二項ノ場合ニ於テ、全然公益ノ爲メニ定メラレソノ目的ノ爲メニ繼續使用サルル事ノ確實ナル利益額ハ、本法施行ノ際ニ已ニ經過セル戰時營業年度ノ營業利益ヨリ削除スルヲ許ス。

第二條 本法ニ云フ戰時營業年度トハ、第一營業年度カ千九百十四年八月ヲ含ミ、又ハソノ後ニ設立セラレタル會社ニアリテハ、ソノ當時已ニ設立ヒラレアリシナランニハ之ヲ含ミタリシナルヘキ、相連續スル三ケノ營業年度ヲ稱ス。

第三條 本法ニ云フ營業利益トハ、一營業年度ニ於テ得タル、法律ノ規定及ヒ正規ノ商業簿記原則ニ從ヒテ計算セラレタル貸借對照表上ノ利益ヲ云フ。控除ハ、ソノモノニシテ價格減少ノ適當ナル決算ヲ示ス限リハ、之ヲ參酌スヘキモノトス。

第四條 本法ニ云フ増益トハ、平均前年營業利益ト當該戰時營業年度ニ於テ得タル利益トノ差額ヲ云フ。

差額ハ千麻克以下ノ端數ハ之ヲ切捨ツ。五千麻克以下ノ額ハ之ヲ問ハス。

第五條 平均前年營業利益(第四條)ハ、戰時營業年度ニ先立ツ五營業年度ノ成績ニ從ヒ、又ハ會社成立後未タ五ケ年ヲ經過セサル時ハ、年度決算ノアリシ五ケ年ヨリ短キ期間ノ成績ニ從ツテ計算スヘキモノトス。會社ノ存立已ニ五ケ年ニ及ヘル時ハ、平均利益ノ計算ニ對シテハ最良ノ營業成績及ヒ最不良ノ營業成績ノ營業年度ハ之ヲ除外スヘキモノトス。

戰時營業年度ニ先立ツ五營業年度内ニ拂込本資本ノ増加アリシ時ハ、新拂込ニヨリテ事實上會社ニ流入セル資本額ノ五分ヲ増加前ノ期間ニ對スル營業利益ニ加算ス

少クモ拂込本資本ノ五分ハ前年平均利益ト看做ス。又優先株ニ對スル高率ノ確定優先配當分ノ分配ニ必要ナリシナル可キ増額ヲモ加フ。鑛山勞働者組合又ハ鑛業經營合同ノ本資本ハ、債務引受ニヨリ支辨セラレタル費用ヲ差引キ、取得價格、創業費用、及ヒ擴張費用ヨリ計上スヘキモノトス。登記セル組合ニアリテハ組合員ノ拂込營業持分全額ヲ資本額ニ代フ。

第三項ニ規定スル額ハ、戰時營業年度前ニ完全ナル一營業年度ノ存セサル時ハ、最低額ノ標準トナス。然レトモ此ノ場合ニハ額面ニ價額ヲ超過スル價額ニテ發行セラレタル株式又ハ持分ニ對シテハ、會社ニソノ株式又ハ持分ノ拂込トシテ事實上流入セル資本額ノ五分ヲ計算ス。

戰時營業年度中ニ會社ノ拂込本資本増加セル時ハ、増加後ノ期間ニ對シテハ、平均前年營業利益ニ、新拂込ニヨリ會社ニ事實上流入セル資本額ノ年五分ノ額ヲ加算ス。

第六條 外國ニ事務所ヲ有シ而モ内國ニ於テ營業經營ヲ維持スル第一條ニ掲クル種類ノ會社モ、同様ニ特別積立金設置ノ義務ヲ有ス。此ノ義務ハ内國營業經營上生スル増益ニ限ル。聯邦所得稅々率算定ノ際課稅スヘキ全所得中、内國營業經營上生スル部分ノ分別ニツキ標準タリシ原則ハ、又増益中内國營業經營上生スル部分ノ計算ノ際ニ適用ス。所得稅ヲ課セサル場合ニハ聯邦政府ハ之ニ應スル規定



ヲ發スヘキモノトス。

本法ニ定メタル義務ノ執行ハ内地派出營業所々長ノ任務トス。

第七條 聯邦議會ノ議決ニヨリ專ラ公益上ノ目的ヲ有スル内國會社ハ特別積立金設置ノ義務ヲ免セラル。

第八條 特別積立金ハ會社ノ自由處分ニ供スルヲ得ス、他ノ財産ヨリ分離シテ管理シ、獨逸帝國或ハ聯邦ノ債務證書ヲ以テ設置スヘキモノトス。外國會社ニアリテモソノ保管及ヒ管理ハ内國ニ於テ行ハル。

帝國宰相ハ第一項規定ノ例外ヲ許可スルヲ得。

特別積立金ノ利息ハ他ノ收入ニ歸ス。

戰時營業年度ノ營業利益カ平均前年營業利益(第五條)ヨリ少キ時ハ、特別積立金カ經過セル戰時營業年度ノ全成績ニ於テ得タル増益ノ半額ヲ超過スル額ニツキ、特別積立金ヨリ引去ル權利ヲ有ス。

特別積立金ハ會社解散ノ際ニモ、戰時利益ノ課税ニ關スル將來ノ法律カソノ處分ニツキ規定ヲ爲スマテ、清算人ノ自由處分ヲ爲スヲ許サス。

第九條 義務ヲ負擔スル會社(第一條)ノ理事部員、無限責任社員、代表者、業務執行者、清算人、外國會社ニアリテハ内國派出營業所々長(第六條)ニシテ、特別積立金ノ設置及ヒ管理ニ關スル本法規

定ニ故意又ハ過失ニヨリ違反スル行爲ヲ爲シ、以テ戰時利得税徵收ヲ危クスル者ハ三萬麻克以下ノ罰金ニ處ス。

前記ノ者ハソノ責ニ歸ス可キ行爲ニヨリ、本法ニ定メタル義務不履行ノ結果國庫ニ生セシメタル損害ニツキ責ヲ負フ。損害ニ對シ多數ノ者責ニ任スル場合ニハ連帶債務者トシテ責ヲ負フ。

第十條 聯邦議會ハ本法規定ヲ第一條ニ掲ケタル法人以外ノモノニモ擴張スル權限ヲ有ス。

尚ホ聯邦議會ハ施行規定ヲ發布シ又違反行爲ヲ千五百麻克以下ノ罰金ニ處スル權限ヲ有ス。

第十一條 本法ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ有ス。

### 帝國銀行戰時税ニ關スル法律

一九一五、一二、二四、(帝法公法八四〇)

本書三頁參照

### 戰時税法 一九一六、六、二一、(一)

(一) 原案ハ「戰時利得税法」ノ表題ヲ有セシカ、帝國議會委員會ヨリ「戰時税法」ト變更セラレタリ。一九一四年—一六年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第二二三號。一九一六、三、二二、及ヒ二二、第一讀會(三五及ヒ三六開期)。帝國議會議事錄委員會報告第三三〇號、一九一六、五、三一、及ヒ九二、第二讀會(五六及ヒ五七開期)。一九一六、六、五、第三讀會(五九開期)帝法公報五六一。一九一六、一一、三〇、施行規定ハ一九一六年帝國中央新聞四六一頁。一九一六、一二、一、普國施行規定、一九一七年大藏省報第一號三頁。



## 個人ノ納稅義務

1110

第一條 千九百十三年七月三日財産税法(帝法公報五二四)第十一條ニ掲ケタル人ニシテ、其ノ財産ヲ千九百十六年十二月三十一日ニ於テ賦課期間當初ノ状態ニ對シテ増加アリシモノ、(第二條)又ハ少クトモ一割ノ減額ヲ爲ササリシモノハ、帝國ニ對シテ特別戰時稅ヲ納付スヘシ。

(一) 財産稅及ヒ戰時稅々率決定ノ爲ニ確定セラレタル取引所相場ニ關シテハ本書一九〇頁參照

第二條 本法ニ云フ納稅義務アル財産増加トハ、本法第三條乃至第七條ニ規定スル相異ハ之ヲ留保シ、財産税法ノ規定ニ從ヒ確定セラルル財産増加ヲ稱ス。

第三條 財産税法ノ規定ニ從ヒ、千九百十六年十二月三十一日ニ確定セラルル財産中ヨリ以下ノモノヲ除外ス。

(一) 證明上明カニ賦課期間内ニ、相續財産ノ歸屬ニヨリ、封、家族世襲財産、世襲地ノ歸屬ニヨリ、遺贈ノ結果又ハ他ノ方法ニヨリ死亡者ノ遺産ヨリ死因處分ニヨリ取得セル財産額。遺産又ハ遺贈ノ拒絶ニ對スル濟済モ亦遺産ヨリノ取得ト看做ス。

(二) 國防分擔金賦課ノ際ニ確定セラレ又ハ賦課期間ノ當初ニ確定セラルヘキ、當該保險ノ資本價格ヲ控除セル後、證明上明カニ賦課期間内ニ行ハレタル保險ニ基ク拂渡資本額。

(三) 證明上明ニ、賦課期間内ニ贈與又ハソノ他ノ相當反對給付無クシテ受ケタル出捐ニヨリテ(財

産讓渡)取得セル財産額ニシテ、各出捐額少クトモ一千麻克ノモノニ關シ、ソノ出捐ニ對シ法律上ノ請求權存在セサル時。

(四) 證明上明ニ、外國基本財産及ヒ營業財産又ハ其他ノ稅率算定期間ノ當初ニ納稅義務者ノ不課稅財産ニ屬スル物件ノ讓渡ヨリ生スル財産額。賦課期間内ニ内國ニ移サレタル外國基本財産資本及ヒ營業財産ニ屬スル物件ニツキテモ同様トス。

第一項第一號ニヨル控除ハ、モシ被相續人ニシテソノ死亡ノ當時租稅賦課セラル可カリシナラハ、被相續人ノ納稅義務アル財産増加トナリシナルヘキ遺産額中ノ當該ノ部分ニ對シテハ、ソノ適用ヲ除外ス。

第四條 財産税法ノ規定ニ從ヒ千九百十六年十二月三十一日ニ確定セラルル財産ニ、納稅義務者カ賦課期間内ニ贈與又ハソノ他ノ出捐(第三條第三號)ニ使用セル額ヲ加算ス。身分相應ノ生計及ヒ受遺者ノ教育ノ目的ヲ以テスル繼續出捐、受遺者ノ法律上ノ請求權ニ基キテ爲サレタル出捐、恩給、及ヒ法律上ノ義務ナクシテ以前ノ使用人及ヒ奴婢ニ與フル之ニ類似スル出捐、普通ノ隨時贈與物、寺院寄附、慈惠又ハ公益ノ目的ノ爲ニスル出捐、及ヒ租稅節減ノ意思存スト認ム可カラサル千麻克以下ノ價格ノ出捐ハ加算ヨリ控除ス。

受遺者ハ納稅義務アル財産増加中自己ニ歸セル部分ニ課セラルル納稅額ニ對シ責任ヲ有ス。納稅義



務者ハ受遺者ヨリ此ノ納税額ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得。

第五條 財産税法ノ規定ニ從ヒ千九百十六年十二月三十一日ニ確定セララルル財産ニ、更ニ賦課期間内ニ外國基本財産或ハ營業財産(財産税法第五條)中ニ投資セル額、並ヒニ賦課期間内ニ貴金屬物件、寶石、眞珠、美術品、裝飾品、奢侈品並ヒニ各種ノ蒐集ノ取得ノ爲メニ費サレタル額ニシテ、各物件ノ購買價格カ五百麻克以上又多數同種或ハ結合物件ノ購買價格千馬克以上ニ上ル時ニハソノ額ヲ加算ス。

第四條ノ場合ノ外、加算ハ第一項ニ掲ケタル物件カ賦課期間終了ノ際ナホ納税義務者ノ占有ニ存スル場合ニノミ之ヲ爲ス。投資カ外國基本財産又ハ營業財産ニ對シ行ハレタル時ハ、證明上明カニ生セル著シキ價格減少ノ額ニツキ加算ヲ減ス。

第一項ノ規定ハ現在生存シ又ハ千九百九年一月一日以後ニ死亡セル獨逸人タル並ヒニ獨逸帝國内ニ居住スル美術家ノ美術品取得ニハ適用セス。

第六條(一)賦課期間終了時ニ於ケル財産狀態確定ノ際ニハ、納税義務者カ千九百十四年八月一日以後ニ至リ取得セル土地ハ、取得費ヨリ低價ニ見積ル事ヲ得ス。此ノ價格ヨリ損壞ニヨリ生シタル價格減少ヲ控除ス。

(一)本條ニ對シ更ニ第二項第三項一九一六、一二、一七、法律(帝法公報一四〇七)ニヨリテ附加セララル、本書一三八頁參照

第七條 千麻克以下ノ端數切捨(財産税法第二十八條第三項)ハ、本法第三條乃至第五條ニヨル控除及ヒ加算ヲ參酌シテ之ヲ行フ。

第八條 増加税ハ本法ニ從ツテ確定セララルル財産増加カ三千麻克ノ額ヲ超過シ、且ツ千九百十六年十二月三十一日ニ於テソノ財産全額カ一萬麻克ヲ超過スル時ニノミ之ヲ徵收ス。

千九百十六年十二月三十一日ニ於テ財産カ五萬麻克以上ニ上ラサル時ハ、第一項ニヨリ納税義務アル財産増加ハ、只ソノ増加カ一萬麻克ノ財産額ヲ超過スル時ニノミ課税ヲ受ク。

第九條 納税額次ノ如シ。

(一) 財産増加中

|          |                 |      |
|----------|-----------------|------|
| 財産増加ノ最初ノ | 一〇、〇〇〇麻克ニ對シテハ   | 五分   |
| 同 次ノ滿    | 一〇、〇〇〇同マテ同      | 一割   |
| 財産増加ノ次ノ滿 | 一〇、〇〇〇麻克マテニ對シテハ | 一割五分 |
| 同        | 二〇、〇〇〇          | 二割   |
| 同        | 五〇、〇〇〇          | 二割五分 |
| 同        | 一〇、〇〇〇          | 三割   |
| 同        | 二〇、〇〇〇          | 三割五分 |
| 同        | 三〇、〇〇〇          | 四割   |
| 同        | 三〇、〇〇〇          | 四割五分 |
| 同        | 三〇、〇〇〇          | 一一三  |



ソレ以上ノ額ニ對シテハ

同

(二) 財産税法ニ從ヒ千九百十六年十二月三十一日ニ確定セララルル財産ニシテ、賦課期間ノ當初ニ確定セラレシ財産ノ九割ヲ超過シ、且ツ財産ニモ又第一號ニヨル課税ニモ服セサルモノニツキテハソノ一分。

二萬麻克ヲ超過セサル財産ハ第二號ノ課税ヲ免ス。十麻克以下ノ納税額ハ之ヲ徴收セス。

第十條 内國有限責任會社ノ社員タル納税義務若ニツキテハ、ソノ會社ノ納税義務アル増益中、ソノ者ノ之ニ干與スル程度ニ相應スル金額ニ於ケル財産増加ニ比例シテ課セラルル納税額(第九條第一號)ノ半額ハ、之ヲ徴收セス。然レトモ徴收セラレサル納税額ハ會社納税ノ比例額ヨリモ大ナルヲ許サス。

第一項ハ次ノ者ニノミ適用アリ。

- (一) 本資本額ノ少クトモ半ノ營業持分ヲ有スル會社員、並ヒニ互ニ夫婦、直系親族、兄弟姉妹、又ハ兄弟姉妹ノ相續者タル關係ニ立チテ相合シテ資本ノ少クトモ半ヲ有スル會社員、但シ之等場合ニ於テハ戰時營業年度ノ全期間中、會社ノ拂込資本カ三十萬麻克ヲ超過セサルモノナル事ヲ要ス。
- (二) 千九百十四年八月一日以前ニ會社ノ業務執行人又ハ業務代理人ニ任セラレ、最後ノ戰時營業年度ノ終結マテ、ソノ地位ヨリ老耄又ハ疾病ニヨラザレハ除カレサル會社員、並ヒニカカル者ノ夫

又ハ相續人タル會社員ニシテ、各場合ニ單獨ニ又ハ相合シテ資本ノ少クトモ半ノ營業持分ヲ有スルモノ。

第十一條 封、家族世襲財産、世襲地ノ持主ハ、封、家族世襲財産、世襲地ノ財産増加ニヨリテ課セラルル租税額ヲ、此ノ財産ヨリ除去シ、且ツ此ノ目的ノ爲ニソノ財産ヲ獨立ニ處分スルノ權利ヲ有ス。監督官應存スル時ハソノ處分ニ對スル許可ヲ必要トス。

第十二條 本法ニ從ヒテ負擔スル租税納付ノ義務ハ、納税義務者カ千九百十七年一月一日前ニソノ内國住所又ハ永寓ヲ廢スルモ消滅セス。

内國住所又ハ永寓ノ廢止カ財産税法ニ從ヒテ納税義務ノ消滅ヲ伴フ時ハ、特別税ニ服スル財産増加ハ、租税賦課期間ハ千九百十六年十二月三十一日ニ代ヘ、内國住所又ハ永寓廢止ノ時ニ終結スルノ標準ヲ以テ定ムヘキモノトス。

納税義務者ハソノ住所又ハ永寓ヲ外國ニ移轉スル前ニ、義務アル租税ニ對シ擔保ヲ提供スルヲ要ス。税務官應擔保額ヲ定メ、而シテ此ノ額ヲ公課徴收ニ對シ適用アル規定ニ從ヒ取立ツルノ權限ヲ有ス。納税義務者カ他ノ方法、殊ニ財産ヲ外國ニ移ス事ニヨリ、租税ノ徴收ヲ危フスルモノト當然認ムヘキ事實存スル時モ亦同様トス。

外國ニ滞在スル納税義務者カ、租税申告ヲ適當ノ時期ニ爲ササルカ爲ニ、特別税ノ賦課ヲ困難ナラ



シメ又ハ無益ナラシムル時ハ、ソノ者ノ内國ニアル財産ハ差押ニ付セラル。

第三項及ヒ第四項ノ意義ニ於テ獨逸保護領域ハ内國ト看做ス。

會社納稅義務(一)

(一)帝國銀行戰時稅ニツキテハ一九一五、二、二四、特別法參照、本書三一四頁

第十三條 内國株式會社、株式合資會社、法人ノ權利ヲ有スル鑛山組合及ヒ鑛業經營合同、有限責任會社、登記セル組合ハ第十四條乃至第十八條ニ從ヒ、確定セラルル増益ニツキ特別戰時稅ヲ納付スルノ義務ヲ負フ。

第十四條 増益(第十三條)トハ平均前年營業利益(第十六條十七條)ト、當該戰時營業年度(第十五條)ニ得タル營業利益(第十六條)トノ差額ヲ云フ。

差額ハ千麻克以下ノ端數ニツキテハ之ヲ切捨ツルモノトス。五千麻克以下ノ金額ハ之ヲ問ハス。

戰時營業年度ノ營業利益カ平均前年營業利益ヨリ少キ時ハ、減益ハ他ノ戰時營業年度ノ營業利益ヲ以テ填補スルコトヲ得。

第十五條 戰時營業年度(第十四條)トハ、第一營業年度カ千九百十四年八月ヲ含ミ、又ソノ後ニ設立セラレタル會社ニアリテハ、當時已ニ設立セラレアリシナランニハ之ヲ含ミタリシナルヘキ、相連續スルノ營業年度ヲ云フ。

第十六條 營業利益(第十四條十七條)トハ一營業年度内ニ、法規及ヒ正規商業簿記ノ原則ニ從ヒ計算セラルル貸借對照表上ノ利益ナリトス。控除ソノモノカ價格減少ノ適當ナル決算ヲ示ス限リ之ヲ參酌ス。

株式合資會社ニアリテハ、無限責任社員カ本資本外ニ爲セル投資ヨリ生スル利益額ハ項目外ナリトス。

第十七條 平均前年營業利益(第十四條)ハ戰時營業年度ニ先立ツ五營業年度ノ成績ニヨリ、又モシ會社ノ存立未タ斯カル長期ニ達セサル時ハ、年度決算ノ行ハレタル之ヨリ短期々間ノ成績ニ從ヒテ計算ス。會社已ニ五ヶ年存續セル時ハ、平均利益計算ニ對シテハ最良及ヒ最不良ノ營業成績ノ兩營業年度ハ除外スヘキモノトス。

戰時營業年度ニ先立ツ五營業年度内ニ拂込本資本ノ増加アリシ時ハ、増加前ノ期間ニ對スル營業利益ニ新拂込ニヨリテ事實上會社ニ流入セル資本額ノ年六分ノ額ヲ加算ス。

拂込本資本ノ少クトモ六分ノ額、並ヒニ優先株ニ對スル高率ノ確實ナル優先配當分配ノ爲メ必要ナリシナルヘカリシ増加額ヲ前年ノ平均利益ト看做ス。鑛山組合及ヒ鑛業經營合同ノ本資本ハ、債務引受ニヨリ支辨シタル費用ヲ除キ、取得價格、創業費、及ヒ擴張費ヨリ計算ス。登記セル組合ニアリテハ組合員ノ拂込營業持分額ヲ資本ニ代フ。



第三項ニ規定セル額ハ戰時營業年度前ニ完全ナル一營業年度ナキ時ト雖モ、最少額ノ標準トス。然レトモ此ノ場合ニ於テモ、額面價額以上ノ價格ニテ發行セラレタル株式又ハ持分ニ對シテハ、株式又ハ持分ノ拂込トシテ事實上會社ニ流入セル資本額ノ六分ヲ算定ス。

會社ノ拂込本資本カ戰時營業年度中ニ増加セル時ハ、増加後ノ期間ニ對シテハ平均前年營業利益ニ新拂込ニヨリテ會社ニ事實上流入セル資本額ノ六分ノ額ヲ加算ス。

第十八條 他ノ第十三條ニ掲ケタル種類ノ會社ノ總株式又ハ持分ノ五分ノ一以上ヲ有スル會社ハ、戰時營業年度ノ營業利益ヨリ、ソノ株式又ハ持分ヨリ生スル増收ヲ削除スルコトヲ得。

増收トハ他ノ會社(子會社)ヨリ第十七條第一項ニ從フ當該年度ノ平均ヲ超過シテ分配セラルル分前額、又若シソノ會社ニシテ戰時營業年度前ニ一營業年度存立セサリシ時ハ、五分ノ配當分又ハ利得ヲ超過シテ一營業年度内ニ配當分又ハ利得トシテ分配セラレタル分前額ヲ云フ。

第十九條 納稅額ハ內國會社ニ對シテハ左ノ如シ。

年度平均ノ増益カ、拂込本資本ニ第一戰時營業年度ノ當初ニ證明セラレタル實在ノ準備現金額ヲ加ヘタルモノノ二分ヲ超過セサル時ハ  
増益カ二分以上、五分ヲ超過セサル時ハ  
同 五分同 一割同  
同 一割同 一割五分同

同 一割五分ヲ超過スル時 同 三割

第一項ニ從ヒテ確定セラルル納稅額ハ左ノ如ク増加ス。

戰時營業年度ノ平均營業利益カ拂込本資本ノ第一戰時營業年度ノ當初ニ證明セラレタル實在ノ準備現金額ヲ加ヘタルモノ。  
八分以上 一割ヲ超過セサル時 ソノ額ノ一割  
一割同 一割五分同 同 二割  
一割五分同 二割同 同 三割  
二割同 二割五分同 同 四割  
二割五分ヲ超過スル時 同 五割

會社ノ拂込本資本カ戰時營業年度中増加セル時ハ、會社カ變更セル本資本ヲ以テ存續セル期間ヲ含ム本資本ノ平均額ヲ納稅額算定ノ標準トス。

納付スヘキ納稅額ハ、前記稅率表中後段ノモノヲ適用スルトキ生スヘキ金額ニ、法條ノ適用ヲ生セシ増益額ヲ加ヘタルモノヲ超過スルコトナキモノトス。

租稅ハ第二十一條ノ規定適用ノ際ニ算定セラルヘキ納稅額ヲ超過スル限リハ之ヲ徵收セス。

第二十條 第十三條ニ掲ケタル種類ノソノ事務所ヲ外國ニ有シ而モ內國ニ於テ業務經營ヲ維持スル會社(外國會社)ハ、內國經營上生スル増益ニツキ租稅ヲ納付スルヲ要ス。聯邦所得稅々率算定ノ際課



税セラル可キ全所得中、内國經營上生スル部分ノ分別ニ對シ標準タリシ原則ハ、又増益中内國經營上生スル部分ノ賦課ノ際ニモ適用ス。所得税ノ課セラレサル場合ニハ聯邦政府ハ之ニ應スル規定ヲ發布スヘシ。

第二十一條 納税額ハ外國會社ニ對シテハ年度平均ノ増益ガ

|             |        |
|-------------|--------|
| 二〇、〇〇〇麻克以下  | 増益ノ一割  |
| 二〇、〇〇〇同ヲ超ヘ  | 同 一割二分 |
| 四〇、〇〇〇同     | 同 一割四分 |
| 六〇、〇〇〇同     | 同 一割六分 |
| 八〇、〇〇〇同     | 同 一割八分 |
| 一〇〇、〇〇〇同    | 同 二割   |
| 一〇〇、〇〇〇同    | 同 二割二分 |
| 一二〇、〇〇〇麻克以上 | 同 二割四分 |
| 一四〇、〇〇〇同    | 同 二割六分 |
| 一六〇、〇〇〇同    | 同 二割八分 |
| 一八〇、〇〇〇同    | 同 三割   |
| 二〇〇、〇〇〇同    | 同 四割   |
| 二五〇、〇〇〇同    | 同 四割五分 |
| 五〇〇、〇〇〇同    | 同 四割五分 |

第十九條第四項ハ適用ナシ。

第二十二條 租税ハ専ラ公益ノ目的ノ爲ニ定メラレ、且ツ此ノ目的ノ爲ニ繼續シテ使用セララルコトノ確實ナル利益額ニ課セラルヘキモノニ限り、會社ヨリ之ヲ徴收セス。第一段ノ要件ノ存スルヤ否ヤハ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ行政官廳之ヲ決定ス。

尙ホ租税ハ千九百十五年十二月二十四日戰時利得課税準備處分ニ關スル法律ノ規定ニ從ヒテ設置セラル可キ特別積立金額ヲ超過スル限リハ之ヲ徴收セス。

第二項ハ、特別積立金設置ノ際、千九百十五年十二月二十四日法律第三條第二段ニ從ヒ、戰時營業年度ノ營業利益ノ一部ト看做サル可カリシ控除カ參酌セラレサリシ限リハ、適用セス。

第二十三條 租税ハ聯邦議會カ千九百十五年十二月二十四日法律ノ規定ノ擴張ヲ及ホセル他ノ法人モ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ、納付スヘキモノトス。

第二十四條 帝國宰相ハ帝國及ヒ獨逸以外ノ國ニヨル二重徴税ヲ避クル爲メ、聯邦議會ノ同意ヲ以テ、納税義務アル増益確定ニ關スル法規ト異ナル命令ヲ發スルコトヲ得。

總 則

第二十五條 戰時税ノ賦課及ヒ徴收ハ財産税ノ賦課及徴收管轄官廳之ヲ行フ。

本法異ナル規定ヲ爲ササル限リハ、財産税ノ賦課及徴收ニ關スル財産税法ノ規定ハ同様ニ戰時税ノ賦課ニモ適用アリ。



聯邦議會ハ聯邦君主戰時稅ノ賦課及ヒ徵收管轄官廳ヲ定ム。

第二十六條 財産稅申告義務者ノ外、ソノ財産カ千九百十四年一月一日ヨリ千九百十六年十二月三十一日マテニ三千麻克以上ノ増加アリテ、少クトモ一萬一千麻克ノ額ニ達セル者ハ、租稅申告ヲ爲スヲ要ス。戰時稅々率算定ノ目的ノ爲ニスル租稅申告ハ、財産稅申告ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得。租稅申告ハ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ、非常戰時稅ニ服スル財産増加確定ニ必要ナル申立ヲ含マサル可カラス。義務アル會社(第十三條)ノ理事、無限責任社員、代表者、業務執行員、清算人、外國會社(第二十条)ニアリテハ内國派出營業所々長並ヒニ聯邦議會ノ義務アリト宣言セル法人(第二十三條)ノ代表者ハ、稅務官廳ニ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ、納稅義務アル増益確定ニ必要ナル申立ヲ含ム戰時稅申告ヲ爲ス可シ。

第二十七條 租稅々率算定ハ第十二條ノ場合ニ於テ先立チテ行フコト能ハサル時ハ、個人ニツキテハ財産稅賦課ト同時ニ行ハル。

第二十八條 會社(第十三條、第二十條)及ヒ他ノ法人(第二十三條)ノ戰時稅ハ、最初ノ二戰時營業年度ノ總成績ニヨリ假ニ之ヲ定メ、全戰時營業年度ノ總成績ニヨリ之ヲ終局ノニ確定ス。

假リニ定メタル租稅納付後ハ、千九百十五年十二月二十四日法律規定ニ從ヒテ設置セラレタル特別積立金中ノ支拂ニ供セラレサリシ部分ハ義務者ノ自由處分ニ屬ス。

第二十九條 負擔納稅額ハ納稅義務者ニ賦課官廳ヨリ決定報告ニヨリ通知セララル。決定報告ハ異議主張ノ手段ノ許サル旨ヲ知ラシメ、又決定期間内ニ租稅ヲ納付スヘキ旨ノ命令ヲ含ム。

納稅義務者ニハ請求租稅ノ計算根據ヲ告ケ、又租稅申告ト異ナル點ヲ示スヘシ。

決定報告カ只稅額假定ヲ含ムノミナル時ハ、ソノ中ニ後ニ爲サル終局確定アルコトヲ示スヘシ。

第三十條 終局決定報告ニ對シテ、財産稅決定ニ對スルト同様ノ異議申立ヲ許サル。假決定モ亦異議申立管轄官廳ノ判定ニ從フ。

第三十一條 個人戰時稅ハ、決定報告送達後三ヶ月内ニソノ三分ノ一ヲ納付スヘキモノトス。第二回ノ三分ノ一ハ千九百十七年十一月一日マテニ、最後ノ三分ノ一ハ千九百十八年三月一日マテニ納付スヘキモノトス。

會社其他ノ法人ノ假定戰時稅ハ、假決定送達後三ヶ月内ニ、税金殘額ハ終局決定送達後三ヶ月内ニ納付スヘキモノトス。終局確定納稅額カ假定納稅額ヨリ低キ時ハ(第二十八條第一項)、過剩徵收額ハ納稅義務者ニ返還スヘキモノトス。

千九百十七年七月一日ヨリ、ソノ時マテニ納付セラレサル納稅額ニハ年五分ノ利子ヲ附ス。

納稅義務者ハ未タ賦課セラレサル租稅ノ先納ヲ爲スノ權ヲ有ス。先納額ヨリ納付當日ヨリ千九百十七年七月一日ニ至ルマテ、又ハ之ヨリ以前ノ法定滿期ニ至ルマテノ年五分ノ利息ヲ、納稅義務者ノ請



求アリシ時ハ、ソノ利益ニ加算スヘキモノトス。

確定力アル決定ニ基キ返還セラル可キ金額ニハ、年五分ノ利息ヲ附ス。

第三十二條 租税納付ノ際ニ獨逸帝國五分利付公債、債務簿記入債權、軍事公債大藏證券(ハ)ノ額面價額ヲ以テ、

(一)戰時稅納付ノ爲メニスル公債等ノ提出ニツキテハ一九一七、二、二八、普國大藏大臣指令參照(一九一七、三、八、帝國官報)戰時公債(中間證券)ノ受理ニツキテハ一九一七、三、三、帝國宰相告示(帝國中央新聞九一頁)及ヒ一九一七、三、一九、帝國宰相告示(帝國中央新聞一〇四頁)參照

又此ノ四分五厘利付軍事公債大藏證券(ハ)帝國宰相ノ確定シ且ツ公告スヘキ相場ヲ以テ支拂ニ代ヘテ受理セラル

(一)一九一七、三、一三、帝國宰相告示(帝國中央新聞一〇三頁)ニヨリ四分五厘利付第六回軍事公債大藏證券ノ額面額ヲ以テ處理セラル。

(二)公債、及ヒ軍事公債大藏證券受理事務所表ハ一九一七年帝國中央新聞七頁參照、——一五一七、一、三、帝國宰相告示ハ帝國銀行ヲ受理事務所ト定ム。

第三十三條 納稅義務者又ハ納稅義務者ノ代理人トシテ、稅務官廳ニ知リテ稅額ノ低下ヲ來サシムルカ如キ性質ノ不實又ハ不充分ノ申立ヲ爲スモノハ、ソノ危フスル納稅額ノ五倍額以下ノ罰金ニ處ス。

第三十四條 第三十三條ノ場合ニ、モシ不實又ハ不充分ノ申立カ稅額ヲ遁脫スルノ目的ヲ以テ爲サレ、而シテ不實又ハ不充分ノ申立ニヨリ危クセラレタル納稅額カ少クトモ五百麻克ヲ算スル時、又ハ

納稅義務者或ハ納稅義務者代理人カ、ソノ財產ヲ稅務署ニ秘スル目的ヲ以テ内國ヨリ外國ニ移セル時ハ、罰金ト共ニ一年以下ノ禁錮、又ハ禁錮刑ト共ニ公民名譽權喪失ヲ宣告スルコトヲ得。

第一項ニ掲ケタル種類ノ租稅侵害ノ際ニハ、判決中ニ處罰ヲ敗訴者ノ費用ヲ以テ公告スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得。

第一項ニ掲ケタル種類ノ租稅侵害ノ存スル嫌疑アル時ハ、稅務官廳ハソノ事實ヲ檢事局ニ告クヘシ。納稅義務者缺席ノ時ハ(刑事訴訟法第三百十八條)、之ニ對シ刑事訴訟法第三百二十條乃至三百二十六條ニ從ヒ審理スルコトヲ得。檢事局カ通告アリシ事件ニツキノ嫌疑充分ノ根據ナシト認メシ時ハ、檢事局ハ行政處罰手續ニ於テ更ニ完結センカ爲メソノ事件ヲ行政官廳ニ通告スルコトヲ得。

第三十五條 財產稅法第七十八條乃至第八十三條ノ規定ハ之ヲ準用ス。

第三十六條 聯邦議會ハ收斂苛酷ヲ避クル爲メ、納稅義務者ノ申立ニヨリ各個ノ臨時ノ財產歸屬ヲ納稅ヨリ免シ、或ハ財產増加又ハ増益ノ異ナル算定ヲ許可スル事ヲ得。

終 結 規 定

第三十七條 聯邦諸國ハ租稅ノ賦課及徵收ニ對シ、ソノ總收入ノ五厘ノ補償ヲ受ク。

第三十八條 戰時稅ニヨル收入ハ千九百十六年會計年度ニ對スル帝國歲計豫算(通常豫算收入第十七節B)上、他ノ收入ノ款項不足填補ニ必要ナラサル限り、專ラ帝國債務ノ減却ニ使用スヘシ。







|          |          |   |     |      |
|----------|----------|---|-----|------|
| 一五、五〇〇同  | 一八、五〇〇同  | 同 | 八割  | 四割五分 |
| 一八、五〇〇同  | 二一、五〇〇同  | 同 | 九割  | 五割   |
| 二一、五〇〇同  | 二四、五〇〇同  | 同 | 九割  | 五割五分 |
| 二四、五〇〇同  | 二七、五〇〇同  | 同 | 十割  | 六割   |
| 二七、五〇〇同  | 三〇、五〇〇同  | 同 | 十一割 | 六割五分 |
| 三〇、五〇〇同  | 四八、〇〇〇同  | 同 | 十二割 | 七割   |
| 四八、〇〇〇同  | 六〇、〇〇〇同  | 同 | 十三割 | 七割五分 |
| 六〇、〇〇〇同  | 七〇、〇〇〇同  | 同 | 十四割 | 八割   |
| 七〇、〇〇〇同  | 八〇、〇〇〇同  | 同 | 十四割 | 八割五分 |
| 八〇、〇〇〇同  | 九〇、〇〇〇同  | 同 | 十五割 | 九割   |
| 九〇、〇〇〇同  | 一〇〇、〇〇〇同 | 同 | 十五割 | 九割五分 |
| 一〇〇、〇〇〇同 |          | 同 | 十六割 | 十割   |

一三八

補充税ニツキテハ納税額ノ五割

第二條 千九百十八年四月一日ニ於テ尙ホ戰爭繼續シ、ソノ當時マテ所得税及ヒ補充税附加税徴收ニ關スル新法成立セサル時ハ、本法ノ效力ハ更ニ一會計年度之ヲ延長ス。

第三條 第一條ニ從フ附加税徴收ノ繼續スル間ハ、各會計年度末ニ所得税及ヒ補充税總收入ヨリ一億麻克ノ金額ヲ取リテ、千九百十四年會計年度及ヒ其ノ後ノ會計年度ノ不足額填補ニ使用スヘキモノトス。

戰時税法補充ニ關スル法律 一九一六、一二、一七、二〇

(一九一四、一六) 第十三次立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第五一五號。一九一六、一二、一、第一—第三讀會(第七八開期)。帝法公報一四〇七。

一ヶ條 千九百十六年六月二十一日戰時税法(帝法公報五六二)第六條ニ次ノ第二項及ヒ第三項ヲ附加ス。

尙ホ賦課期間中ニ契約セル生命、一時金、年金保險ニ基ク未タ履行期到來セサル請求權ハ、年々ノ保險料拂込千麻克ノ額ヲ、又一回ノ一時金支拂三千麻克ヲ超ユル場合ニハ拂込保險料全額又ハ一時金全額ヲ以テ評價スヘキモノトス。

千九百十六年十二月三十一日以前ノ租税先納額ハ、千九百十六年十二月三十一日ニ確定セラル、財産ニ加ハル。

千九百十六年度帝國銀行追加戰時税ニ關スル法律 一九一七、三、二七、(帝法公報二八五)

本書九頁參照

旅客貨物交通課税ニ關スル法律 一九一七、四、八、二〇

(一九一四、一七) 第十三次立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第六三一號。一九一七、二、二三、ヨリ三、二、第一讀會(第八一—八六開期)委員會議報告第七〇九號(帝國歲計委員會)。一九一七、三、二七、二八、第二讀會(九三、九四開期)、一七、三、二



第一條 鐵道及ヒ水路旅客貨物運輸ハ本法ニ從ヒ帝國々庫ニ流入スル課税ニ服ス。

旅客及ヒ貨物ノ陸路運輸ハ、ソノ運輸カ動力ヲ以テ一定ノ線上ヲ規則正ク運輸スル公ノ交通ニ役立ツ企業ニヨリ經營セラル、限リ、此ノ課税ニ服ス。

限ラレタル地域内ノ交通モ亦陸路運輸ト認ム。

郵便書狀、小包運輸、及ヒ鐵道運輸ヲ除ク運輸ハ此ノ法律ニ服セス。

第二條 課税ニ服スル運輸次ノ如シ。

A 帝國領域内ノ旅客及ヒ貨物運輸。

B 獨逸バルチック海港、及ヒ北海々港、並ヒニ萊茵海港間ノ船舶旅客及貨物運輸。尙ホ公海航行

ニ於ケル旅客運輸、ソノ航海カ他ノ地ニ寄港セスシテ内國發航港ニ歸港スル時ト雖モ亦然リ。

C ルアーツルヨリドメスネス岬ニ至ル運河、北海及ヒバルト海内國諸港及ヒ丁抹諸港ヲ除ク外

國大陸諸港間ノ船舶貨物輸送。

第一項ニ屬セサル海上交通ハ、内國港ヨリ海境ニ至ル運輸距離ノ如何ニ拘ラス此ノ法律ニ服ス。隣港

間ノ海上貨物運送契約履行ノ爲メニ行ハルル船舶運輸モ亦同様トス。

ポーデン湖上ノ運輸ハ本法ニ云フ帝國領域内ノ運輸ト認メス。

第三條 以下ノモノハ租税ヲ免除セラル。

(一) 勞働者、學生、軍人交通タル旅客運輸、及ヒ軍事行李運送ニ於ケル行李運輸ニシテ、上記交通ノ際割引價格ニテソノ發送カ行ハルル時。

(二) 自己ノ運輸企業ノ目的ニ使用セラル、貨物運輸。

(三) 貨物ガ直接又ハ間接ニ外國ヨリ獨逸北海又ハバルト海諸港ノ一ニ到達シ、或ハ外國ニ宛テ、之等諸港ノ一ヲ通シ發送セラル、限リハ之等諸港間ノ海上貨物運輸。聯邦議會ハ租税免除ニ關スル細則ヲ定ム。聯邦議會ハ特ニソノ該輸入港主要取引物件ト宣言セル貨物ニツキテハ、外國ヨリ輸入アリシノ證明ハ已ニ爲サレタルモノト定ムルコトヲ得。

(四) 容積一〇〇立方米突又ハ積載量五〇噸以下ノ動力ニヨラスシテ運輸セラル、船舶ヲ以テスル貨物運輸。

(五) 一港區域内又ハ一場所ノ水上貨物運輸。聯邦議會ハ此ノ規定ニ云フ一港區域又ハ一場所ノ如何ナルモノヲ稱スルカヲ定ム。

(六) 漁獵中ニ獲得セル產出物ノ陸上場ニ向フ運輸。及公ノ行政經營上ノ浚濬物水上運輸。

(七) 治水行政經營上ノ工事及ヒ經營材料ノ水上運輸。

(八) 鐵道交通上ノ黒炭、褐炭、コークス、及ヒ各種塑炭ノ運輸。



聯邦議會ハ市街急行鐵道ニヨル旅客運輸ニシテ、ソノ建設費一籽ニ對シ平均二百麻克ヲ超ユル額ニ達スルモノニハ、租稅免除ヲ與フルノ權限ヲ有ス。大都市ノ市區及郊外交通ノタメニスル道路上ヲ通セサル軌道ニヨル電氣小軌道モ市街急行鐵道ト認ム。

公ニアラサル貨物運輸中此他租稅ヲ免除セラルルモノ次ノ如シ。

(一) 礦滓又ハ其他ノ屑物棄場ニ於ケル屑材料、並鑛業經營上ノ鑛屑ノ運輸。

(二) 公ニアラサル鐵道施設上ノ其他ノ運輸(工場鐵道、鑛坑鐵道等)。

A ソノ運輸カ同一ノ限ラレタル經營施設ニ始終スル時。

鐵道施設延長六籽ヲ超ユサル時。

C 鐵道施設カ單ニ一時ノ目的ノ爲メ設置セラレシトロッコ又ハ之ニ類スル鐵道ヨリ成ル時。

D 鐵道施設カ只人力ヲ以テ行ハルル時。

(三) 六籽ノ距離内ニテ自己ノ營利經營上ノ水路上運輸。

第四條 納稅額ハ運輸ニ對シ運輸企業者ニ支拂フヘキ價格、又ハ公ナラサル交通ニ於テハ、第六條ニ從ヒ計算ノ基礎トナル價格ニヨリ計算ス。

運輸ニ當リ外國領域ノ觸ルル時ハ、此ノ領域ニ對スル部分ノ運費ハ(第五條及ヒ第六條)納稅額算定ノ際ニ項目外ニ置クヘキモノトス。國境ヲ越ユル交通ニ於テ納稅額算定ノ際、運輸距離短キモノニア

リテハ、之ヲ參酌スヘキ程度及其有無ハ聯邦議會ノ定ムル所トス。

聯邦議會ハ尙ホ國際交通ニ於テ、納稅額算定ノ際運費中內國運輸企業ノ部分ヲ參酌スヘキ原則ヲ定ム。

第五條 鐵道交通及ヒ鐵道旅客交通ニ於ケル運費トハ、旅客乘車賃、旅客攜帶手荷物運費ヲ含ム貨物運費及ヒ附加手數料、現金ノ出費ヲ除ク其他ノ賃金表ニヨル額ヲ云フ。

水路交通ニ於テ運費トハ、旅客乘船賃、貨物運費、曳船賃、及ヒ普通ノ交通ニ於テ計算セラルル解舟料ヲイフ。

水路及ヒ陸路使用ニ對スル租稅(船車通行稅、開門運河料、水平運河料、渡橋料、轉關道路通行料及ヒ通行稅(道路))、關稅監督及ヒ發送認可ニヨリ生ズル手數料、陸上郵便聯合ノ登記手數料、及ヒ運送證券印紙稅ハ運費ニ屬セス。

運費ト看做スヘキモノニ關スル細則ハ聯邦議會之ヲ定ム。

第六條 貨物カ公ニアラサル運輸ニ於テ、自己ノ計算又ハ第三者ノ計算ヲ以テ輸送セラルル時ハ、同様又ハ類似ノ事情ノ下ニ、「公ノ貨物交通ノ際支拂ハルル金額ハ納稅額算定ニツキ、運費トシテ標準トナルモノトス。公ナラサル鐵道施設上ノ貨物運輸ノ際ニハ(第三條第二項第二號)、運費トシテ一噸籽ニ對シ一片<sup>ペンニツヒ</sup>ニ評價スヘシ。



第一項ニ從ヒ如何ナル價格ヲ納稅額算定ノ標準トスヘキヤニツキ、運輸企業者ト合意成立セサル時ハ、稅務署ハ訴訟ノ方法ニヨル他ノ確定ヲ留保シテ(第二十條)獨立ニ價格ヲ定メ、之ニ從ヒ稅額ヲ徵收スル權限ヲ有ス。

第七條 租稅債務者トハ運賃ヲ支拂フヘキ者ナリ。ソノ負擔ヲ以テ税金ハ運輸企業者ヨリ之ヲ納付スヘキモノトス。公ニアラサル貨物交通ニ於テハ運輸企業者モ亦租稅債務者ナリ。

公ノ賃金表ニ基キ運輸ヲ行フ時ハ、稅額ハ賃金表中ニ算入スヘシ。聯邦議會ハ例外ヲ許可スルコトヲ得。

第八條 運輸企業者カ賃金表作成ヲ第三者トノ協定ヲ以テ爲スヘキ義務アル時モ、納稅額填補ノ目的ヲ有シ且凡テノ事情ニ顧ミテ適當ナリト看做サルヘキ賃金表變更ニハ、協定ニ拘ハラサルモノトス。協定當事者間ニ於テ賃金表變更ニツキ意思ノ一致ヲ見サル時ハ、仲裁裁判所之カ種類及ヒ程度ニツキ終局決定ヲ爲ス。

仲裁々判所ハ三名ノ仲裁々判官ヨリ成立ス。裁判官ハ各當事者ヨリ一名ヲ指名シ、他ノ一人ハ裁判長トシテ兩當事者ヨリ選ハル。運輸企業者ニ對シ二人以上ノ契約當事者對立シ、之等ノ者カ仲裁裁判官ノ選任ニツキ一致セサル時ハ多數決ニヨリ、同數ノ時ハ抽籤ニヨリテ決ス。

運輸企業者ハ相手方ニ書面ヲ以テ仲裁々判官ヲ、一週間内ニ相手方モ同様ノ處置ヲ取ルヘキコトノ

要求ト共ニ、指ホスヘシ。此ノ實行ナクシテ期間經過セハ、運輸企業者ノ申立ニヨリ運輸企業監督官廳仲裁々判官ヲ指名ス。監督官廳存セサル時ハ、指名ハ運輸企業管轄上級行政官廳ニヨリ行ハル。

前記規定ハ兩當事者裁判長選任ニ付キ一致セサル時ニモ亦之ヲ適用ス。

第九條 賃金ニシテ官廳ノ確定或ハソノ許可ニ從フモノナル時、又ハ官廳ヨリ最高價格ノ確定アル時ハ、稅額カ運賃中ニ算入セラルル限リハ、運輸企業者ノ申請ニ基キ、賃金表及ヒ最高價格ハ全事情ニ顧ミテ適當ト看做スヘキ範圍ニ於テ變更スヘキモノトス。

第十條 運輸企業者及ヒ第七條第一項ニ從ヒ納稅債務者タル者トノ間ノ關係ニ於テハ、納稅額ハ特ニソノ取立、訴訟ノ方法ニヨル實行、法定質權、貨物運賃事後變更ニ際スル償還ニツキテモ、運賃ト看做ス。

追加請求納稅額支拂ニ關シ、運輸企業者ニ屬スル納稅債務者ニ對スル請求權ノ消滅時効ハ、後拂ノ行ハルル日ノ經過ト共ニ進行ヲ開始ス。

第十一條 旅客運輸ニアリテハ、納稅額ハ運賃ノ一等一割六分、二等一割四分、三等一割二分、四等(三等ト)一割ナリトス。

急行運輸ニ特別附加切符ノ發行セラルル時ハ、ソノ附加切符ニ對スル稅額ハ、ソノ價格ノ一等及ヒ二等一割五分三等一割二分トス。



一企業ニ四ヨリ少キ等級存スル時ハ、ソノ企業管轄ノ聯邦政府ハ帝國宰相ノ同意ヲ以テ、外國ニ事務所ヲ有スル企業ニアリテハ聯邦議會ハ、各等級ニ對シテ適用スヘキ納稅率ヲ定ム。企業ニ只一ノ等級存スル時ハ、三等ノ納稅率ヲ課ス。運賃カ等級ニ關セス算定セララルル時モ同様トス。

手荷物運輸ニアリテハ運賃ノ一割二分ノ稅額トス。

市街鐵道交通、一地方需要ニ應スル船舶交通、並ヒニ第一條第二項ニ掲クル交通ニアリテハ、旅客運輸ノ稅額ハ運賃ノ六分ニ割引ス。一鐵道カ市街鐵道ト認ムヘキヤ、又一船舶交通カ一地方需要ニ應スルモノナリヤニツキ規定ナキ時ハ、聯邦議會之ヲ決定ス。

第十二條 貨物運輸ニアリテハ稅額ハ運賃ノ七分トス。

第十三條 運賃ヲ支拂フヘキ者ニ、企業者ヨリ稅額カ特ニ計算セラレサル場合ニハ、運賃ヨリ算收セララルル稅額ト合シテ企業者ニ支拂ハルヘキ額ヲ生スル金額ニツキ、第十一條第十二條ノ納稅率ヲ納付スヘキモノトス。

第十四條 帝國又ハ聯邦ニヨリ經營セララルル運輸企業ノ管理局ハ、管轄稅務署ニ聯邦議會ヨリ定メラルヘキ期間内ニ、稅額計算ニ必要ナル事項記載ノ運輸報告ヲ差出スヘシ。

此ノ報告ニ基キ納付スヘキ總稅額ハ稅務署ヨリ確定徵收セラル。聯邦議會ハ之ト異ル規定ヲ定ムルコトヲ得。

第十五條 聯邦議會ハ必要ナル管理規則命令ノ下ニ、運輸企業者カ內國ニ派出營業所ヲ有シ、又ハ內國ニ住居スルソノ代表者ヲ任命セル時ハ、他ノ運輸企業モ亦稅額ヲ第十四條ニ從ツテ納付スルモノナルコトヲ定ムルノ權限ヲ有ス。內國派出營業所長及ヒ第一段ニ從ヒ任命セラレシ代表者ハ、本法及ヒ本法施行規定ニヨリ運輸企業者ニ負擔セシメララルト同様ノ義務ヲ負擔ス。

第十六條 旅客交通上ノ稅額カ第十四條第十五條ニ從ヒテ納付セラレサル時ハ、旅客運輸ハ乘車證ヲ附與セシ時ノミ行フコトヲ得。乘車證ニヨリ稅額ニツキ増加セル運賃ノ明ニ了知セラルルヲ要ス。

稅額ハ差出サルル乘車證ニ對シテ先納スヘキモノトス。納稅義務ハ、管轄稅務署ニ納稅金額ヲ支拂ヒテ提出スヘキ乘車證ニ消印ヲ得タル時ハ、履行セラル。

聯邦議會ハ必要ナル管理規則命令ノ下ニ、稅額先納ナクシテ乘車證ニ消印ノ行ハルル旨、並ヒニ消印ヲ要セス稅額納付カ乘車證ノ讓渡後ニ行ハルル旨ヲ定ムルコトヲ得。

第十七條 公ノ貨物交通ニ於テ、稅額カ第十四條第十五條ニ從ヒテ納付セラレサル時ハ、貨物運輸ハソノ運輸ニ關スル運送證券ノ發行セラレシ時、外國ヨリ內國ニ運輸セララルル貨物ノ引渡ハソノ運輸ニ關スル運送證券ノ交付セラレシ時ニノミ行フコトヲ得。第三條ニ從ヒ免稅アリシ貨物ニハ本規定ヲ適用セス。

內國ニテ引渡サルル貨物ハ運クモノノ引渡前ニソノ引渡地管轄稅務署ニ、外國行貨物ハ内水交通及



陸上交通ニ於テハ、運クモツノ國境ヲ越ユル前ニ國境外出點最近ノ稅務署ニ、海上交通ニ於テハ運クモ輸出前ニ輸出港管轄稅務署ニ、書面ヲ以テ課稅ノ通知ヲ爲スヘシ。聯邦議會ハ此ノ通知ノ他ノ稅關又ハ他ノ時期ニ爲ス事ヲ得ルヤ、及ヒソノ場合ノ要件ヲ定ム。

通知ニハ運輸貨物及ヒソノ運賃ヲ掲載スヘシ。通知ト共ニ運送證券カ送付物ニ伴フ時ハ、貨物證券ヲ、然ラサル時ハソノ寫ヲ提出スヘシ。

稅額ハ通知ト同時ニ納付スヘシ。聯邦議會ハ他ノ納付期間ヲ定ムルコトヲ得。

第十八條 公ニアラサル運輸ニ於テ、稅額カ第十五條ニ從ヒテ納付セラレサル時ハ、運輸貨物ハ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ運輸實行後十四日內ニ書面ヲ以テ、稅額納付ト共ニ運輸企業ニ對シ土地ノ管轄稅務署ニ通知スヘシ。企業者ハ上級官廳(第二十一條)ノ細則ニ從ヒ、租稅計算ノ目的ノ爲メ帳簿記載ヲ爲シ、常ニ稅務監督官吏ノ閱覽ニ備フル義務ヲ有ス。

第十九條 本法ニ從ヒ履行期ニアル納稅ノ請求權ハ五年ヲ以テ時效ニヨリ消滅ス。消滅時效ハ稅額履行期ニ達セル年ノ終了ト共ニ進行ヲ開始ス。

第二十條 本法中ニ確定セラレシ納稅義務ニ關シテハ訴訟ヲ許ス。訴ハ訴權喪失ノ場合ニモ徵收ノ行ハレシヨリ又ハ留保ヲ以テ爲シタル納付後六ヶ月ノ期間內ニ提起スヘシ。此ノ期間算定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從フ。繫争物價格ヲ問ハス地方裁判所之ヲ管轄ス。地方裁判所ニ商事部存スル時ハ訴訟ハ

同部ニ屬ス。上告ハ大審院ニ爲ス。

確定力アル判決ニ基キ償還セララルヘキ稅金ニハ年五分ノ利息ヲ附スヘキモノトス。

第二十一條 本法ニ從ヒテ納付スヘキ課稅ノ徵收及ヒ管理ハ、第十四條第二項第二段ニヨリ他ノ結果ヲ生セサル限り、聯邦政府ヨリ之ニ關シテ指定セララル稅務署之ヲ爲ス。稅務署ハ同様ニ聯邦政府ヨリ指定セララル官廳(上級官廳)ニ、上級官廳ハ最上聯邦財政官廳(聯邦大藏省)ニ屬ス。

商港設備及ヒ船舶碇泊場カ公共自治團體又ハソノ合同ノ管理ニ存スル時ハ、聯邦政府ハ又ソノ公共自治團體應ヲ、ソノ出費ヲ填補スル補償ヲ以テ、收稅機關ニ定ムルコトヲ得。

第二十二條 帝國又ハ聯邦ニヨリ經營セラレサル運輸企業ハ、本法ノ納稅ニ關シ審査ヲ受ク。審査吏員ニハ審査ニ關係アル凡テノ書面又要求アレハ商業帳簿ヲ閱覽ニ供スヘシ。

上級官廳ハ確定シテ揭示セララルヘキ法律事件ニ關スル書面ノ差出ヲ他ノ者ヨリ請求スルコトヲ得。

第二十三條 關稅、租稅ニ對スル帝國代表者、及ヒ之ニ隸屬スル監督吏員ハ、本法ノ執行ニツキテ關稅徵收及管理ニ關スルト同様ノ權利義務ヲ有ス。

前記事務カ關稅官廳以外ノ官廳ニ委任セララル聯邦國ニ於テハ、帝國監督吏員ノ執務範圍及ヒ種類ハ當該聯邦政府トノ協定ヲ以テ帝國宰相之ヲ規定ス。

帝國宰相ハ聯邦議會ノ同意ヲ以テ、帝國監督吏員ノ事務執行ヲ、本法執行ニ關スル限りハ、他ノ吏



員ニ委任スルヲ得。

第二十四條 本法ニ於テ確定セラルル税額ヲ帝國ニ對シ抑留セント企ツル者ハ通税ノ罪ヲ負フ。  
通税ノ事實ハ左ノ場合ニハ特ニ存在スルモノト認ム。

(一) 第十六條ノ場合ニ乗車證ヲ附與セスシテ旅客ヲ運輸シ、又ハ第十六條第二項ニ從ヒ消費ヲ要スル乗車證カ規定ノ消印ヲ捺押セラレサルモノヲ讓渡セル場合。

(二) 第十七條第十八條規定ノ通知ヲ爲サス、又ハ適當ノ時期ニ爲サス、又ハ不實ニ行ハルル場合。税額ヲ詐述セル者ハ税金額ノ四倍額ニ等シク、各場合ニ最低二十麻克ヲ下ラサル罰金ヲ科セラル。税額ハ罰金ニ關セス後ニ之ヲ納付スヘキモノトス。

通税金額ヲ確定スルコト能ハサル時ハ、第三項規定ノ罰ニ二十麻克以上五千麻克以下ノ罰金ヲ代フ。  
處罰後通税ヲ再ヒスル場合ニハ第三項規定ノ罰ヲ倍加ス。前刑ノ只一部賠償又ハ全部或ハ一部免除アリシ時モ累犯ノ刑ニ處ス。前刑ノ賠償又ハ免除ノ後新犯罪行爲ヲ犯スマデ三年ヲ經過セル時ハ累犯刑ヲ行ハス。

第二十五條 本法規定又ハ本法施行ニ發布セラレシ規定違反行爲ニシテ、第二十四條ノ適用ナキモノハ、百五十麻克迄ノ秩序罰ニ處セラル。

第二十四條ノ場合ニ事情ニ顧ミテ通税犯スルコト能ハス、又斯カル目的ナラサリシコト明ナル時モ

亦同シ。

第二十六條 本法ニ基キ科セラルヘキ刑罰ハ、組合及ヒ株式會社ニアリテハ理事部員ニ、合資會社ニアリテハ無限責任社員ニ、有限責任會社ニアリテハ業務執行者ニ、合名會社ニアリテハ社員ニ對シ各人責任ヲ負擔シ連帶債務トシテ一回ノ金額ニ於テ確定スヘキモノトス。

第二十四條第五項ニ規定スル累犯科刑ニツキテハ本規定ハ適用ナシ。

第二十七條 本法違反行爲ノ行政罰手續、恩赦ニヨル減刑及ヒ刑ノ免除、刑罰執行並ヒニ刑罰追ノ時効ニツキテハ、千九百九年七月十五日手形印紙法第二十三條第二十四條ノ規定ヲ準用ス。本法ニ基キテ宣告セラルル罰金ハ、ソノ刑ノ判決ヲ爲セル官廳ノ屬スル聯邦ノ國庫ニ歸ス。詐述又ハ抑留セラレシ税金額カ審査スルコトヲ得サル時ハ、審査セラレサル税金額ニ代ヘ罰金額ノ五分ノ一ヲ帝國金庫ニ讓渡スヘキモノトス。

刑罰手續ニヨリ徴收スルヲ得タル金額ハ、帝國金庫ニ對スル關係ニ於テハ、先ツ税金ニ充ツヘキモノトス。

第二十八條 支拂義務者カ無資力ナル罰金ハ自由刑換刑無シ。

第二十九條 旅客、及ヒ貨物運輸契約、及ヒ斯カル契約ニ關シ發行セラルル證書ハ各聯邦ニ於テハ追加課税ニ服セス。



第三十條 本法ニヨリソノ領域内ニ年々生スル收入ヨリ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ二分ノ金額ヲ帝國金庫ヨリ各聯邦ニ供與ス。

第三十一條 税金計算、徵收及ヒ輸送ニ關スル細則ハ聯邦議會之ヲ發ス。同議會ハ各個租税金額決算ヲ中止スルコトヲ許可スルヲ得。同議會ハ尙ホ税金額確定カ非常ノ困難乃ヒ費用ヲ伴フヘキ特別ノ場合ニ於テ、協定ノ方法ニヨル税額算定及輸送ヲ許ス要件ヲ定ムルコトヲ得。

第三十二條 貨物運輸税ハ貨物運送證券印紙税(帝國印紙法第五節及ヒ稅率表第六號)ト共ニ徵收セラル。

帝國印紙法稅率表第六號 D 二及ヒ三行ハ第一項ニ於テ次ノ體裁ニ改ム。

D 鐵道交通貨物運送證券ニテ。

- 一、小荷物及ヒ急行貨物ニ關スルモノ 一麻克 一五片
- 二、速達小荷物ニ關スルモノ 一同 三〇同
- 三、貨車積貨物ニ關スルモノ
  - 運賃金額ノ
    - 二十五麻克ヲ超エサリモノニアリテハ 一同 五〇同
    - ソレヨリ高キモノニアリテハ 三同 一同

四、貨車積速達貨物ニ關スルモノ

- 運賃金額ノ
    - 二十五麻克ヲ超ヘサルモノニアリテハ 三同 一同
    - ソレヨリ高キモノニアリテハ 六同 一同
- 黒炭、褐炭、コークス及ヒ各種塑炭ノ運輸ニ際シテハ、第三號ノ一麻克五日片及ヒ三麻克ノ率ハ二麻克及ヒ四麻克ニ増加ス。之等ノ貨物カ鐵道ヨリ水路ニ、而シテ再ヒ水路ヨリ鐵道ニ積換ヘラレタル時ハ、後ノ積換ニ屬スル鐵道運輸ニ對スル貨物運送證券印紙ハ、申請アレハ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ拂戻サル。

第三十三條 貨物カ獨逸國有鐵道管理ノ經營目的ニ關スルモノナル時ハ、本法ニ基キ徵收セラレシ稅額ハ聯邦議會ノ細則ニ從ヒ拂戻サル。

第三十四條 本法施行ノ期日ハ聯邦議會ノ同意ヲ以テ勅令ニヨリ確定ス。施行期日ハ各個ノ稅種ニ對シ相異シテ定ムルコトヲ得。第十一條第五項ニ掲クル企業ハ千九百十八年七月一日前ニハ納稅義務ニ服セス。而シテ此ノ期日前ニソノ賃金率ヲ引上タル時ハ、新賃金率表ノ施行日前ニハ同義務ニ服セス。旅客交通課稅ニ關スル規定ノ施行期日ヲ以テ、旅客切符印紙ニ關スル帝國印紙法ノ規定ハ效力ヲ失フ。ソノ期日ニ於テ納稅義務者ノ手中ニ存スル未使用印紙及ヒ納稅濟消印捺押乘車證ニ對シテハ、聯



邦議會ノ細則ニ從ヒ税金價格ノ賠償ヲ與フ。

新規定施行前ニ購買セラレ此ノ期日後ニ使用スルコトヲ得ル乗車證ニ基ク旅客運輸ニ以前ノ規定ヲ適用スヘキ範圍ハ聯邦議會之ヲ定ム。

貨物交通課税ニ關スル規定ノ施行前ニ運輸ニ引渡サレタル貨物ノ運輸ハ本法規定ニ服セス。

### 石炭税法 一九一七、八、四、(一)

(一)一九一四—一七年第十三立法期第二會期帝國議會議事錄草案理由書第六二四號一九一七、二、二三、ヨリ三、一、第一讀會(第八一八六開期)、委員會報告(帝國歲計委員會)第七二二號。一七、三、二八、第二讀會(九四開期)。第三讀會一七、三、二九、(九五開期)。帝法公報三四〇。

#### 第一節 總 則

第一條 內國並ヒニ外國ヨリ輸入セララル石炭ハ帝國金庫ニ流入スル課税(石炭税)ニ非ス。

第二條 本法ニテ石炭トハ各種ノ選鍊セラレサル又ハ選鍊セラレタル黒炭、褐炭、褐炭ニツキテハ之ヨリ製造セル塑炭、外國ヨリ輸入セルモノニツキテハコークス並ヒニ黒炭ヨリ製造セル塑炭ヲ稱ス。

第三條 內國ニ於テ採得セル石炭又ハ自己ノ採得セル褐炭ヨリ製造セル塑炭ヲ賣買契約ニ基キテ供給シ、其他之等ノモノヲ交付シ、又ハ之等ノモノヲ自己ノ經營上使用或ハ自己ノ消費ニ供スル者ハ、納税ノ義務ヲ有ス。

他人ノ內國ニ於テ採得セル黒炭ヲ選鍊シ、又ハ他人ノ內國ニ於テ採得セル褐炭ヲ塑炭ニ加工シテ賣

買契約ニ基キ之ヲ供給シ、其他之等ノモノヲ交付シ、又ハ之等ノモノヲ自己ノ經營上使用或ハ自己ノ消費ニ供スル者ハ、又納税ノ義務ヲ有ス。此ノ者ハ選鍊又ハ加工ニ用ヒラレシ石炭ニ對シ納付シタル税金ヲ、自己ニ於テ納税義務アルニ至リシ石炭税納付ニ際シ拂戻ヲ受ク。

外國ヨリ輸入セララル石炭ニ對スル税金納付ハ受取人ソノ義務ヲ負フ。

第四條 內國石炭ニ對スル納税義務ハ、石炭カ供給、其他交付、又ハ自己ノ經營上ノ使用或自己ノ消費ニ供セラレシ時ハ、直チニ發生ス。税金ハ次月ノ末日ニ履行期到達ス。聯邦議會ハコークス製造ニ齎ラサレシ黒炭ニツキテハ納税義務アル數量ヲ普通ニ審査シ、或ハ特別場合ニハコークス通常產出額ニ從ヒ審査シ、納税ハコークスカ賣買契約ニ基キ供給、其他交付、又ハ自己ノ經營上ノ使用、或ハ自己ノ消費ニ供セラレシ時始メテ爲サルルコトヲ定ムルコトヲ得。

外國ヨリ輸入セララル石炭ニ對スル納税義務ハ、國境通過ト共ニ發生ス。税金ハ送付物カ自由取引ニ發送セララルト共ニ履行期ニ到達ス。納税義務アル石炭ハ第三者ノ權利ニ關セス之ニ課セラルル税金ヲ擔保ス。而シテ税金納付無キ間ハ稅務署之ヲ留置シ、或ハ差押フルコトヲ得。脱税ノ場合ニハ石炭カ納税ニ通知セラレサル可カラサリシ時期ニ税金ハ履行期ニ到達セルモノト看做ス。

第五條 坑業經營維持並ヒニ選鍊設備ニ必要ナル石炭、及ヒ塑炭製造ニ經營材料トシテ必要ナル數量ノ褐炭ハ課税ニ服セス。



尚ホ勞働關係或ハ慣習ニ基キ、坑業使用人及ヒ坑夫並ヒニ坑夫癡疾者及ヒ坑夫寡婦ニ、自用ノ爲メ自己ノ坑道ヨリ運搬シ附與セラルル家事用石炭ハ課税ニ服セス。

聯邦議會ハ外國トノ交通ヲ司ル船舶列車ノ運轉ニ用ヒラルル石炭ノ税金免除ノ限度ヲ定ムル規定ヲ發スル權限ヲ有ス。油脂臘其ノ他之ニ類スル產出物ニ加工セラルル石炭ニツキテモ同様トス。

第六條 税金額ハ供給、ソノ他交付、又ハ自己ノ經營上ノ使用、或ハ自己ノ消費ニ供シ、又ハ輸入セラルル石炭價格ノ二割トス。

公共自治團體又ハソノ合同カ、聯邦議會ノ制定スヘキ原則ニ從ヒ、小住屋ノ所有者ニ對シ家事用石炭ノ購買ヲ値下スル制度ヲ定メシモノナル時ハ、ソノ目的ノ爲ニ使用セラルル石炭ニ對スル税金ハソノ半額マテ之ヲ免除ス。

第七條 納税義務ヲ生セル石炭ハ、聯邦議會ノ細則ニ從ヒ、ソノ數量及ヒ價格ヲ稅務署ニ書面ヲ以テ通知スヘシ。

第八條 賣買契約ニ基キテ供給セラルル石炭ノ價格トハ、坑口(第三條第一項)又ハ加工所(第三條第二項)ニテ計算セル賣價ヲ云フ。拂戻額又ハ賣價ト共ニ與ヘラルル利益ハ賣價ノ一部ト看做ス。賣價カ税金ヲ算入シテ計算セラレタル時ハ、税金ヲ控除セル賣價ヲ課税ノ標準トス。

供給ニシテ直接又ハ間接ニ納税義務者カ干與スル賣得金ヲ得ル再賣者ニ對シテ行ハルル時ハ、稅務

署ハ再賣ニ際シテ利得セラルル中間利益ヲ斟酌シ、第十條ニ從ヒテ課税ノ標準トナル賣價ヲ異リテ確定スルコトヲ得。

賣買以外ノ方法ニヨリ交付並ヒニ自己ノ經營上ノ使用或ハ自己ノ消費ニ供セラルル石炭ノ價格ハ、同種石炭ニ對スル坑口又ハ加工所ノ賣價ニ從ヒテ定マル。

第九條 輸入石炭ノ價格ハ國境通過事務所ノ場所マテニ發生セル費用ヲ加ヘシ取得價額トス。聯邦議會ハ此ノ附加金ニ對シ石炭一噸ニツキ確定率ヲ定メ、又課税ニ專ラ取得價額ノミヲ標準トスルノ權限ヲ有ス。

聯邦議會ハ自ラ石炭ニ課税徵收ヲ爲ス聯邦ヨリノ石炭輸入ニ關シ、石炭二重課税ヲ避クル協定ヲ爲スノ權限ヲ附與セラル。

第十條 通知セラレシ賣價ニシテ普通坑口又ハ加工所ニテ締結セラルル同種石炭ノ之ニ相應スル數量ニ對スル價格ト一致セス、又稅務官廳ニテ第八條第三項或ハ第九條ニ從ヒテ届出テラレタル價格ヲ正當ナリト認ムルニツキ疑ヲ抱ク時ハ、稅務官廳ハ届出ニ異議ヲ述フルコトヲ得。

納税義務者トノ協定一致ヲ見サル時ハ、稅務官廳ハ課税ニ對シ市價ヲ標準トシ、又斯カル價格ヲ缺ク場合ニハ、評價セシメテ之ニヨリ稅額ヲ確定スルノ權限ヲ有ス。

第十一條 石炭價格カ稅務官廳ニヨリ納税義務者ノ届出ト異リテ確定セラレシ時ハ、納税義務者ニ



確定ニツキ決定ヲ與フヘシ。

此ノ決定ニ對シテハ行政上ノ抗告ヲ許ス。抗告ハ停止效力ヲ有セス。

第十二條 税金納付及ヒ拂戻請求權ハ履行期到來又ハ納付ノ日ヨリ一ケ年ヲ經過セハ時効ニヨリ消滅ス。脱税金額後拂請求權ハ三年ノ時効ニヨリ消滅ス。

消滅時効ハ管轄官廳ガ納付義務者ニ對シ請求權實行ノ原因トナセル行爲アレハ之ニヨリ中斷ス。

#### 第二節 稅務監督

第十三條 内國ニ於テ石炭ヲ採得、選鍊、又ハ褐炭ヲ塑炭ニ加工セントスル者ハ、ソノ業務開始前ニ稅務官廳ニソノ細則ニ從ヒテ届出ヲ爲スヘシ。稅額確定及ヒ納付ニ影響アル所有上及ヒ業務上ノ凡テノ變更ニツキテモ同シ。

第十四條 自ラ業務ヲ管理セサル經營所有者ハ、ソノ名義ニ於テ經營管理人トシテ行動スル者ヲ稅務官廳ニ届出ツヘシ。

以下經營所有者ニ對シテ定メラレタル規定ハ費用義務ニツキ第十七條第二段ニ規定スル者ヲ除キ又經營管理人ニモ適用ス。

第十五條 第三條第一項及ヒ第二項ニ從ヒ納稅義務アル經營ハ稅務監督ニ服ス。稅務管理吏員ハ施設ヲ、ソノ中ニテ業務ヲ行フ間ハ何時ニテモ、他ノ場合ニハ晝間、訪覽スルノ權ヲ有ス。此ノ權限ハ

只業務場及ヒ積荷設備ヲ含ム施設ノ地上ニ存スル部分ニ及フ。時間上ノ制限ハ危險緊急ノ場合ニハ存セス。

第十六條 經營所有者ハ稅務吏員ニ稅務監督ニ必要ナルソノ經營及販路ニ關シ解答ヲ與フルヲ要ス。

第十七條 經營所有者カ脱稅ノ爲メ處罰セラレシ時ハ、ソノ經營ヲ特別ノ監督處分ニ服セシムルコトヲ得。ソノ費用ハ經營所有者ノ負擔ニ歸ス。費用徵收ハ關稅徵收手續ニ關スル規定ニ從ヒソノ特權ヲ以テ行ハル。

第十八條 經營所有者ハ稅務官廳ノ規定ニ從ヒ、採得、購買、加工、並ヒニ賣買契約ニ基ク供給、ソノ他交付又ハ自己ノ經營上ノ使用或ハ自己ノ消費ニ供セル石炭ノ數量ニ關シ、ソノ種類及ヒ價格ニツキ繼續シテ帳簿記入ヲ爲ス義務ヲ有ス。

石炭ノ採得、購買、加工、及ヒ販賣ニ關スル業務帳簿及ヒ業務上ノ書類ハ、要求アリシ時ハ稅務監督上級吏員ノ閱覽ニ供スヘシ。

第十九條 聯邦國ニヨリテ經營セラルル施設ニ對シテハ、聯邦議會ハ稅務監督ニ關シ異ル事項ヲ許可スルコトヲ得。

第二十條 外國ヨリ石炭ヲ輸入スルニハ只關稅通路上ヲ關稅時間内ニ於テノミ爲スコトヲ許ス。



第三節 罰 則

第二十一條 帝國ニ對シ本法規定ノ稅額ヲ抑留セント企ツル者ハ脫稅ノ罪ヲ負フ。

第二十二條 第二十一條ノ事實ハ次ノ場合ニハ特ニ存スルモノト認メラル。

一、規定ノ方法ニテ業務ノ届出(第十三條)ヲ行ハスシテ石炭ノ採得選鍊又ハ加工ヲ開始セル時。

二、第七條規定ノ届出ヲ爲サス又ハ不實ニ爲ス時。

三、第十八條規定ノ帳簿記入ヲ爲サス又ハ不實ニ爲ス時。

四、石炭カ關稅通路上ヲ關稅時間内ニ輸入セラレザル時。

石炭ニ關シテ脫稅ノ行ハレタルコトヲ知り又ハ事情ニヨリ推定セサル可カラサルニ之ヲ取得シ、ノ取得ヲ直チニ稅務官廳ニ届出サル者ハ脫稅ト同様ニ看做サル。

稅金ヲ抑留セス又ハソノ目的ナカリシコト確定セラルル時ハ第二十五條ニ從ヒ只秩序罰ヲ科ス。

第二十三條 脫稅ヲ爲スモノハ各場合ニ對シ稅金々額ノ四倍額ニシテ最低一千麻克ノ罰金ニ處セラ  
ル。此他納稅義務者ヨリ稅金額ヲ後徵ス。

稅金々額ヲ確定スルコト能ハサル時ハ十萬麻克以下ノ罰金ニ處ス。

第二十四條 前科刑後脫稅ヲ再ヒ犯ス時ハ第二十三條規定ノ刑ヲ倍加ス。

更ニ累犯スル時ハ二年以下ノ禁錮ト共ニ第二十三條規定ノ刑ノ四倍以上ノ罰金ニ處ス。然レトモ凡

テノ事情及ヒ前犯ノ場合ヲ顧ミ、裁判官ノ裁量ニヨリ禁錮ニ代ヘテ拘留或ハ第二十三條規定ノ刑ノ四  
倍額以上ノ罰金ノミヲ宣言スルコトヲ得。

累犯ノ刑ハ前刑ノ只一部賠償、又ハ全部或ハ一部ノ免除アリシ時モ之ヲ科ス。前刑ノ賠償又ハ免除  
ノ後新犯罪行爲ヲ犯スマテ三年ヲ經過セル時ハ累犯刑ヲ行ハス。

第二十五條 本法規定及ヒ之ニ關シ發布セラレ、公ニ又ハ當事者ニ對シ特ニ公告セラレタル行政規  
則ニ違反スル行爲ハ、第二十三條及ヒ第二十四條ニ從ヒ特別ノ刑罰ヲ科セラレサル限りハ、一麻克以  
上三百麻克以下ノ秩序罰ニ處ス。

第二十六條 稅務監督ニ服スル經營所有者(第十五條)及ヒ受取人ハ、ソノ管理人、事務執行者、助  
手、及ヒソノ他ソノ使用人或ハ報酬ヲ受クル者、並ニソノ家族、或ハ家事員ノ行爲ニヨリ生スルニ至  
リシ罰金及ヒ刑罰手續費用ニ對シ、本來ノ責任者無資力ノ場合ニ次ノ證明アリシ時ハ責任ヲ擔保ス。

一、違反行爲カソノ了知ニテ行ハルコト。  
二、違反行爲カ管理人、事務執行者、助手、ソノ他ソノ使用人或ハ報酬ヲ受クル者ノ選擇及ヒ任命  
ニ際シ、又ハ之等ノモノ並ヒニ前掲家族員ノ監督ニ際シ、普通事務ヲ取扱フ者ノ用フヘキ注意ヲ  
以テセサルニヨリ發生セルモノナルコト。

罰金ヲ本來ノ責任者ヨリ徵收スルコト能ハサル時ハ、稅務官廳ハ罰金ニ對シテ責任ヲ擔保スル者ニ